

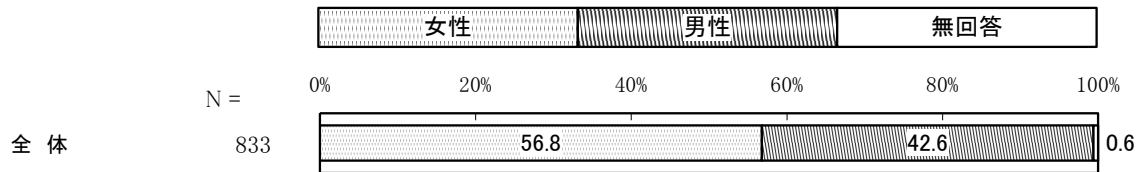
Ⅲ 調查結果

調査結果

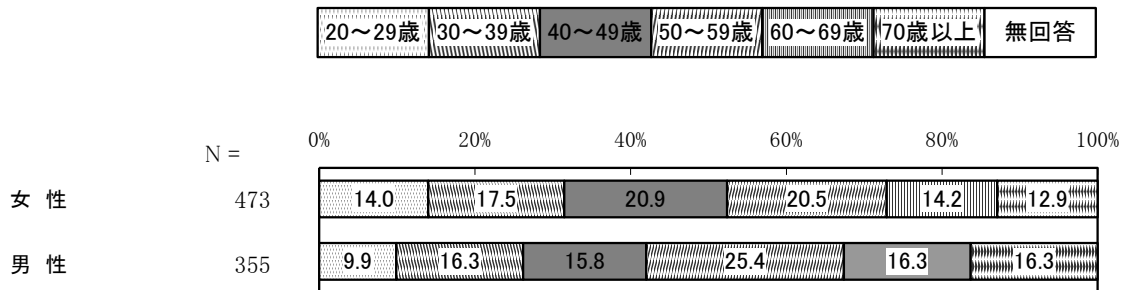
1 一般

(1) 回答者属性

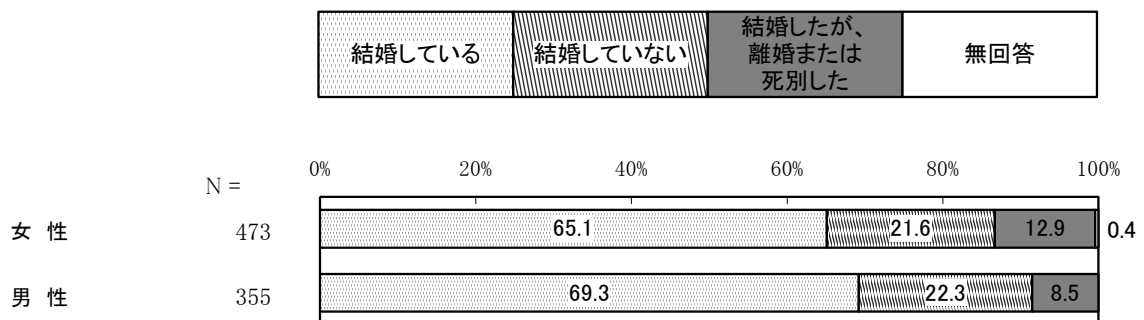
a あなたの性別は。



b あなたの年齢は。(記入日の時点で)



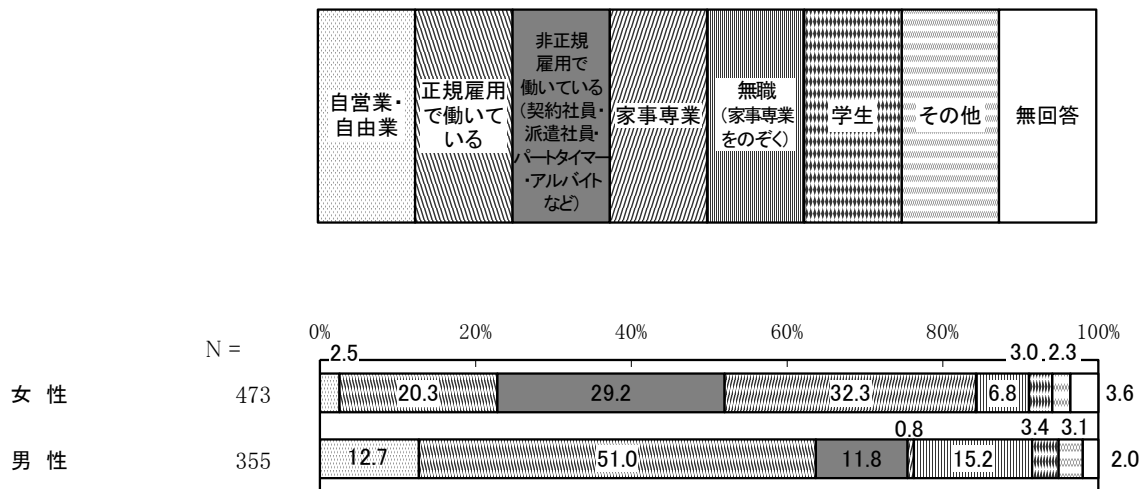
c あなたは結婚していますか。(事実婚含む)



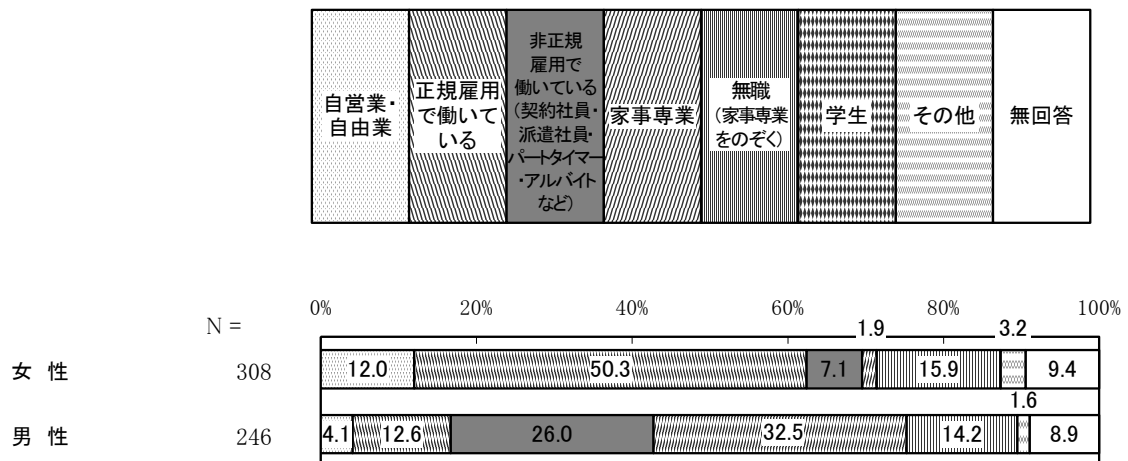
Ⅲ 調査結果（一般）

d あなたの仕事は。配偶者がおられる方は配偶者の欄も記入してください。
 (○は1つずつ)

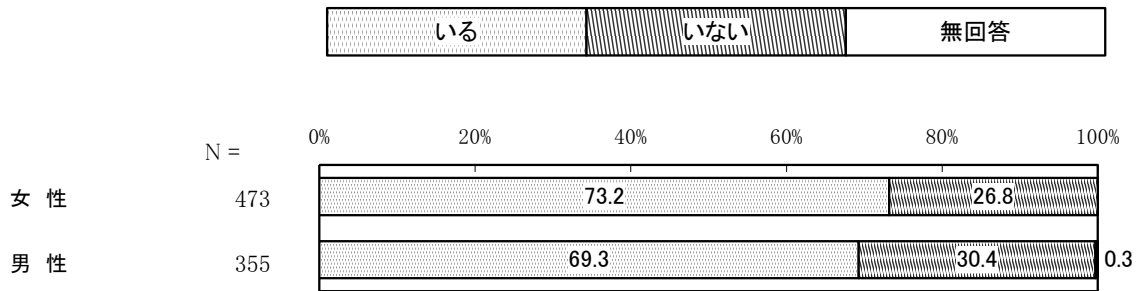
(1) 回答者の職業



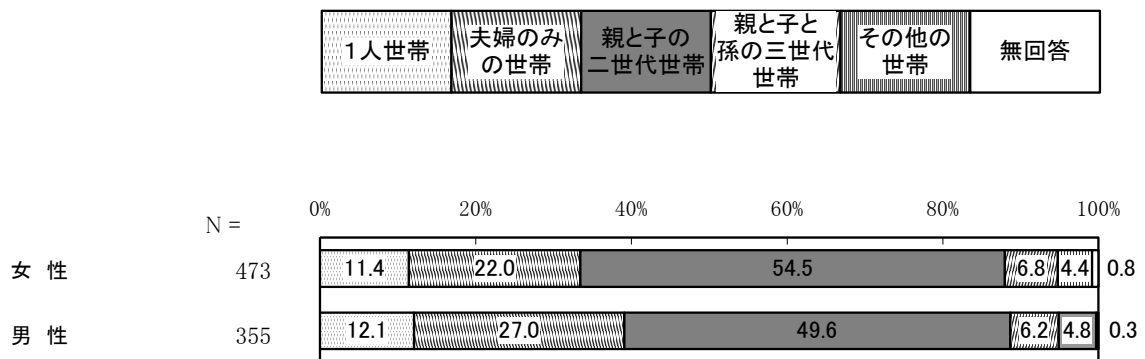
(2) 配偶者の職業



e あなたに子どもはいますか。（別居を含む）



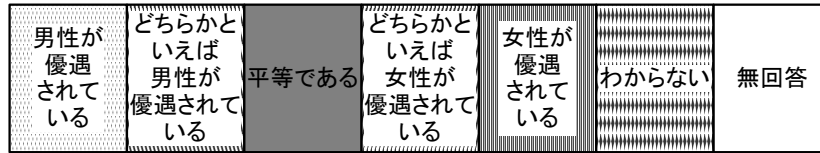
f あなたが現在同居している家族構成は次のどれですか。



Ⅲ 調査結果（一般）

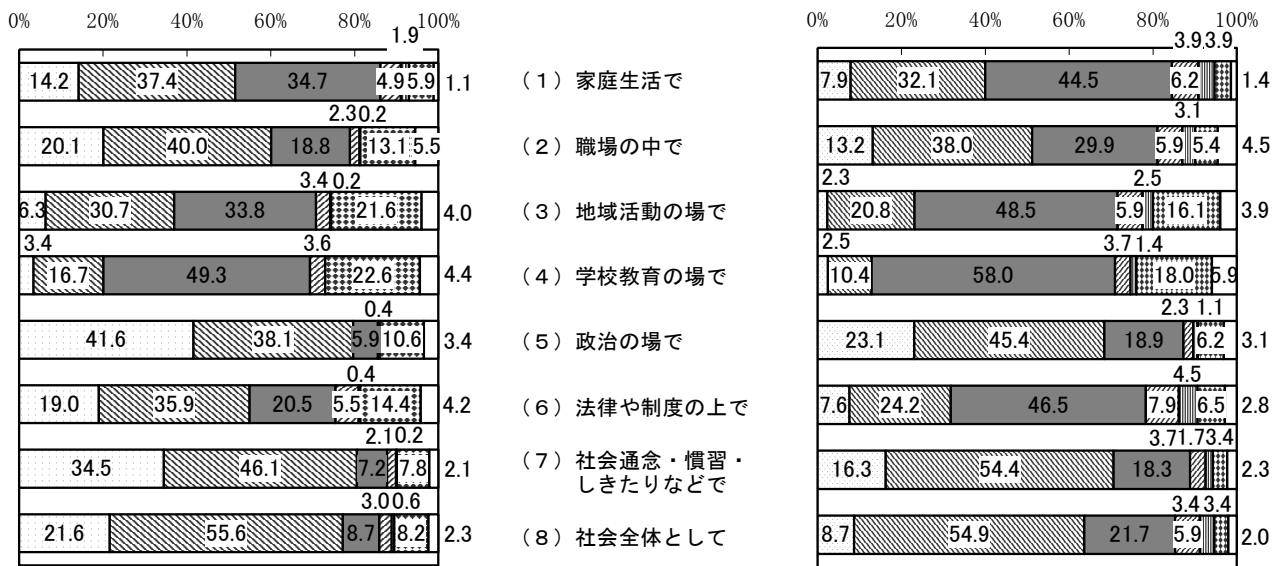
（２）男女の平等感と役割分担について

問１ あなたは、次の（１）～（８）の分野で、男女はどの程度平等になっていると思いますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（○は各項目に１つ）



〈女性〉 (N=473)

〈男性〉 (N=355)

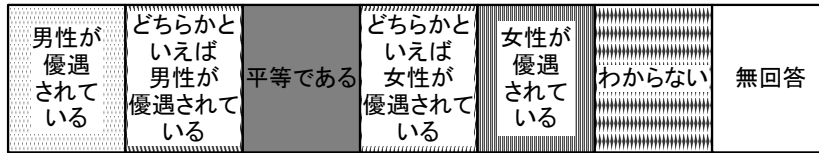


社会の様々な場面における男女平等の現状認識についてみると、全ての項目において、『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）が、『女性優遇』（「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計）より高くなっています。

場面別に見ると、特に『男性優遇』の割合が高いのは、「社会通念・慣習・しきたりなどで」は女性 80.6%、男性 70.7%、「政治の場で」は女性 79.7%、男性 68.5%となっています。「社会全体として」は女性 77.2%、男性 63.6%が『男性優遇』と感じています。

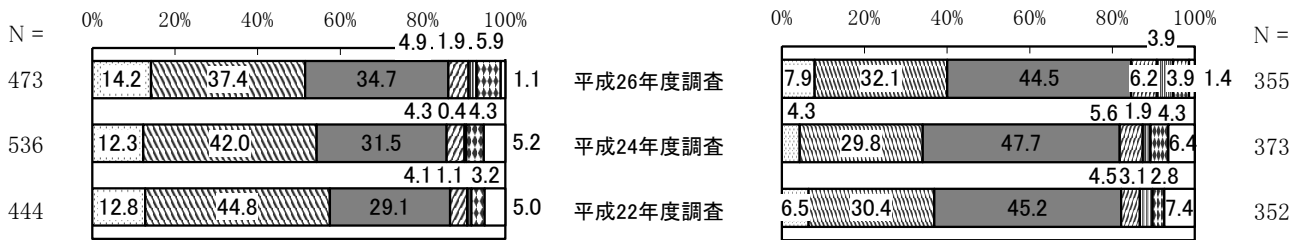
（１）家庭生活で

【過去の調査との比較】

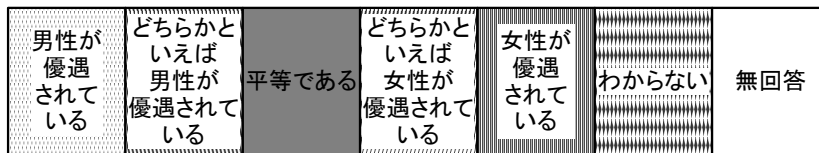


〈女性〉

〈男性〉

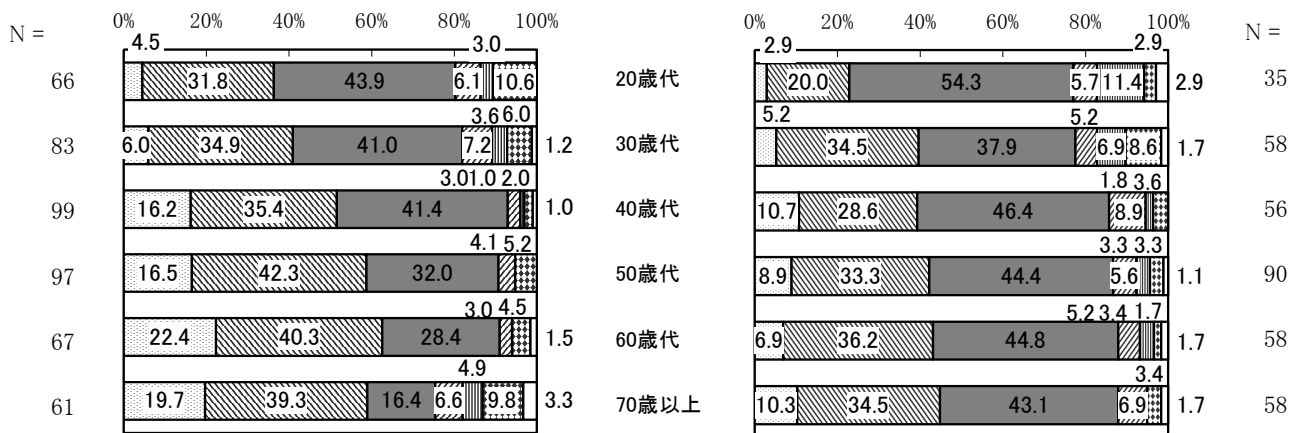


【性年代別】



〈女性〉

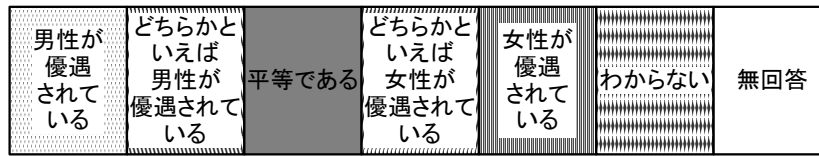
〈男性〉



Ⅲ 調査結果（一般）

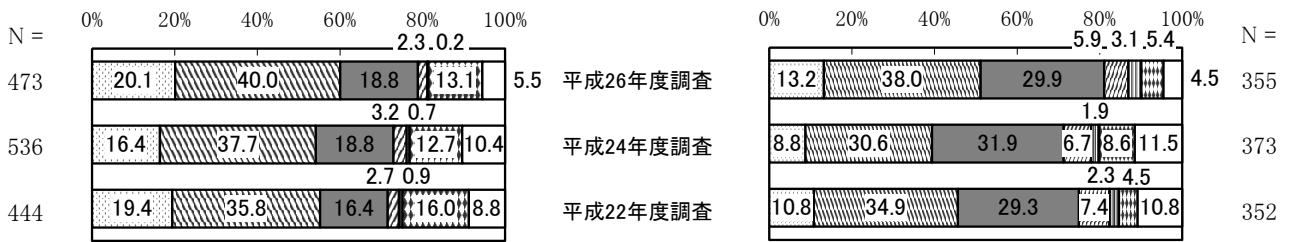
（２）職場の中で

【過去の調査との比較】

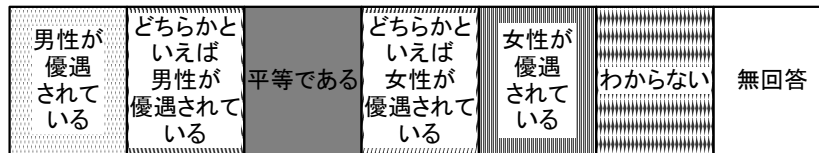


〈女性〉

〈男性〉

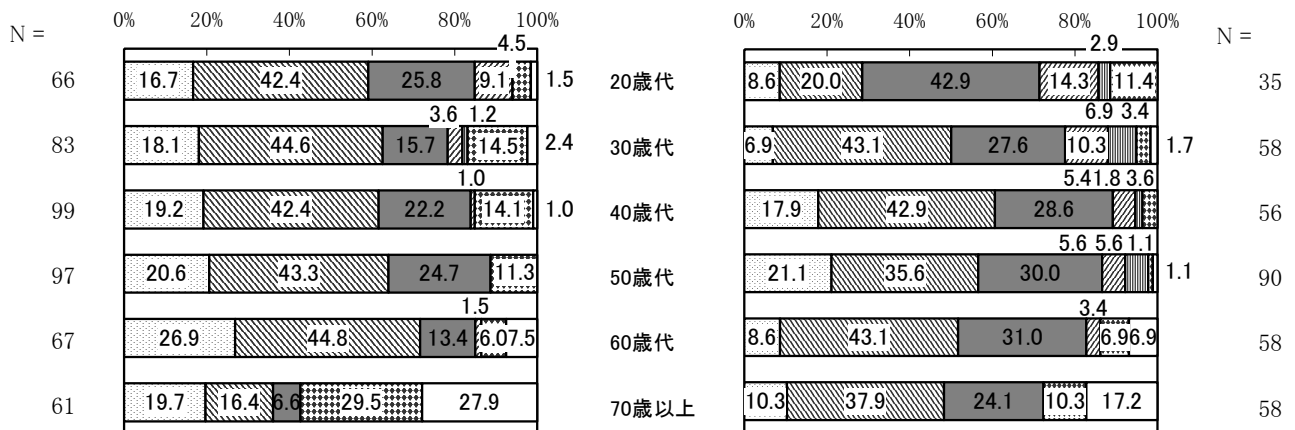


【性年代別】



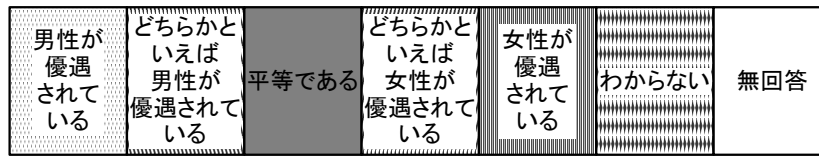
〈女性〉

〈男性〉



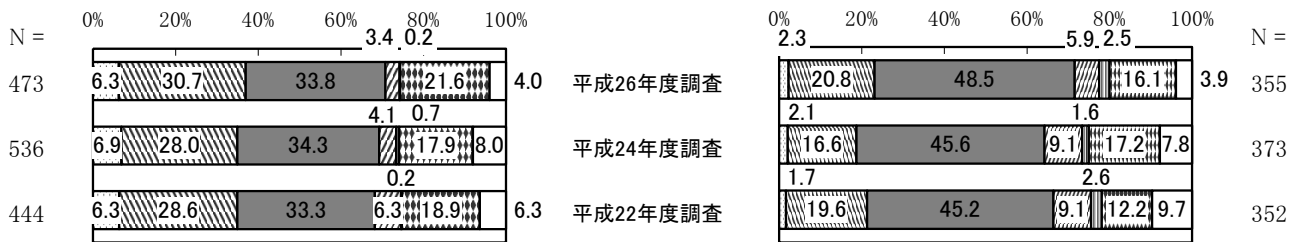
（３）地域活動の場で

【過去の調査との比較】

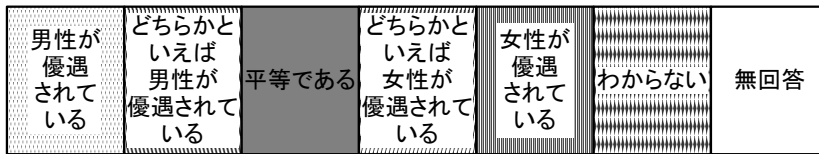


〈女性〉

〈男性〉

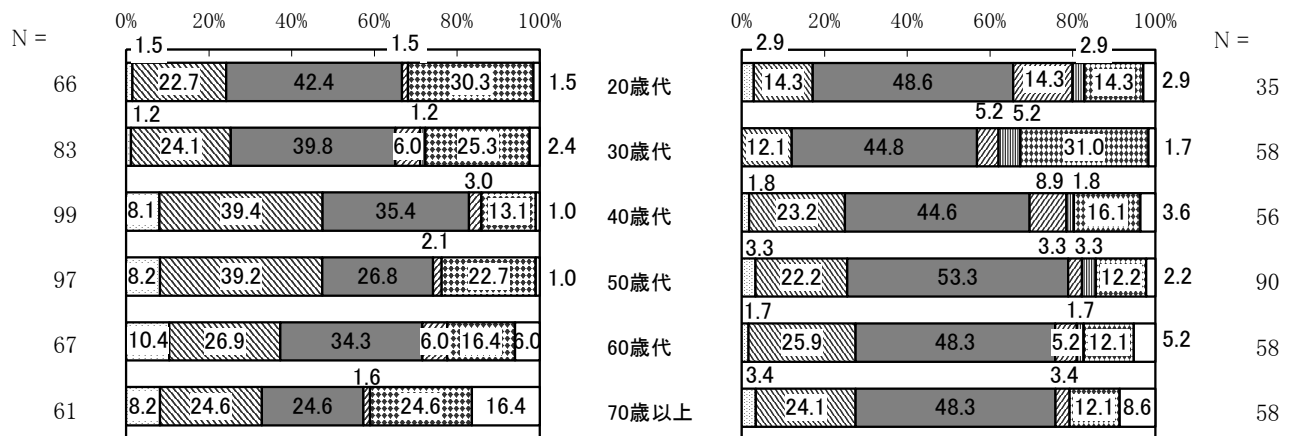


【性年代別】



〈女性〉

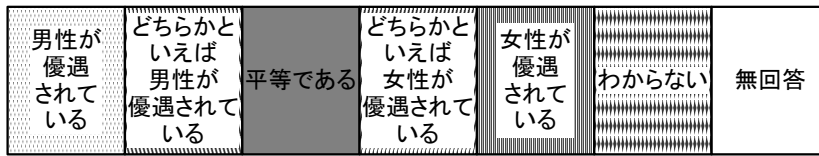
〈男性〉



Ⅲ 調査結果（一般）

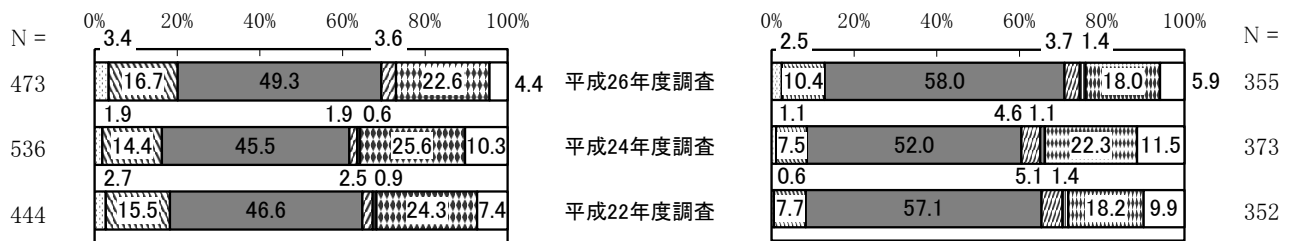
（４）学校教育の場で

【過去の調査との比較】

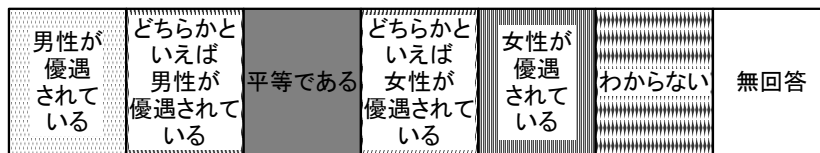


〈女性〉

〈男性〉

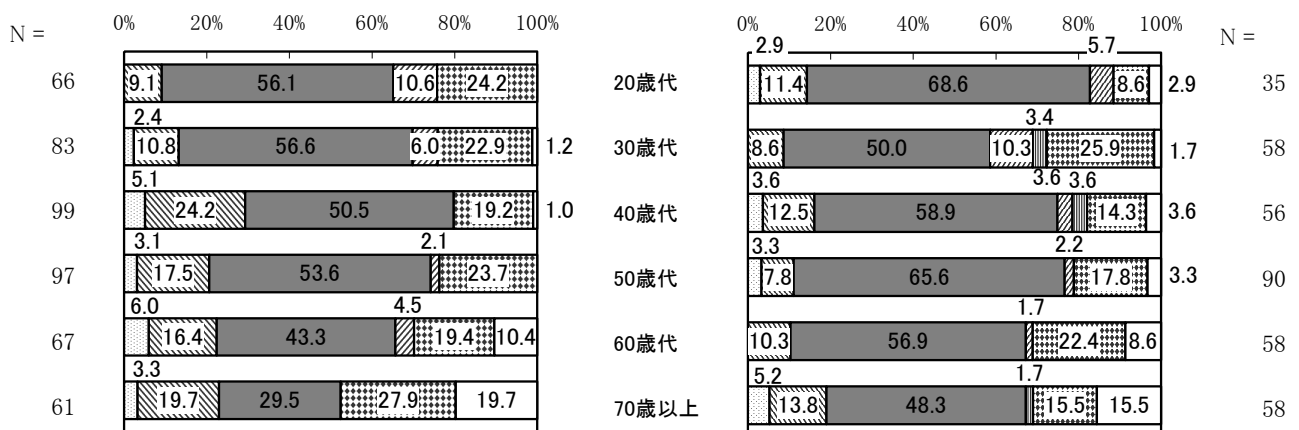


【性年代別】



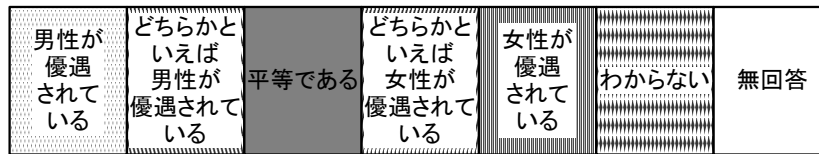
〈女性〉

〈男性〉



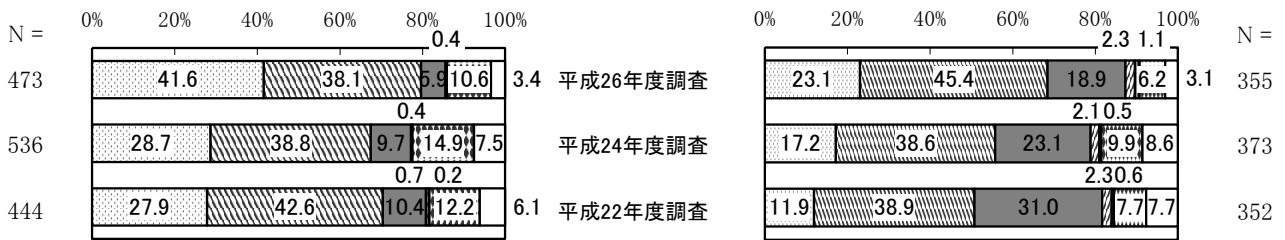
（５）政治の場で

【過去の調査との比較】

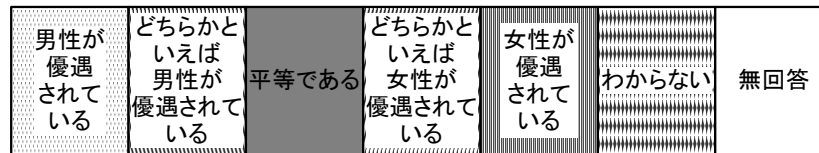


〈女性〉

〈男性〉

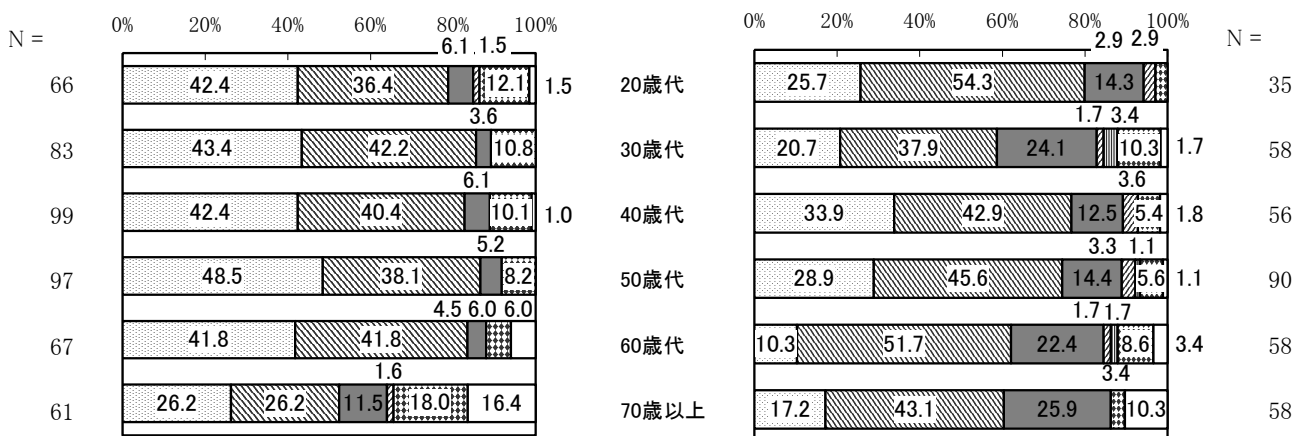


【性年代別】



〈女性〉

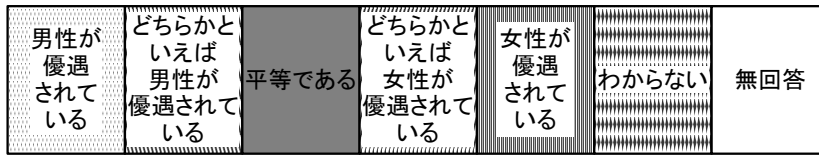
〈男性〉



Ⅲ 調査結果（一般）

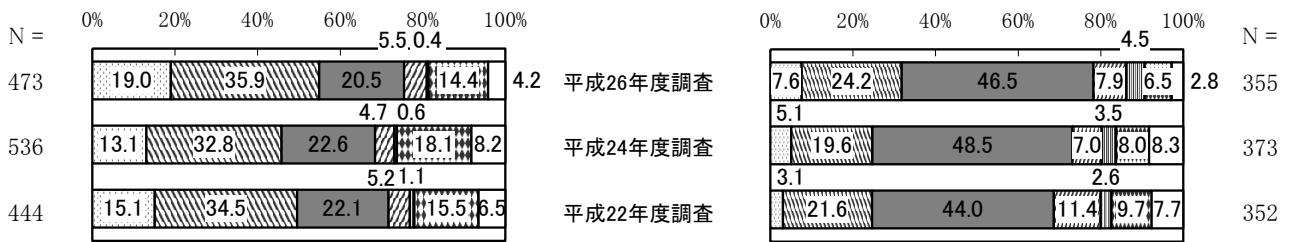
（6）法律や制度の上で

【過去の調査との比較】

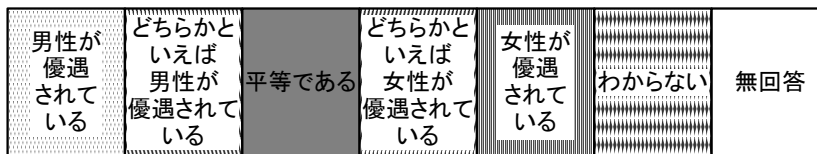


〈女性〉

〈男性〉

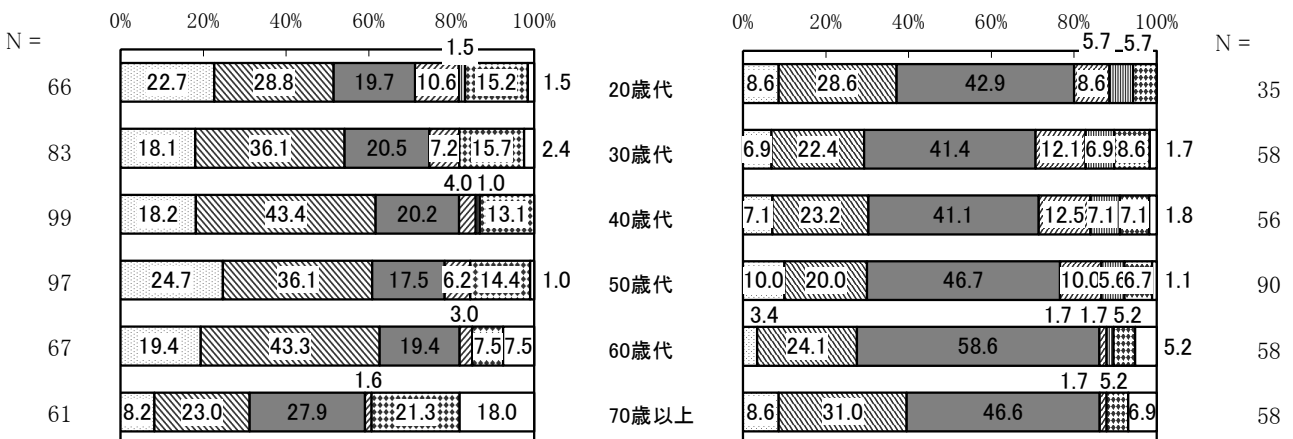


【性年代別】



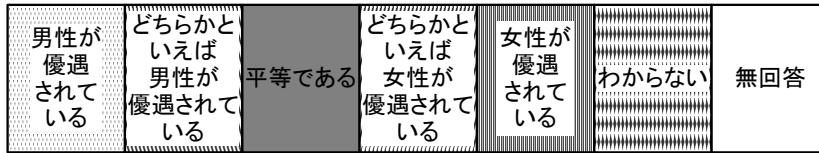
〈女性〉

〈男性〉



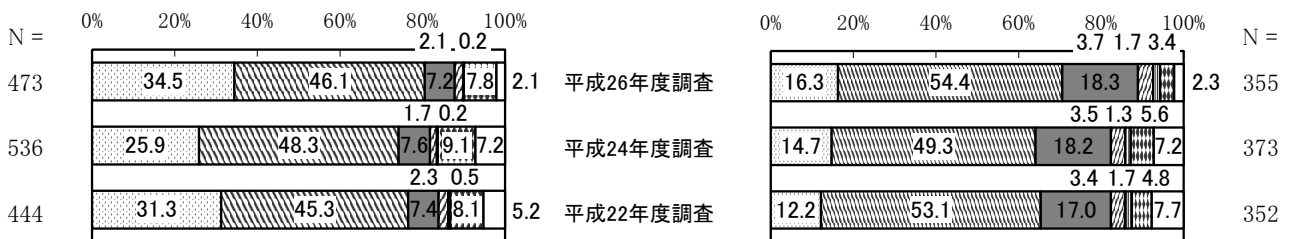
（7）社会通念・慣習・しきたりなどで

【過去の調査との比較】

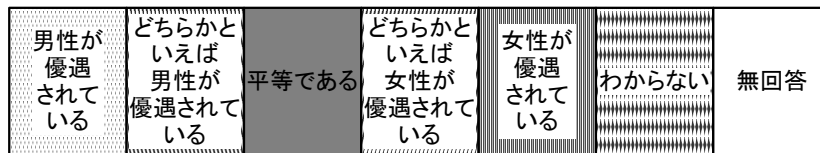


〈女性〉

〈男性〉

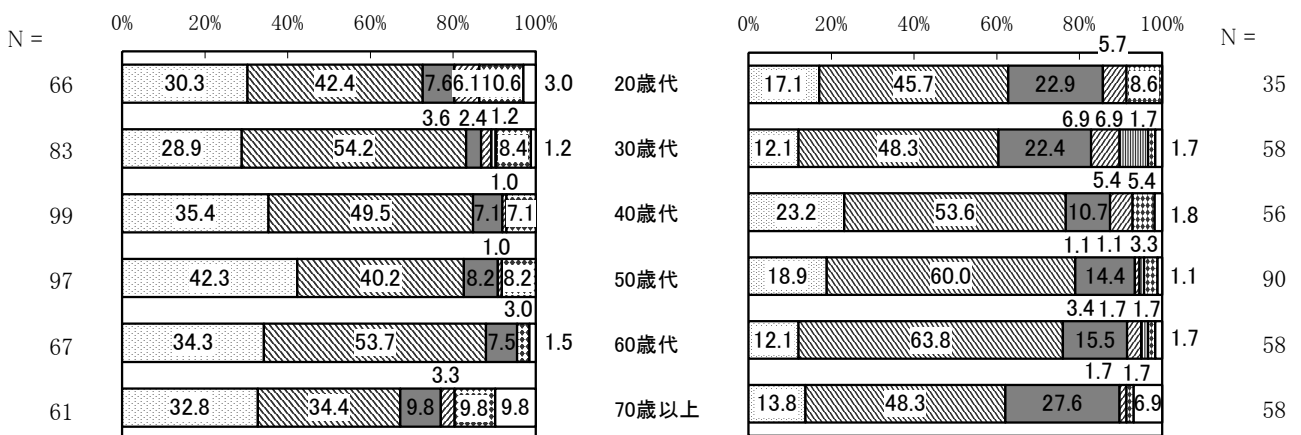


【性年代別】



〈女性〉

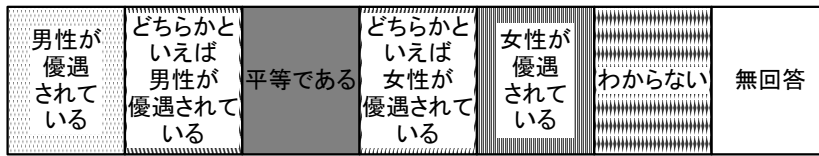
〈男性〉



Ⅲ 調査結果（一般）

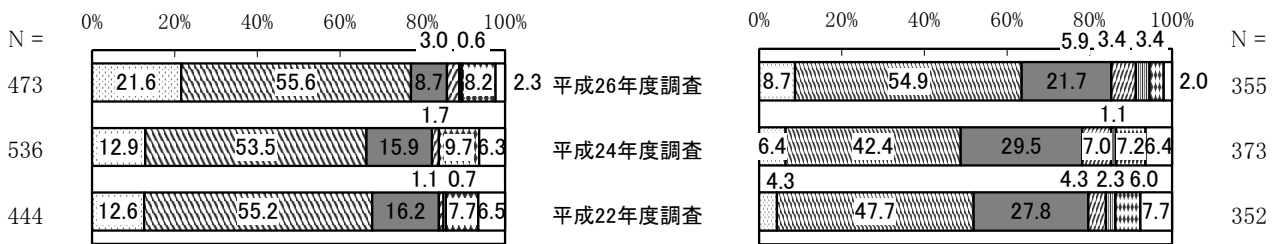
（８）社会全体として

【過去の調査との比較】

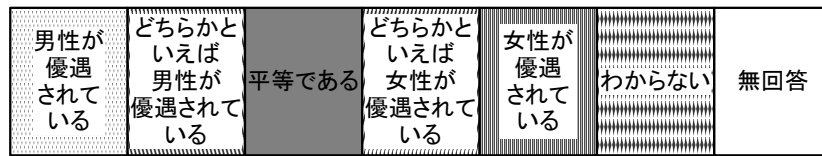


〈女性〉

〈男性〉

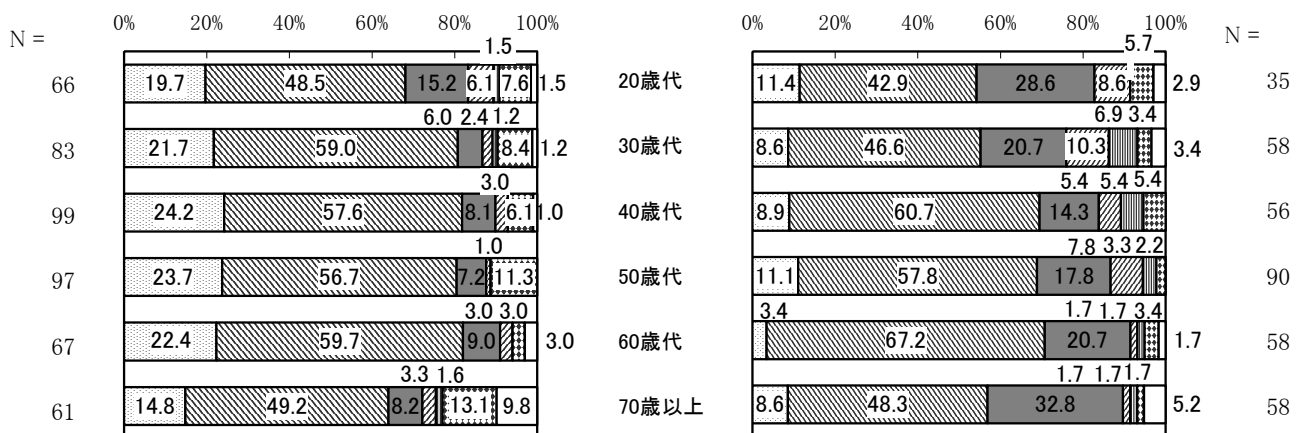


【性年代別】

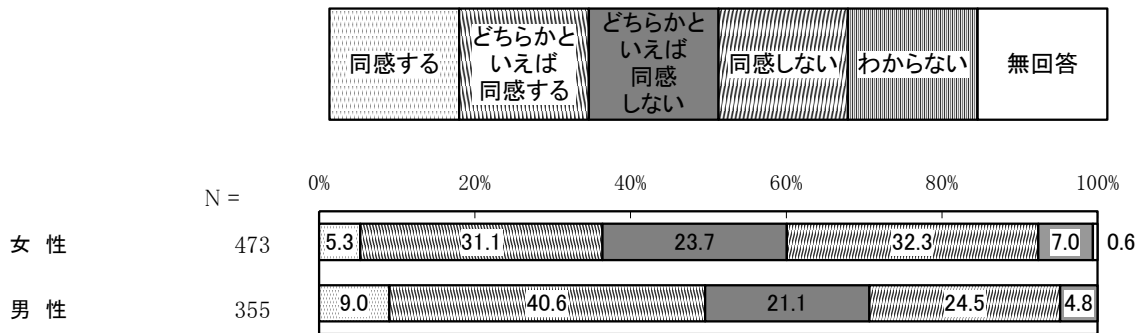


〈女性〉

〈男性〉

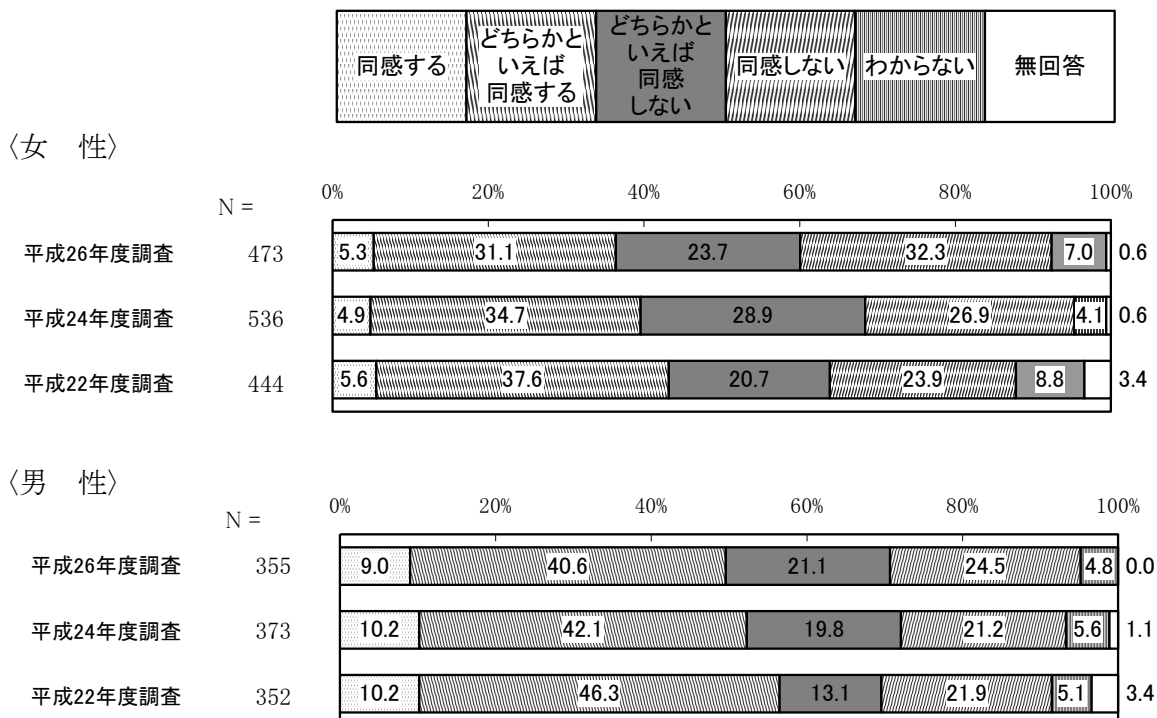


問2 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担について、どのように思いますか。（○は1つ）



「男は仕事、女は家庭」という考え方についてみると、『同意しない』（「同意しない」と「どちらかといえば同意しない」の合計）は、女性 56.0%、男性 45.6%となっています。一方、『同意する』（「同意する」と「どちらかといえば同意する」の合計）は、女性 36.4%、男性 49.6%となっています。

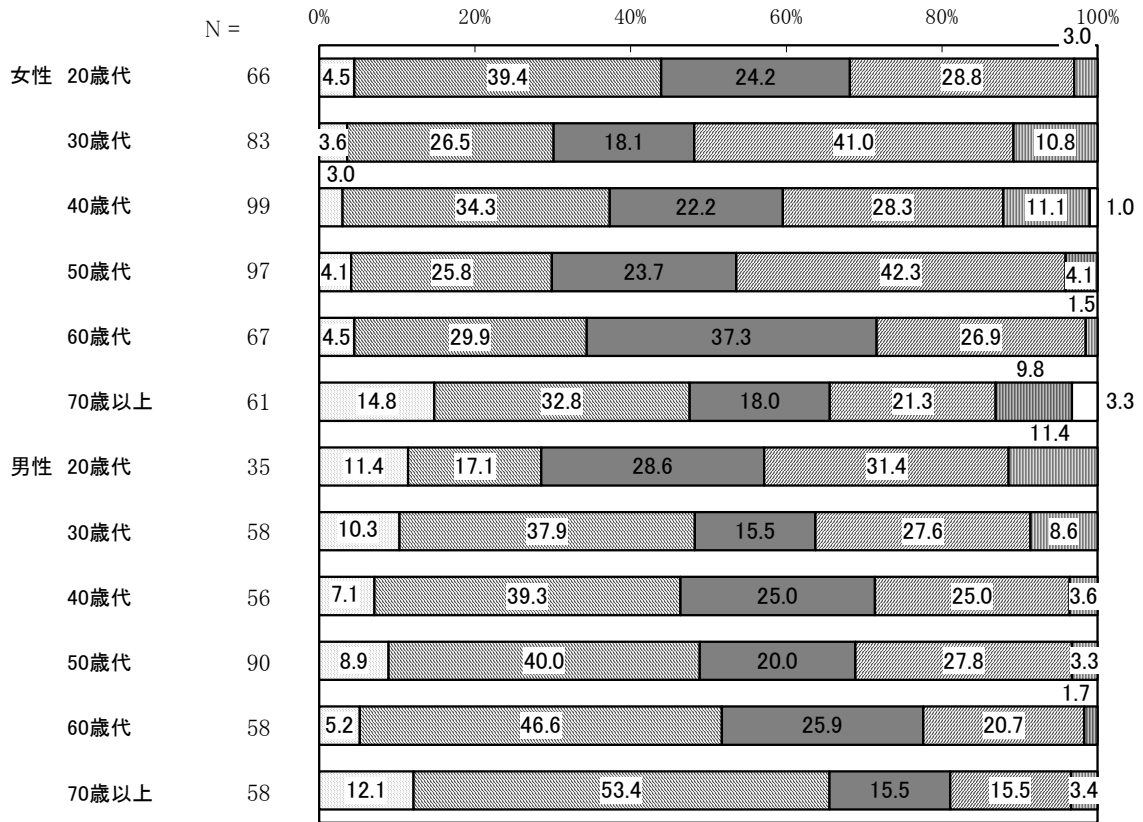
【過去の調査との比較】



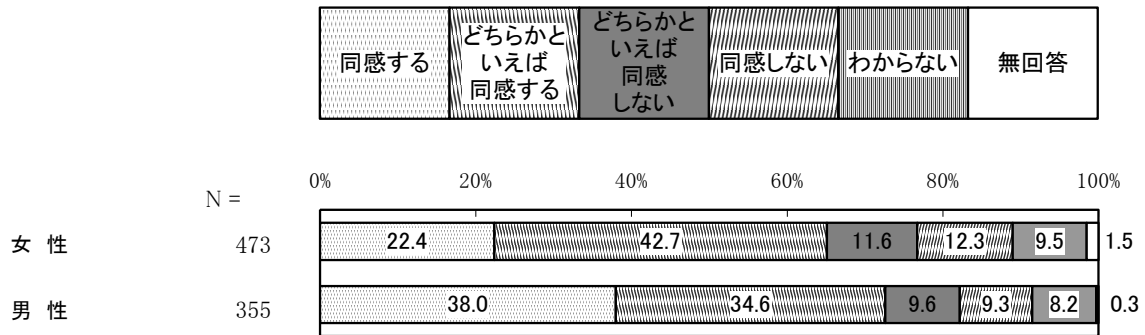
平成24年度調査、平成22年度調査と比較すると、男女ともに『同意する』が年々減少しています。

Ⅲ 調査結果（一般）

【性年代別】

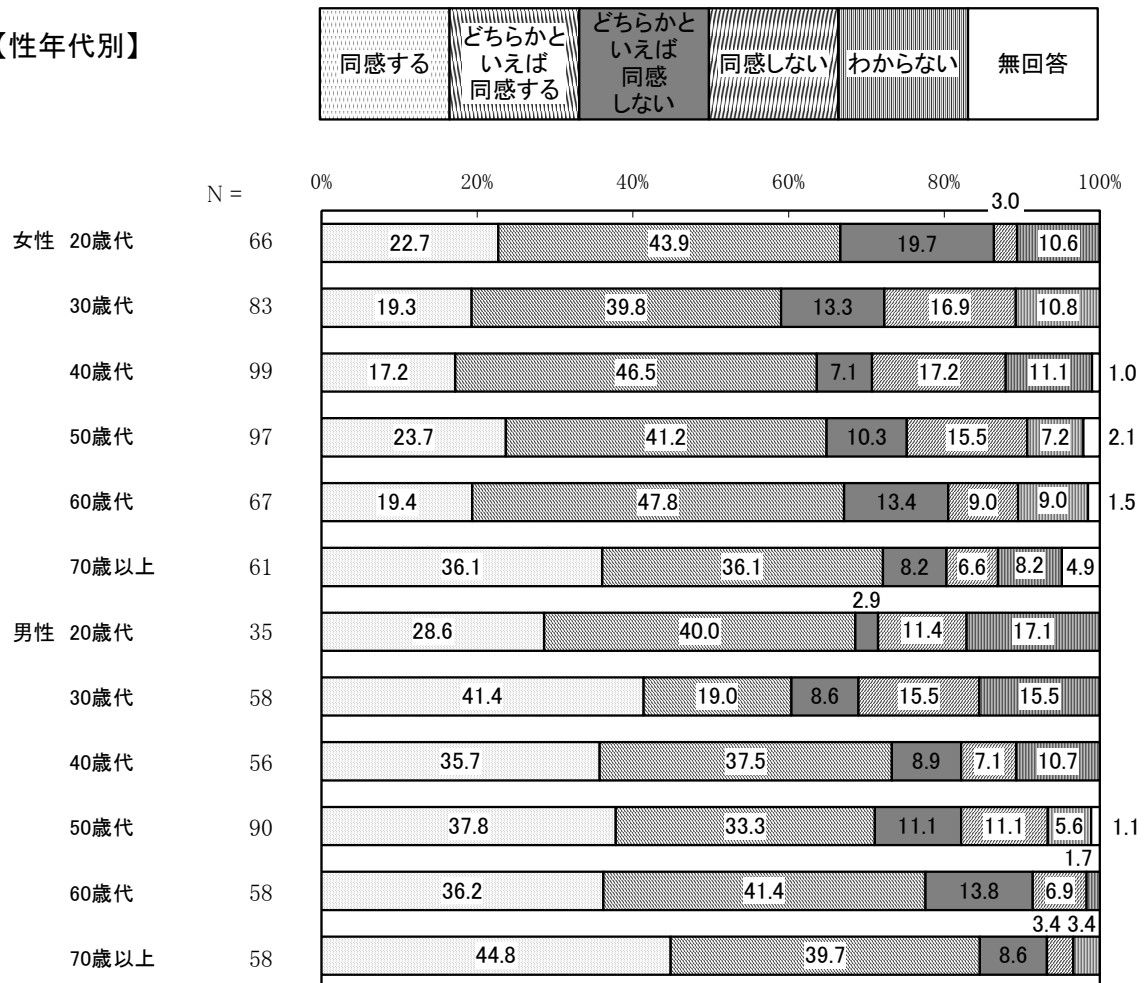


問3 あなたは、「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考え方について、どのように思いますか。（○は1つ）



「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考え方についてみると『同意する』（「同意する」と「どちらかといえば同意する」の合計）は、女性 65.1%、男性 72.6%となっています。一方、『同意しない』（「同意しない」と「どちらかといえば同意しない」の合計）は、女性 23.9%、男性 18.9%となっています。

【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

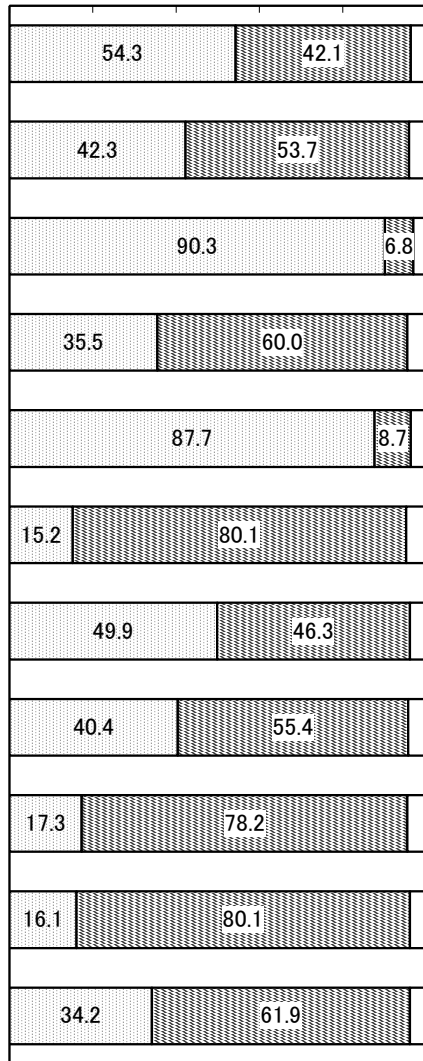
問4 次の（１）～（１１）の言葉について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（○は各項目に１つ）



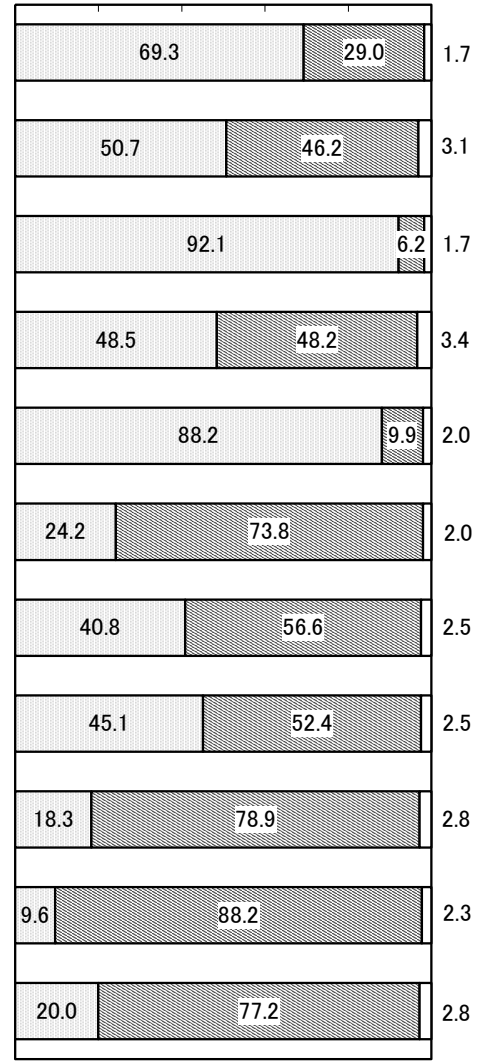
〈女性〉（N=473）

〈男性〉（N=355）

0% 20% 40% 60% 80% 100%



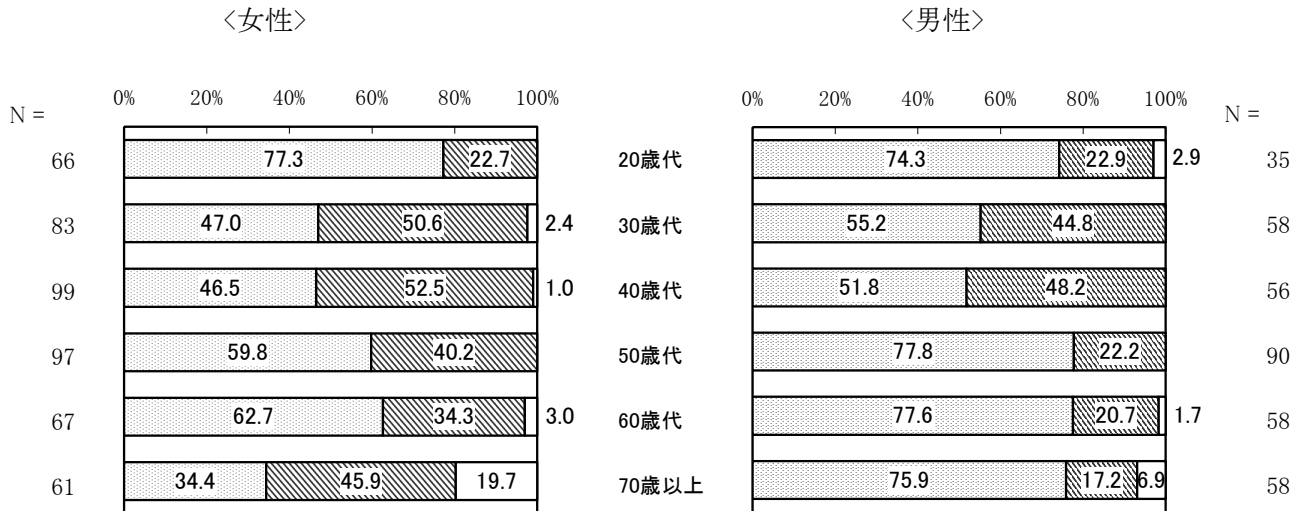
0% 20% 40% 60% 80% 100%



男女共同参画にかかわる言葉で、見聞きしたものについては、「男女雇用機会均等法」が女性90.3%、男性92.1%と男女ともいちばん高く、次に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」女性87.7%、男性88.2%、「男女共同参画社会」女性54.3%、男性69.3%となっています。

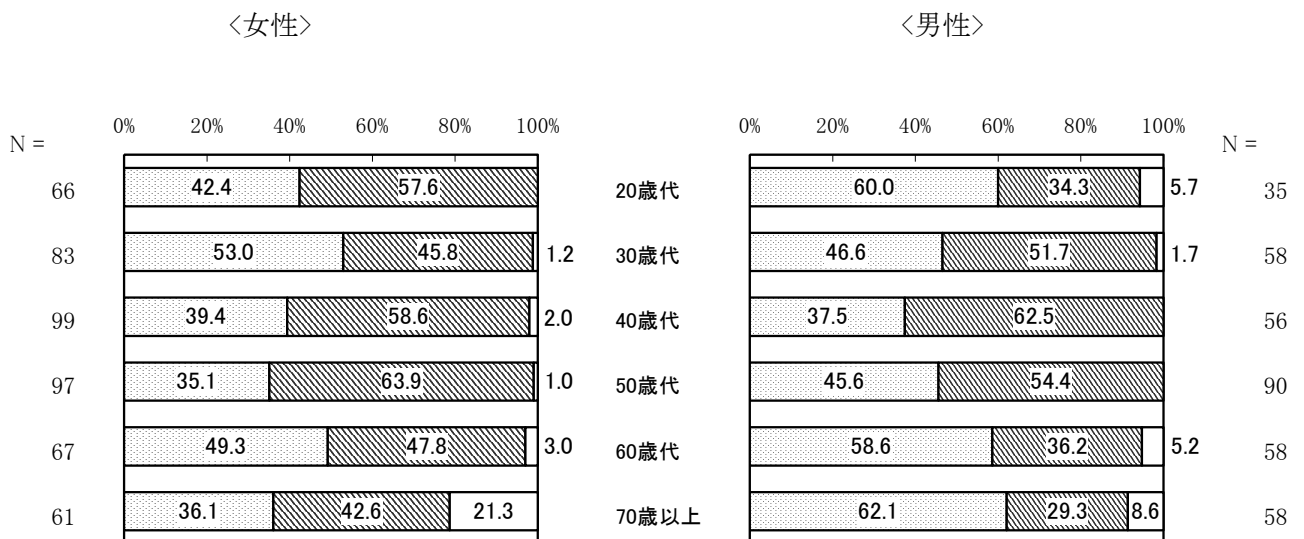
（１）男女共同参画社会

【性年代別】



（２）女子差別撤廃条約

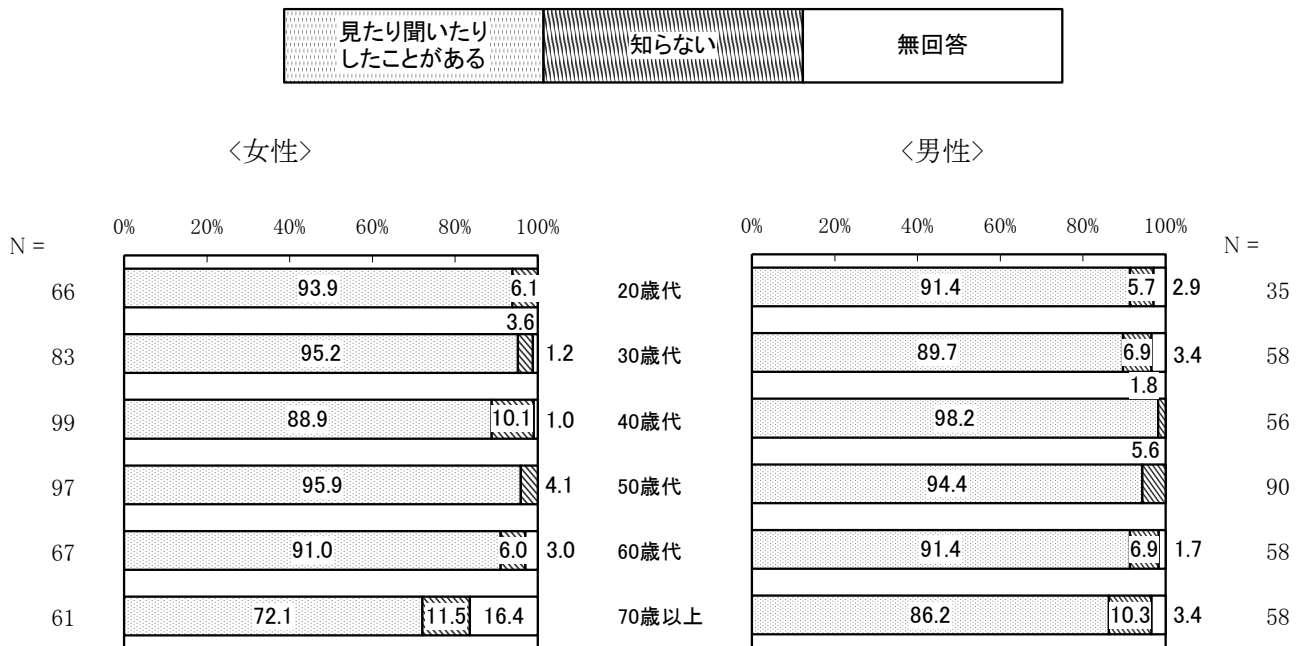
【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

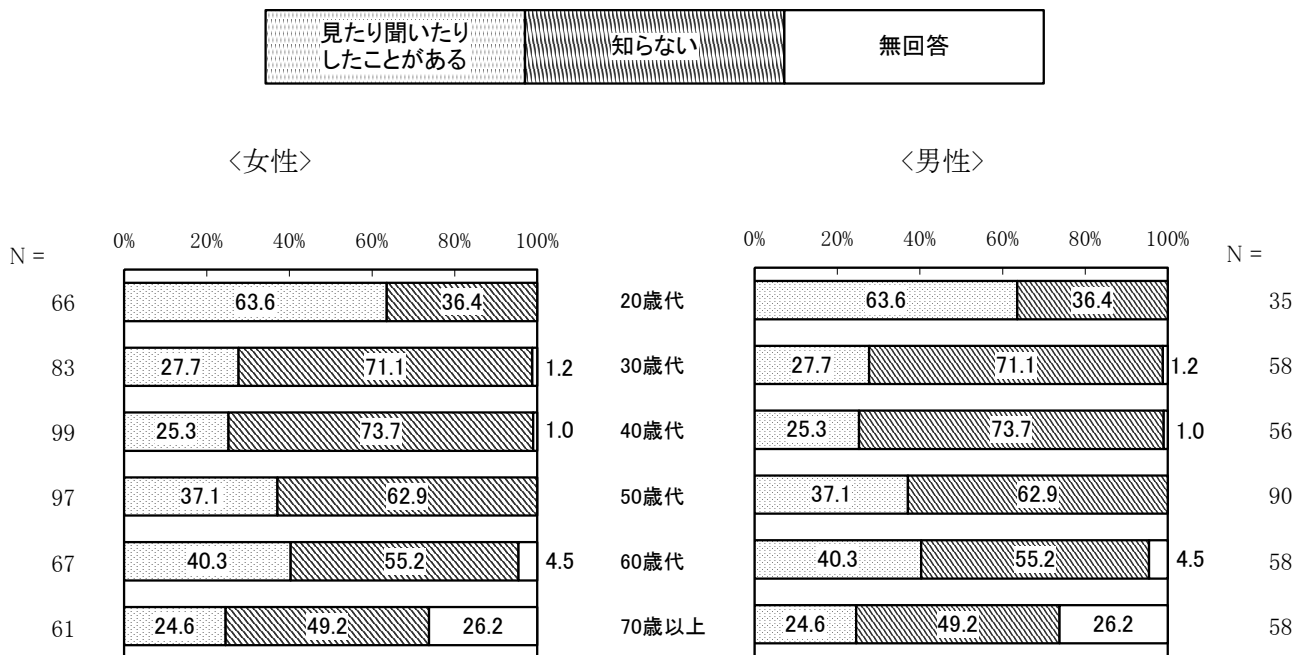
（３）男女雇用機会均等法

【性年代別】



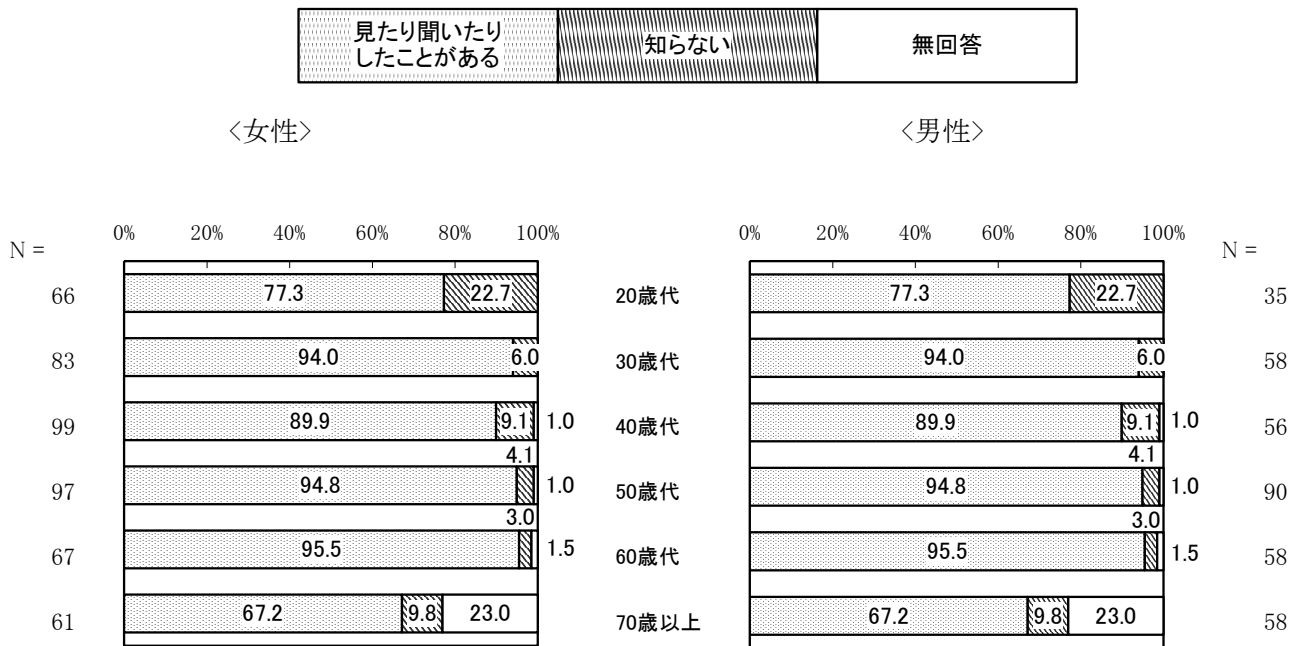
（４）男女共同参画社会基本法

【性年代別】



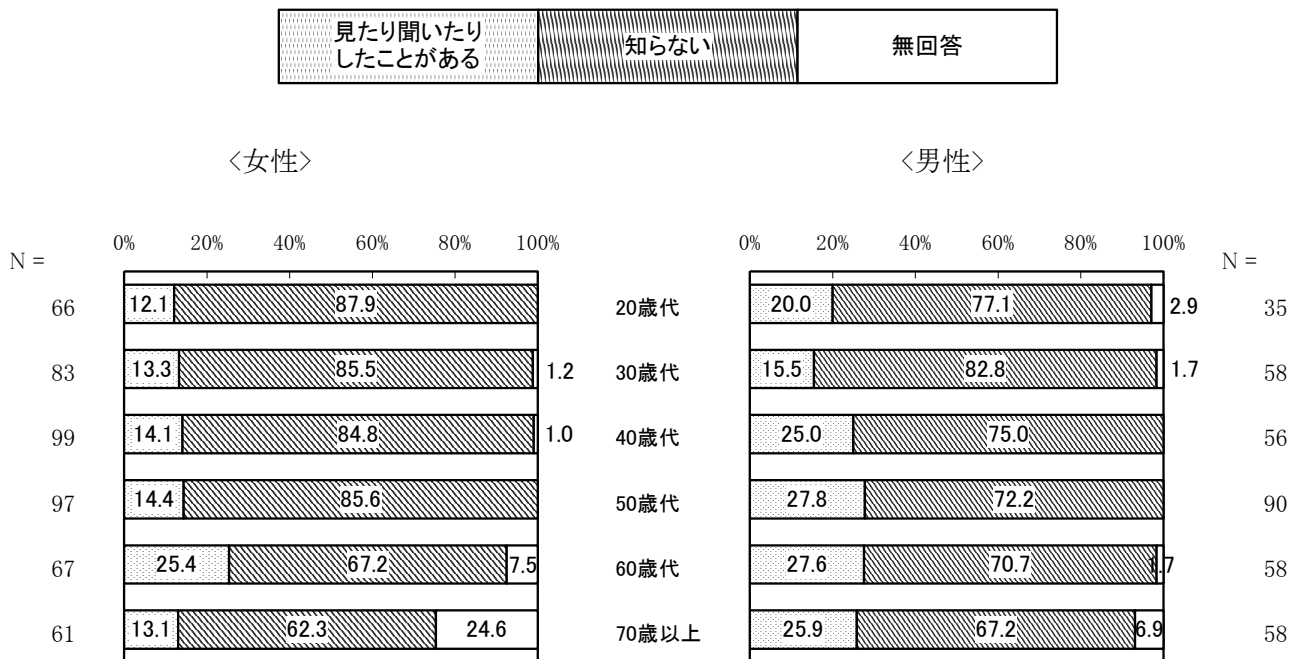
（５）配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

【性年代別】



（６）積極的改善措置（ポジティブ・アクション）

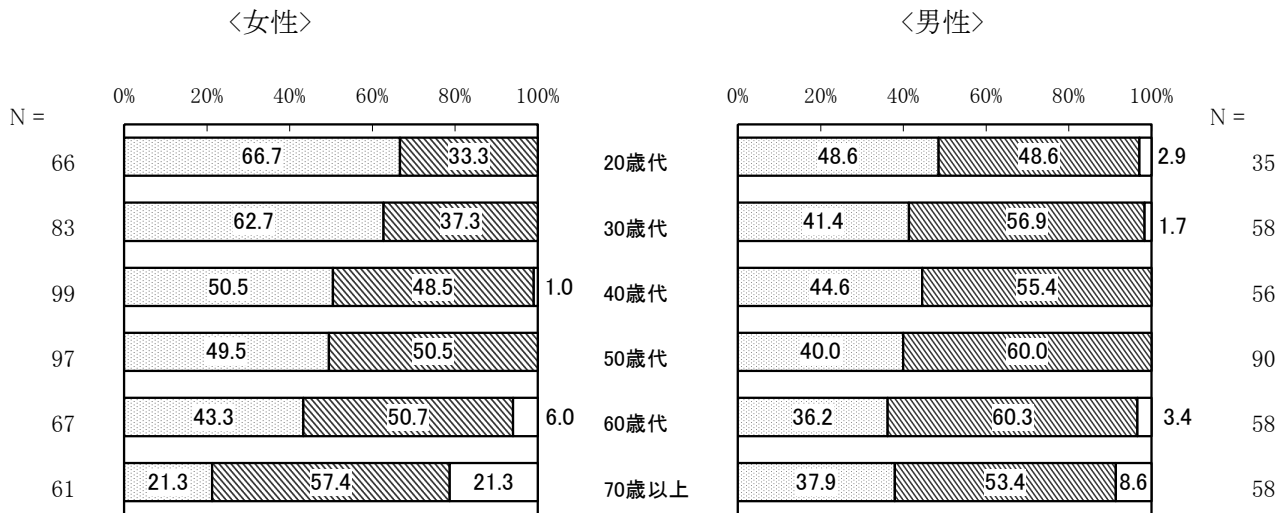
【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

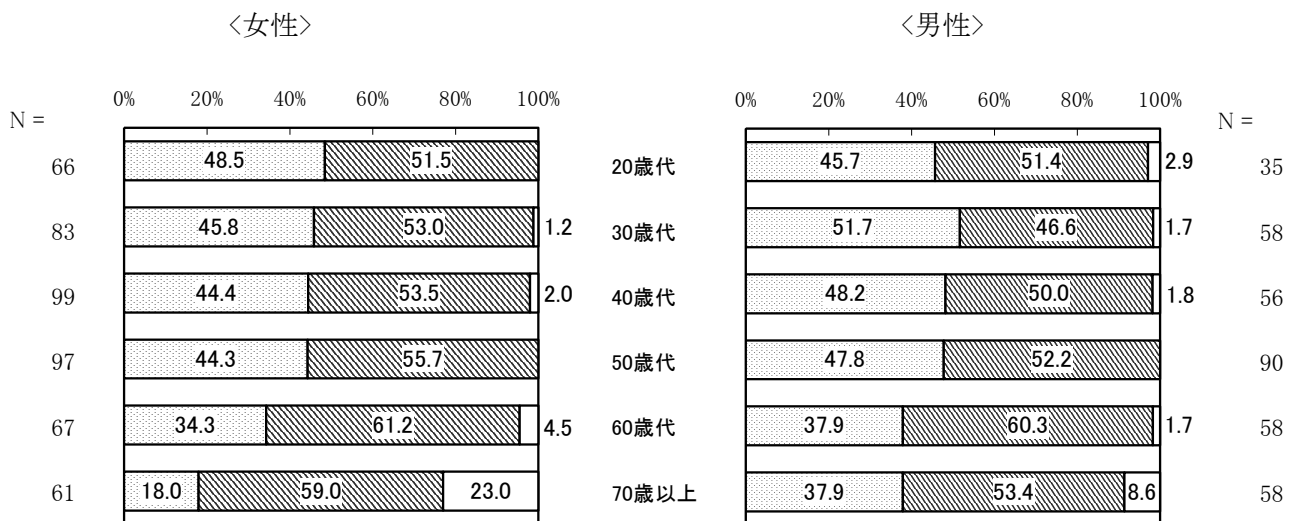
（7）デートDV

【性年代別】



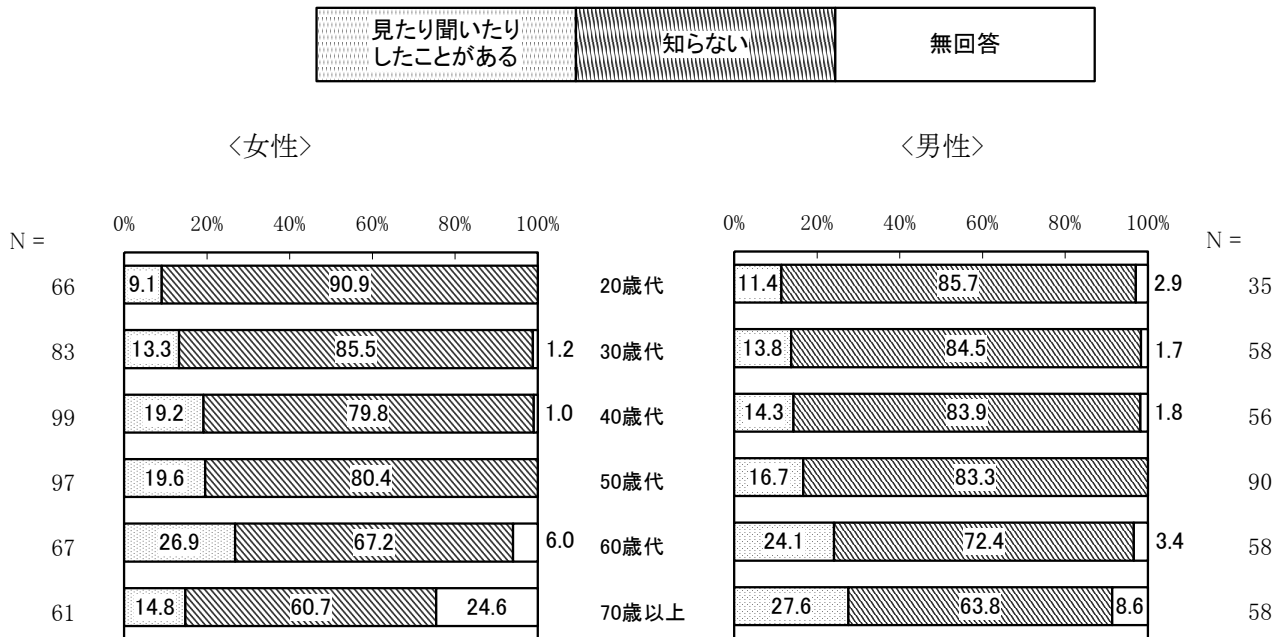
（8）ワーク・ライフ・バランス

【性年代別】



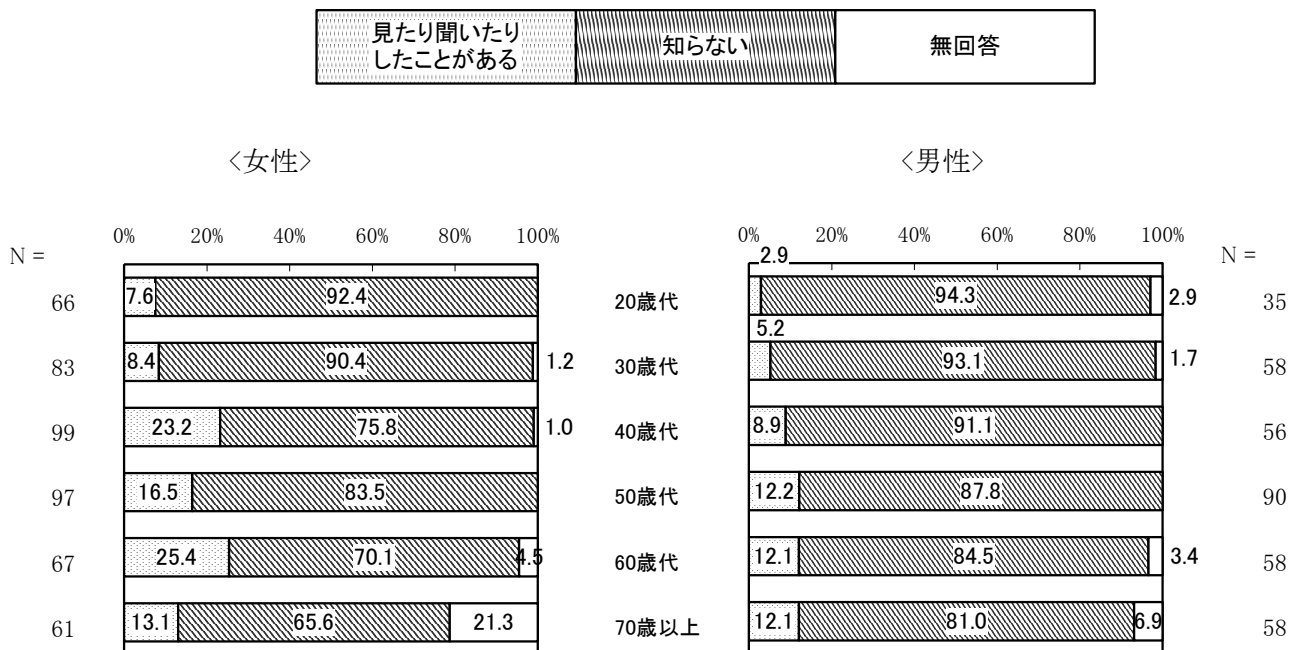
（9）枚方市男女共同参画推進条例

【性年代別】



（10）枚方市男女共生フロア・ウィル（メセナひらかた会館3階）

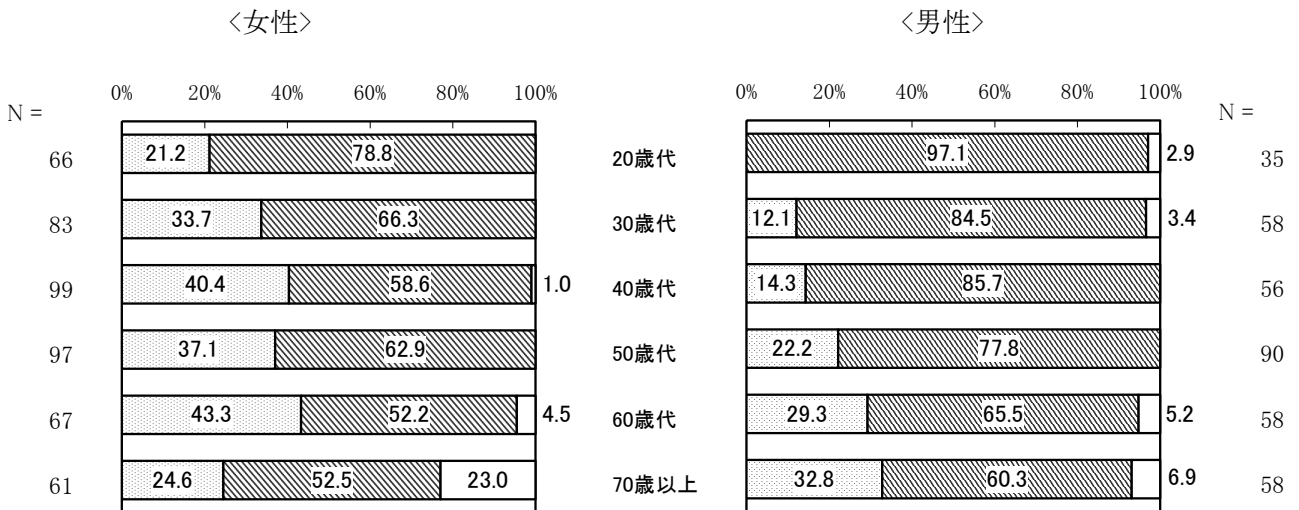
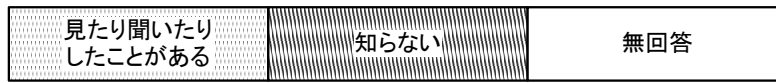
【性年代別】



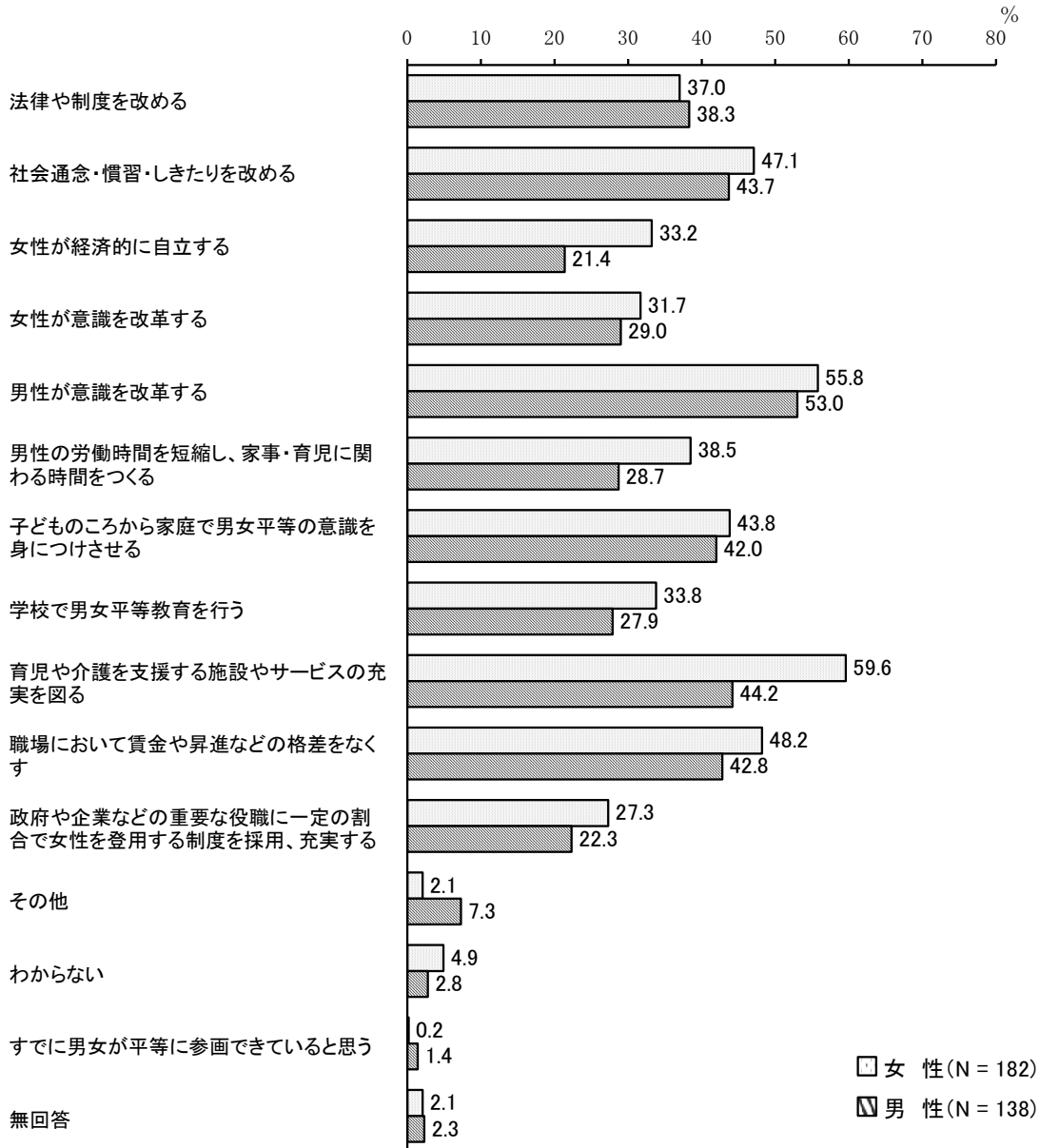
Ⅲ 調査結果（一般）

(11) 枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」

【性年代別】



問5 今後、社会のあらゆる分野で男女共同参画を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



「男女共同参画を推進するために、どのようなことが必要だと思うか」についてみると、女性では「育児や介護を支援する施設やサービスの充実を図る」59.6%がいちばん高く、男性では「男性が意識を改革する」53.0%がいちばん高くなっています。次いで女性では「男性が意識を改革する」55.8%、「職場において賃金や昇進などの格差をなくす」48.2%となっています。男性では、「育児や介護を支援する施設やサービスの充実を図る」44.2%、「社会通念・慣習・しきたりを改める」43.7%となっています。

Ⅲ 調査結果（一般）

【性年代別】

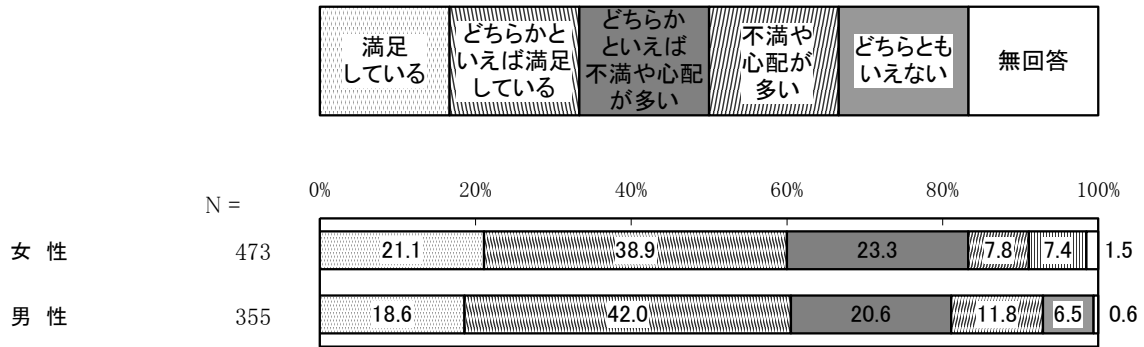
単位：％

区分	有効回答数（件）	法律や制度を改める	社会通念・慣習・しきたりを改める	女性が経済的に自立する	女性が意識を改革する	男性が意識を改革する	男性の労働時間を短縮し、家事・育児に関わる時間をつくる	子どものころから家庭で男女平等の意識を身につけさせる
女性 20歳代	66	43.9	45.5	27.3	24.2	62.1	39.4	43.9
30歳代	83	37.3	49.4	28.9	28.9	60.2	45.8	47.0
40歳代	99	42.4	38.4	33.3	34.3	55.6	38.4	32.3
50歳代	97	39.2	50.5	37.1	32.0	57.7	39.2	46.4
60歳代	67	35.8	55.2	40.3	38.8	56.7	41.8	46.3
70歳以上	61	18.0	45.9	31.1	31.1	39.3	23.0	50.8
男性 20歳代	35	40.0	45.7	17.1	22.9	42.9	31.4	42.9
30歳代	58	43.1	37.9	15.5	31.0	39.7	43.1	24.1
40歳代	56	41.1	35.7	16.1	30.4	58.9	23.2	33.9
50歳代	90	38.9	42.2	23.3	27.8	61.1	27.8	47.8
60歳代	58	29.3	50.0	24.1	25.9	55.2	17.2	46.6
70歳以上	58	37.9	51.7	29.3	34.5	51.7	31.0	53.4

区分	学校で男女平等教育を行う	育児や介護を支援する施設やサービスの充実を図る	職場において賃金や昇進などの格差をなくす	女性が登用する制度を採用、充実する	政府や企業などの重要な役割に一定の割合で女性を登用する制度を	その他	わからない	すでに男女が平等に参画できていると思う	無回答
女性 20歳代	37.9	57.6	43.9	28.8	1.5	1.5	—	1.5	
30歳代	34.9	55.4	57.8	31.3	1.2	6.0	—	1.2	
40歳代	26.3	53.5	40.4	25.3	3.0	8.1	—	2.0	
50歳代	38.1	69.1	54.6	20.6	4.1	3.1	—	—	
60歳代	34.3	67.2	55.2	31.3	—	1.5	—	3.0	
70歳以上	32.8	54.1	34.4	29.5	1.6	8.2	1.6	6.6	
男性 20歳代	31.4	22.9	40.0	28.6	8.6	5.7	—	—	
30歳代	20.7	36.2	34.5	13.8	6.9	5.2	1.7	—	
40歳代	23.2	39.3	44.6	14.3	5.4	1.8	3.6	—	
50歳代	28.9	51.1	44.4	23.3	7.8	2.2	—	—	
60歳代	22.4	50.0	44.8	20.7	5.2	3.4	1.7	1.7	
70歳以上	41.4	53.4	46.6	34.5	10.3	—	1.7	12.1	

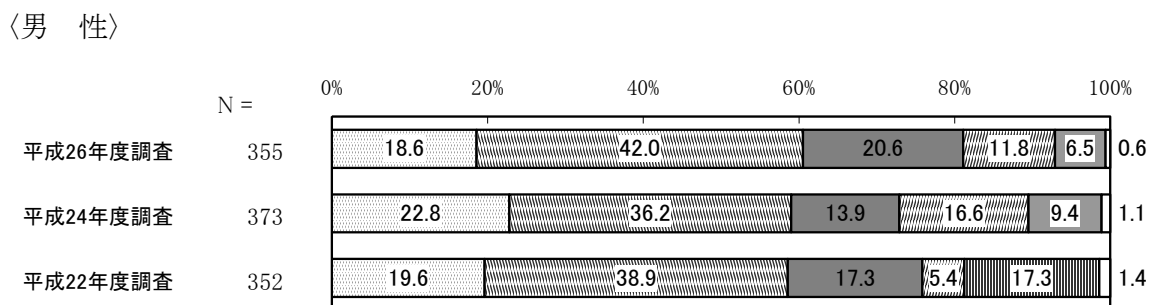
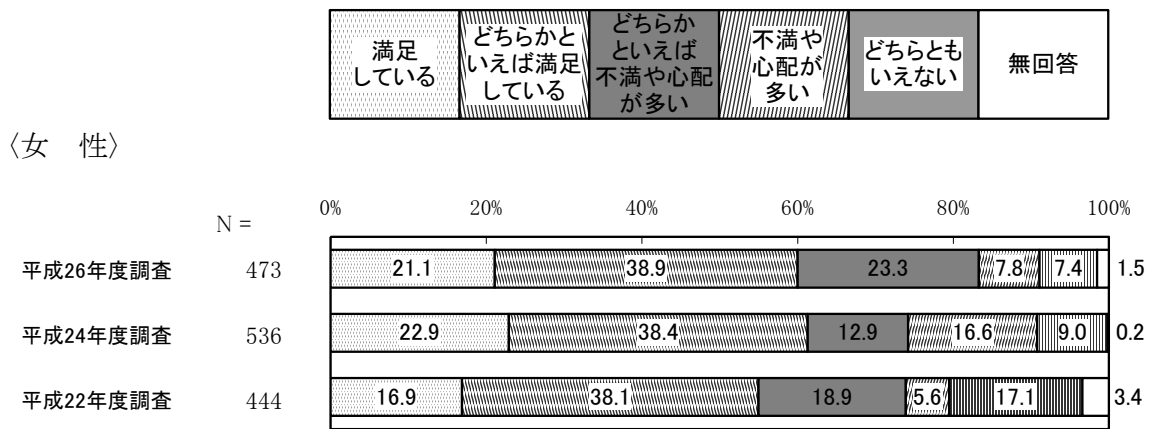
（3）生活の満足感について

問6 あなたは、現在の自分の生活に満足していますか。（○は1つ）



現在の生活の満足感についてみると、男女ともに『満足している』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が『不満や心配が多い』（「不満や心配が多い」と「どちらかといえば不満や心配が多い」の合計）の割合より高くなっています。

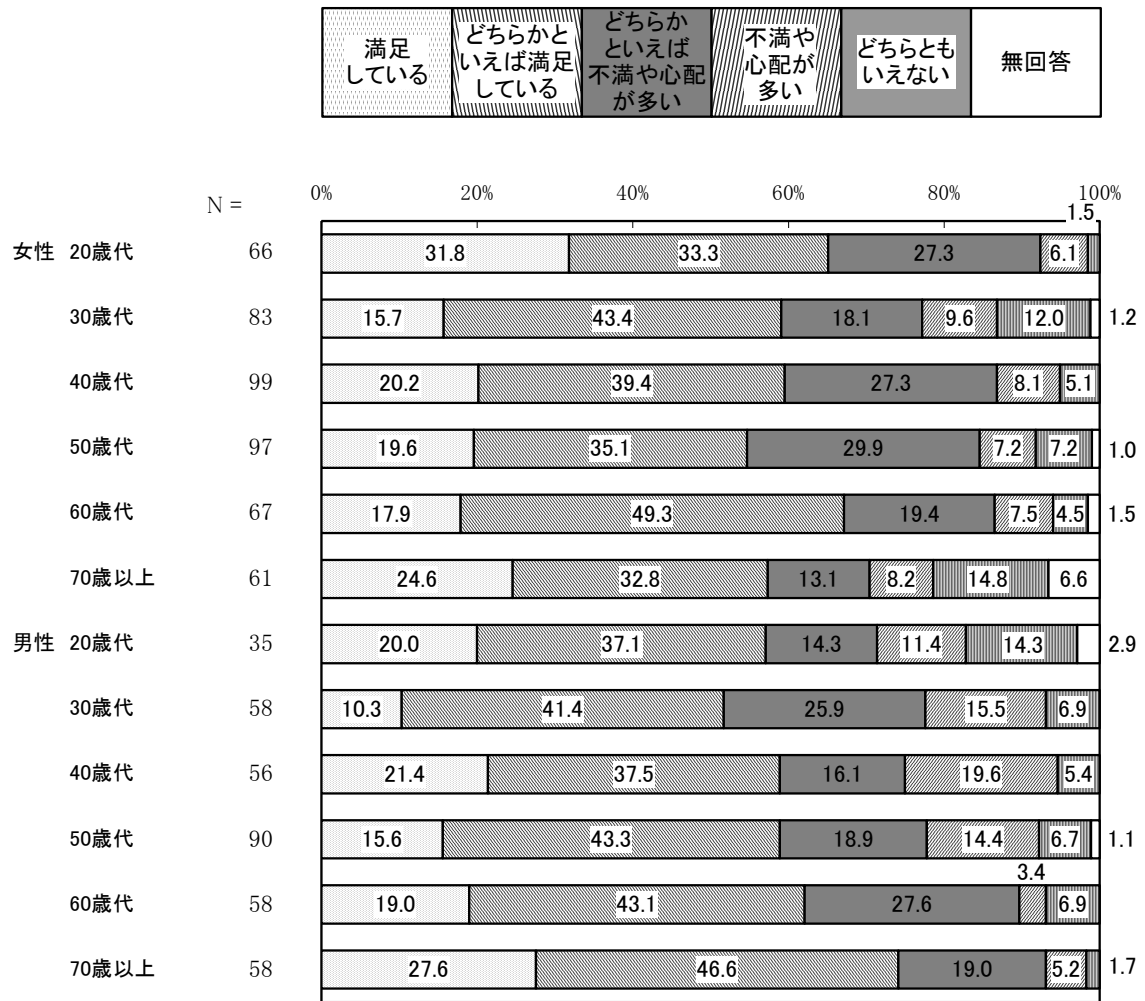
【過去の調査との比較】



平成24年度調査、平成22年度調査と比較すると、男女ともに『不満や心配が多い』の割合が年々増加しています。

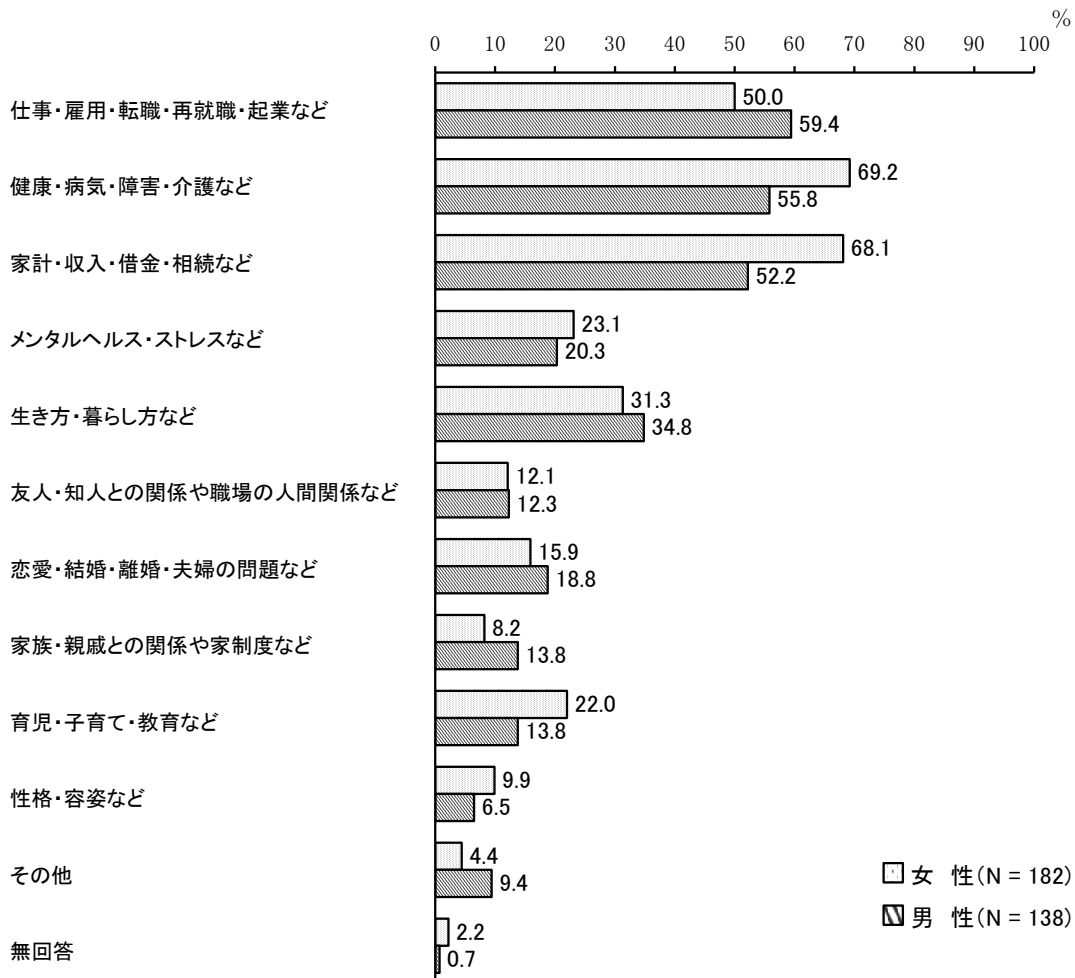
Ⅲ 調査結果（一般）

【性年代別】



問6で「どちらかといえば不満や心配が多い」「不満や心配が多い」「どちらともいえない」と答えた方におたずねします

問6-1 不満や心配があるのは、どのようなことですか。（〇はいくつでも）



不満や心配の分野についてみると、女性では「健康・病気・障害・介護など」69.2%がいちばん高く、男性では「仕事・雇用・転職・再就職・起業など」59.4%がいちばん高くなっています。次に、女性では「家計・収入・借金・相続など」68.1%、男性では、「健康・病気・障害・介護など」55.8%となっています。

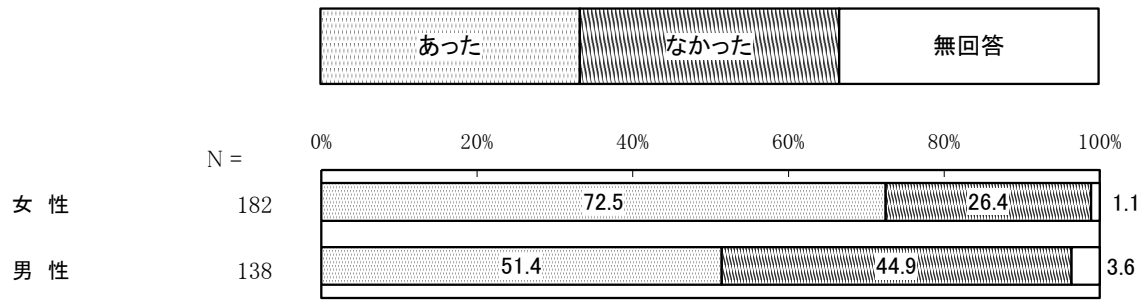
Ⅲ 調査結果（一般）

【性年代別】

単位：％

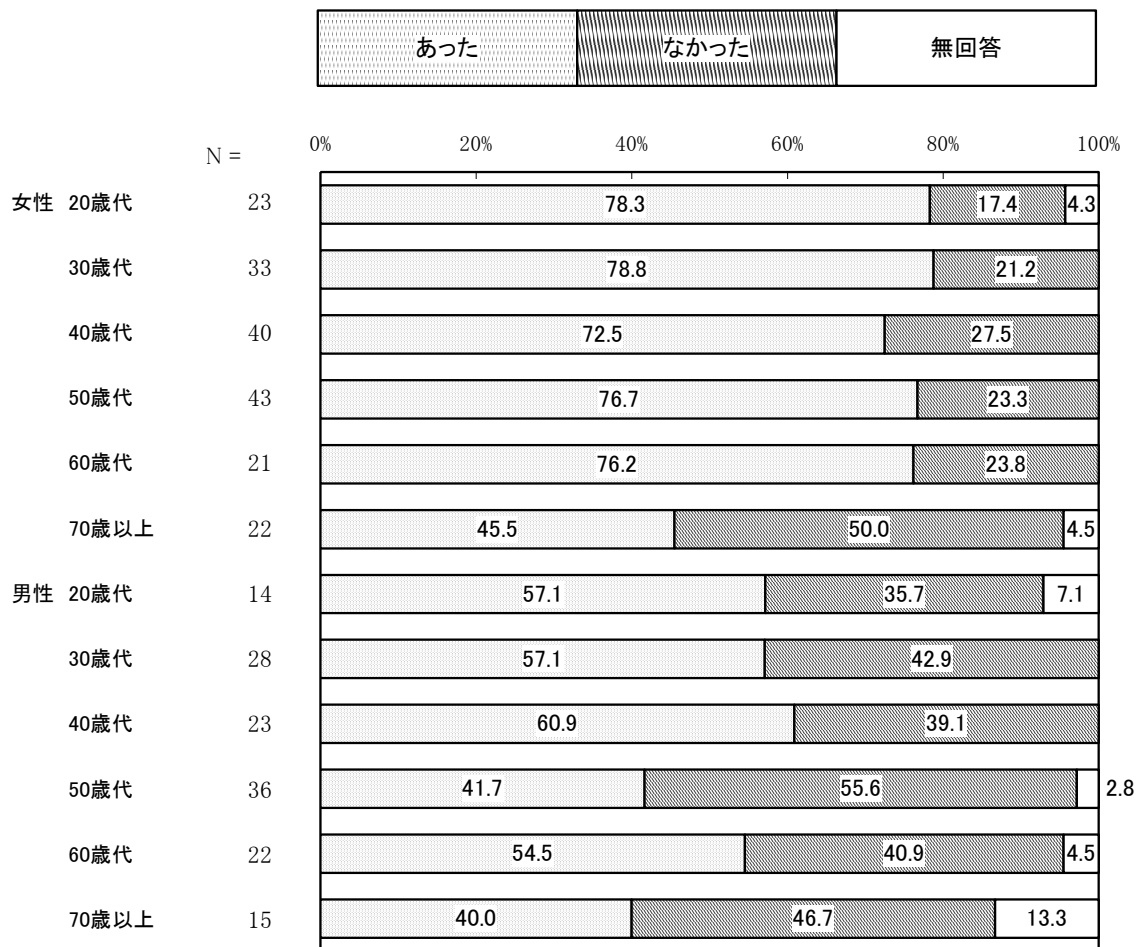
区分	有効回答数（件）	就職・起業など	仕事・雇用・転職・再	健康・病気・障害・介護など	家計・収入・借金・相続など	メンタルヘルス・ストレスなど	生き方・暮らし方など	職場の人間関係など	友人・知人との関係や	恋愛・結婚・離婚・夫婦の問題など	家族・親戚との関係や家制度など	育児・子育て・教育など	性格・容姿など	その他	無回答
女性 20 歳代	23	78.3	47.8	69.6	34.8	30.4	26.1	26.1	13.0	21.7	8.7	4.3	—	—	—
30 歳代	33	51.5	57.6	72.7	27.3	30.3	15.2	24.2	15.2	42.4	18.2	—	6.1	—	—
40 歳代	40	62.5	72.5	67.5	27.5	25.0	10.0	20.0	5.0	27.5	7.5	2.5	—	—	—
50 歳代	43	53.5	81.4	81.4	23.3	39.5	14.0	11.6	7.0	16.3	11.6	2.3	—	—	—
60 歳代	21	33.3	66.7	61.9	14.3	28.6	4.8	9.5	—	14.3	4.8	19.0	—	—	—
70 歳以上	22	4.5	81.8	40.9	4.5	31.8	—	—	9.1	—	4.5	4.5	9.1	—	—
男性 20 歳代	14	71.4	35.7	57.1	28.6	28.6	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
30 歳代	28	78.6	28.6	53.6	28.6	46.4	25.0	32.1	14.3	17.9	7.1	7.1	—	—	—
40 歳代	23	69.6	47.8	65.2	26.1	30.4	21.7	26.1	13.0	21.7	13.0	—	—	—	—
50 歳代	36	69.4	66.7	44.4	25.0	30.6	11.1	25.0	19.4	13.9	8.3	11.1	—	—	—
60 歳代	22	36.4	68.2	50.0	—	18.2	—	—	13.6	4.5	—	18.2	—	—	—
70 歳以上	15	6.7	93.3	46.7	6.7	60.0	—	—	6.7	6.7	—	13.3	—	—	—

問7 あなたは、不満や心配について、どこ（だれ）かに相談したいと思ったことがありますか。（○は1つ）



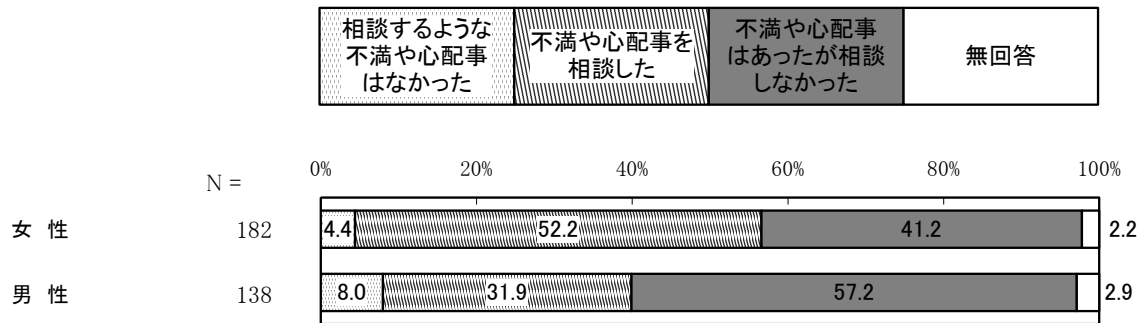
不満や心配について、どこ（だれ）かに相談したいと思ったことがあるかについてみると、「あった」が女性72.5%、男性51.4%となっています。

【性年代別】



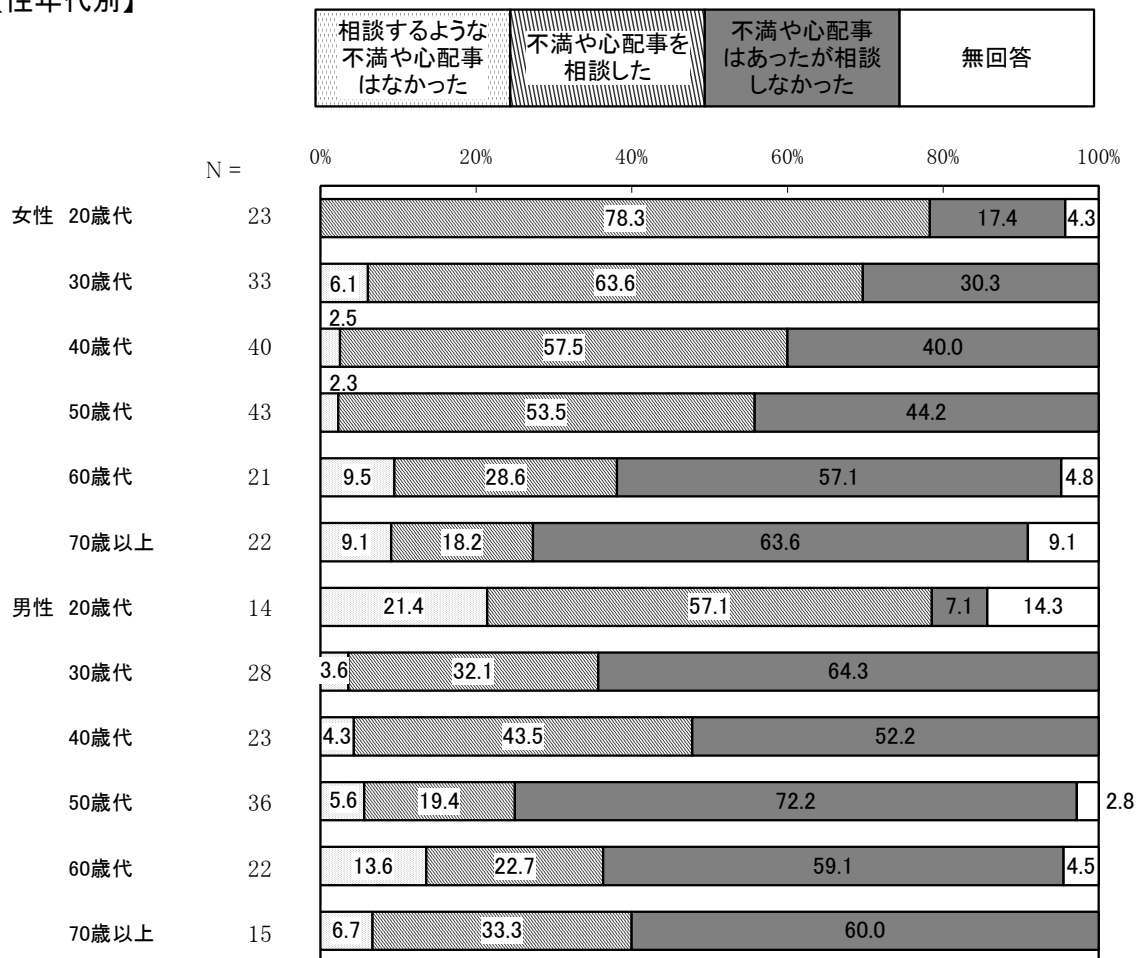
Ⅲ 調査結果（一般）

問8 あなたは、この1年間に、不満や心配について、どこ（だれ）かに相談しましたか。
（○は1つ）



この1年間に、不満や心配について、どこ（だれ）かに相談したかについてみると「不満や心配事を相談した」が女性 52.2%、男性 31.9%となっています。

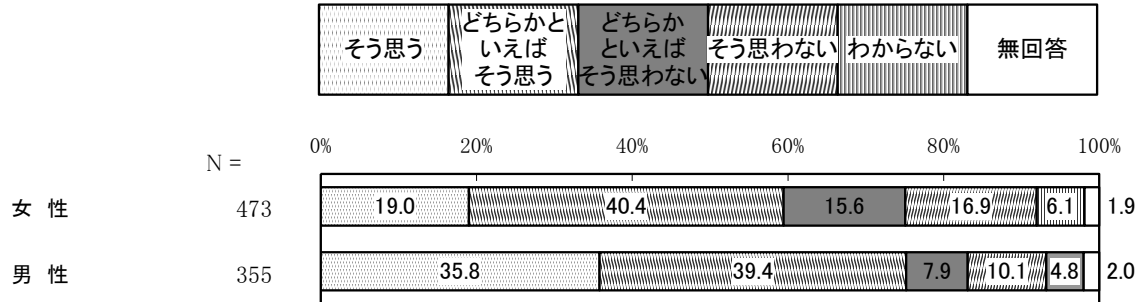
【性年代別】



（４）子どもの教育について

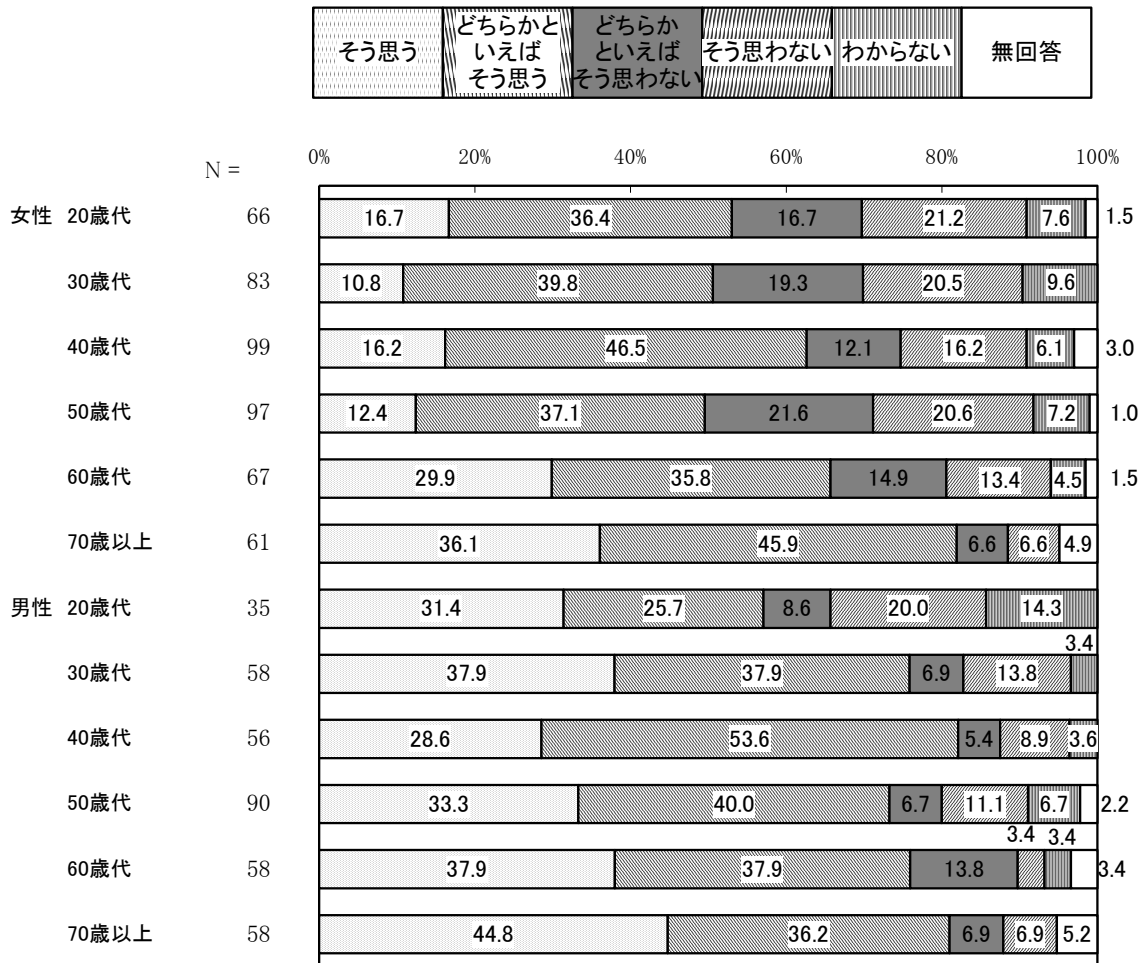
ここからは、全員におたずねします。

問9 あなたは自分の子どもを、「男の子は男らしく」、「女の子は女らしく」育てていますか（育てましたか）。お子さんがおられない方は、もし、子どもがいるとしたら、「男の子は男らしく」、「女の子は女らしく」育てたいと思いますか。（○は1つ）



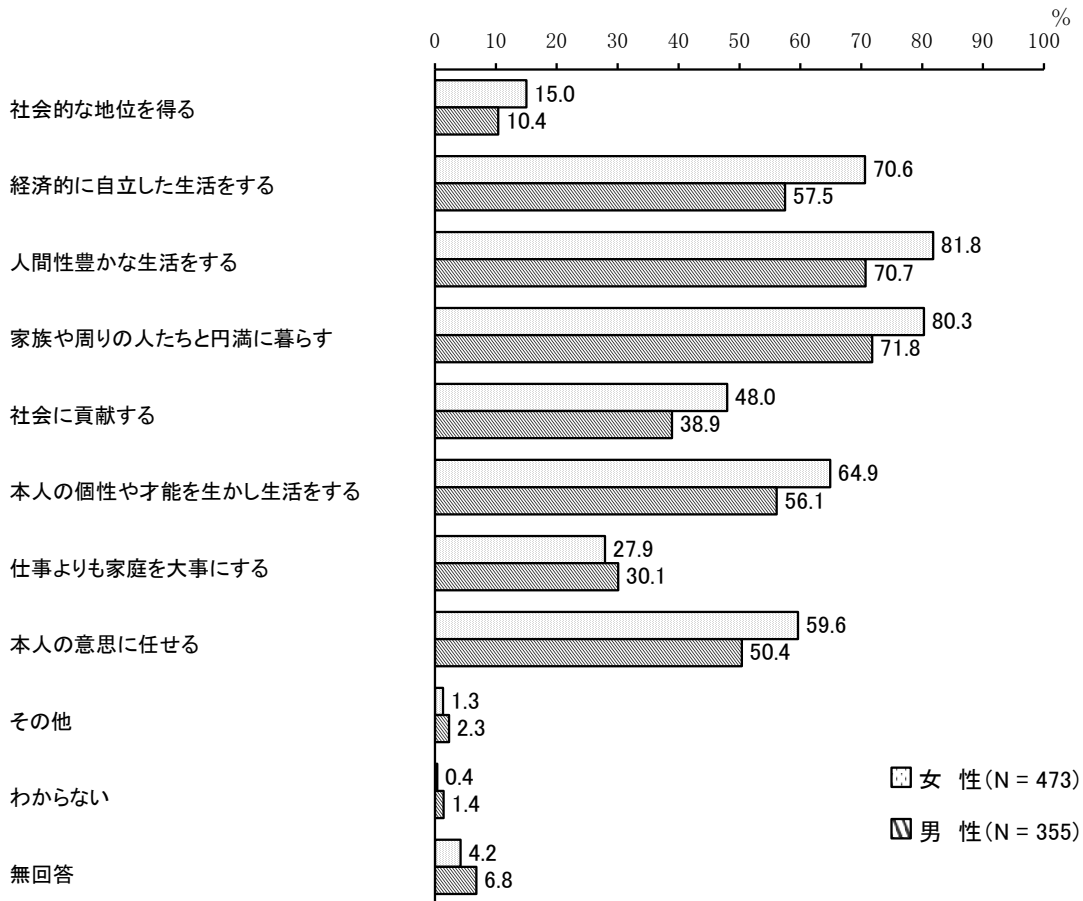
あなたは自分の子どもを、「男の子は男らしく」、「女の子は女らしく」育てていますか（育てましたか）、育てたいと思いますかについてみると、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が女性では59.4%、男性では75.2%となっています。

【性年代別】



問10 あなたに15歳の子どもがいるとしたら、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。女の子、男の子のいずれについてもお答えください。（〇はいくつでも）

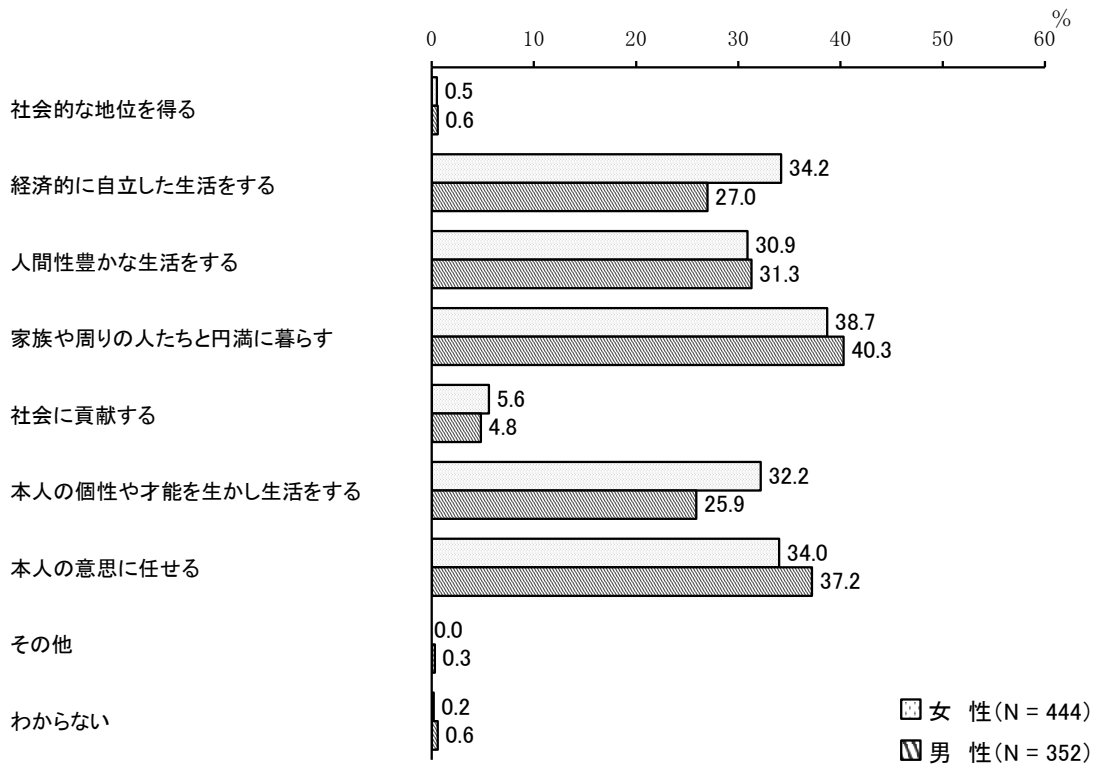
（1）女の子



15歳の子どもがいるとしたら将来してほしい生き方については、「女の子」の場合、女性は「人間性豊かな生活をする」81.8%がいちばん高く、男性は「家族や周りの人たちと円満に暮らす」71.8%がいちばん高くなっています。

【平成 22 年度調査（参考）】

平成 22 年度調査は平成 26 年度調査と選択肢が異なるため、参考にとどめます。



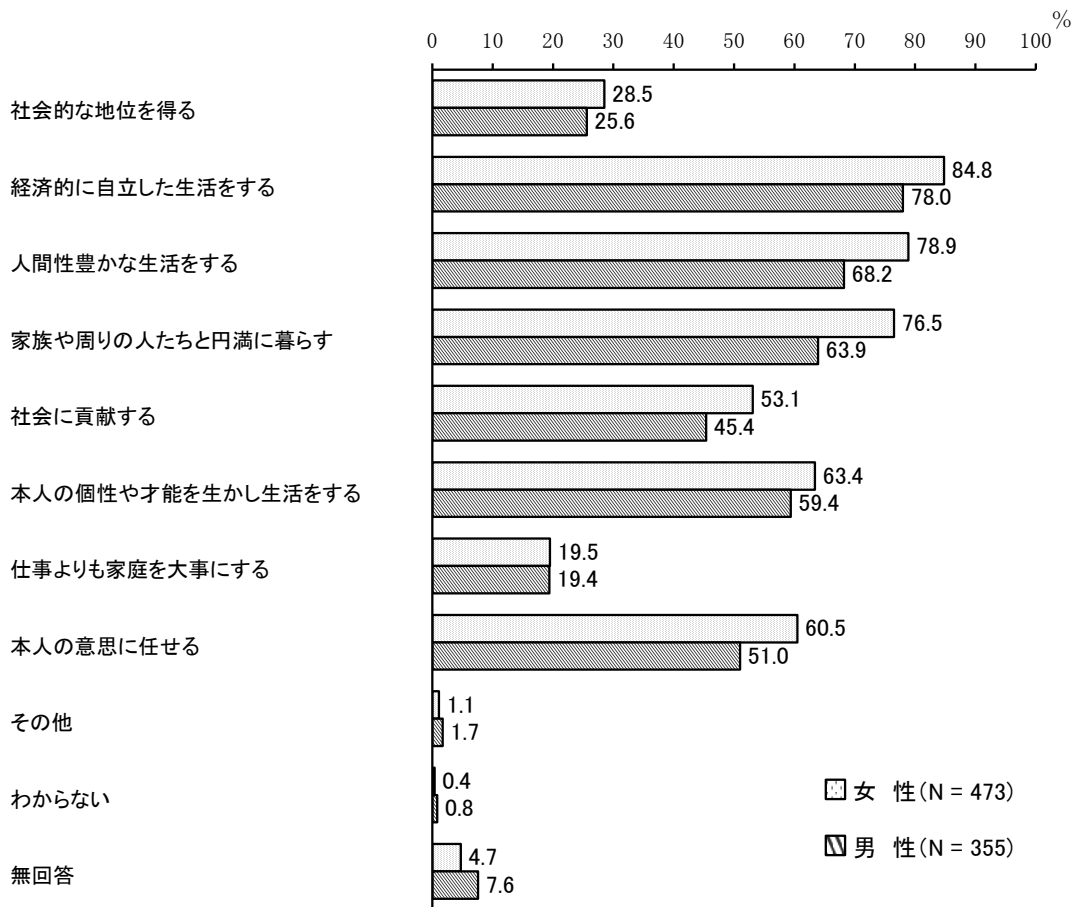
Ⅲ 調査結果（一般）

【性年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	本人の個性や才能を生かし生活をする	仕事よりも家庭を大事にする	本人の意思に任せる	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	66	22.7	71.2	86.4	84.8	54.5	71.2	43.9	63.6	1.5	—	1.5
30 歳代	83	14.5	79.5	84.3	84.3	50.6	71.1	38.6	61.4	—	1.2	2.4
40 歳代	99	15.2	70.7	84.8	82.8	49.5	64.6	21.2	61.6	2.0	1.0	4.0
50 歳代	97	19.6	76.3	83.5	82.5	50.5	66.0	25.8	57.7	2.1	—	3.1
60 歳代	67	9.0	73.1	83.6	76.1	44.8	62.7	22.4	68.7	—	—	1.5
70 歳以上	61	6.6	45.9	63.9	67.2	34.4	50.8	16.4	42.6	1.6	—	14.8
男性 20 歳代	35	5.7	51.4	74.3	62.9	28.6	57.1	37.1	65.7	2.9	2.9	2.9
30 歳代	58	13.8	67.2	74.1	79.3	37.9	63.8	41.4	62.1	5.2	—	—
40 歳代	56	14.3	62.5	73.2	82.1	33.9	50.0	30.4	58.9	—	1.8	3.6
50 歳代	90	10.0	58.9	74.4	73.3	37.8	61.1	24.4	46.7	2.2	—	4.4
60 歳代	58	10.3	51.7	65.5	60.3	43.1	51.7	20.7	43.1	—	3.4	10.3
70 歳以上	58	6.9	50.0	62.1	69.0	48.3	50.0	32.8	34.5	3.4	1.7	19.0

（２）男の子

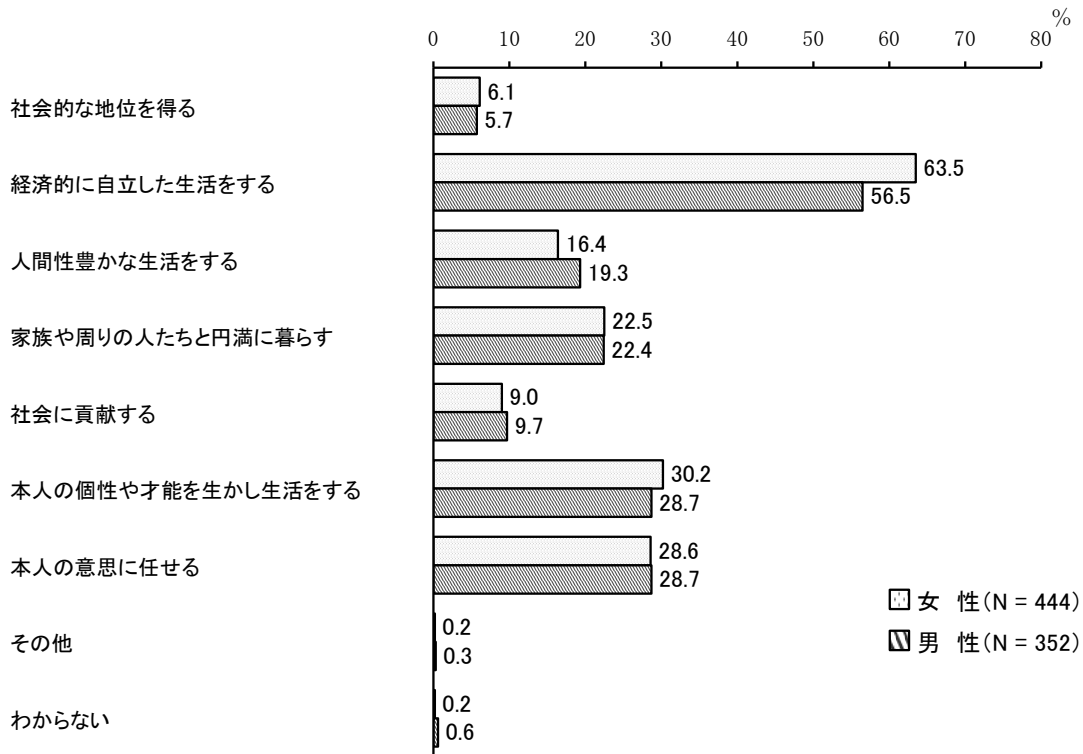


15歳の子どもがいるとしたら将来してほしい生き方については、「男の子」の場合、男女とも「経済的に自立した生活をする」が女性84.8%、男性78.0%といちばん高くなっています。

Ⅲ 調査結果（一般）

【平成 22 年度調査（参考）】

平成 22 年度調査は平成 26 年度調査と選択肢が異なるため、参考にとどめます。

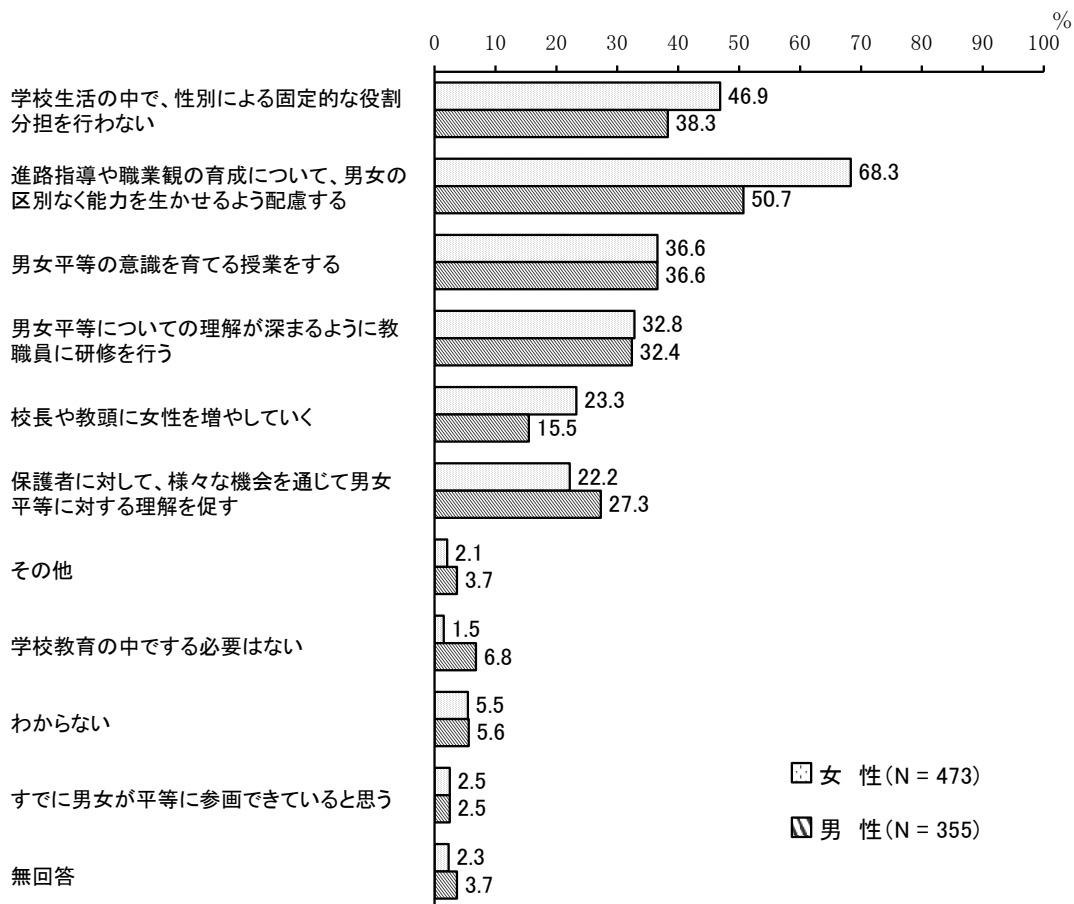


【性年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	本人の個性や才能を生かして生活をする	仕事よりも家庭を大事にする	本人の意思に任せる	その他	わからない	無回答
女性 20歳代	66	34.8	81.8	84.8	77.3	54.5	69.7	34.8	65.2	1.5	—	4.5
30歳代	83	30.1	90.4	83.1	85.5	54.2	73.5	31.3	63.9	—	1.2	1.2
40歳代	99	27.3	87.9	81.8	82.8	55.6	61.6	14.1	62.6	2.0	1.0	4.0
50歳代	97	34.0	85.6	80.4	78.4	55.7	62.9	15.5	57.7	1.0	—	5.2
60歳代	67	20.9	86.6	77.6	68.7	52.2	59.7	13.4	70.1	—	—	1.5
70歳以上	61	21.3	72.1	60.7	59.0	42.6	50.8	8.2	41.0	1.6	—	13.1
男性 20歳代	35	17.1	68.6	62.9	51.4	31.4	54.3	25.7	60.0	2.9	2.9	5.7
30歳代	58	25.9	79.3	69.0	67.2	41.4	67.2	32.8	58.6	3.4	—	1.7
40歳代	56	25.0	83.9	71.4	73.2	42.9	57.1	23.2	58.9	—	—	5.4
50歳代	90	26.7	82.2	71.1	64.4	41.1	63.3	13.3	50.0	1.1	—	6.7
60歳代	58	22.4	72.4	65.5	58.6	50.0	53.4	12.1	41.4	—	3.4	10.3
70歳以上	58	32.8	75.9	65.5	63.8	62.1	56.9	15.5	41.4	3.4	—	15.5

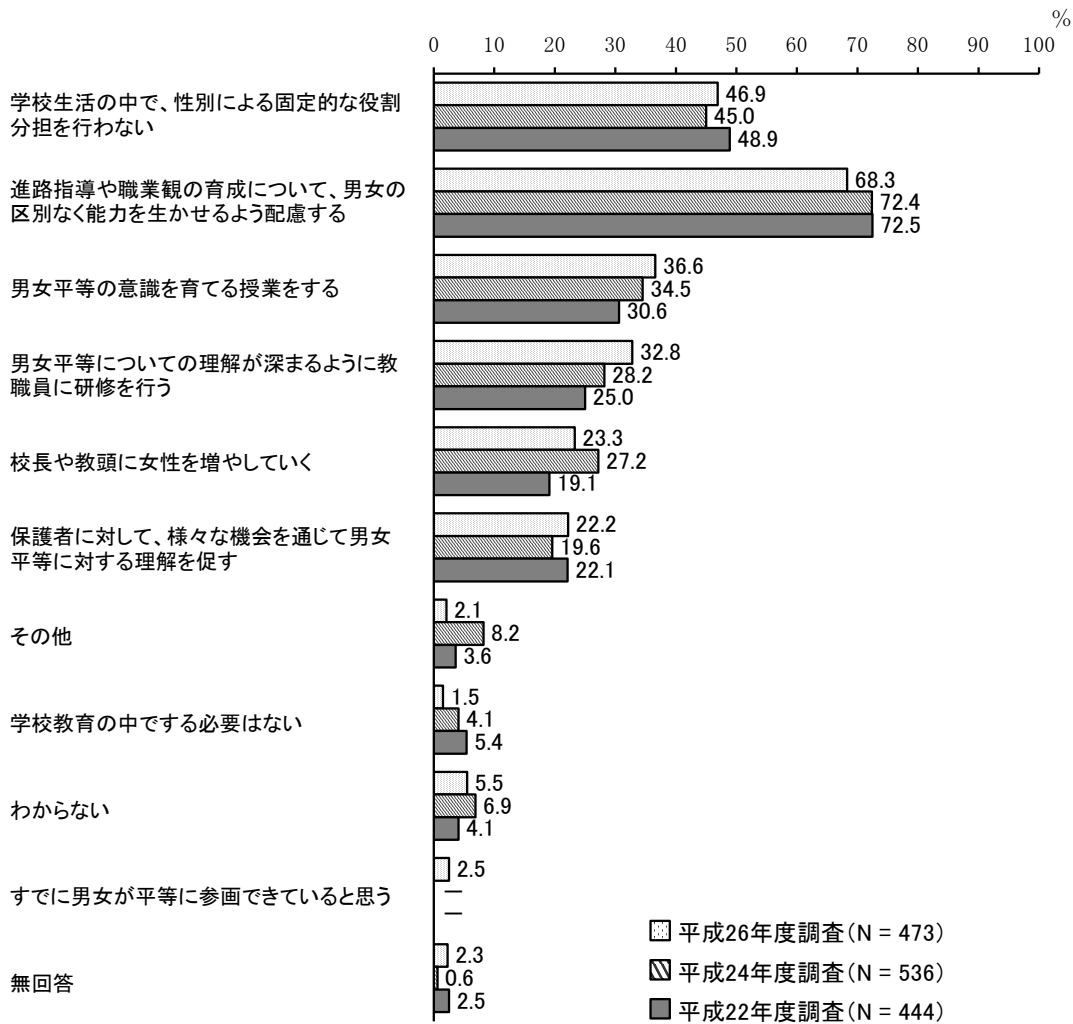
問 11 男女共同参画を推進していくために、学校で行うとよいと思うものはどれですか。
（〇はいくつでも）



男女共同参画を推進していくために、学校で行うとよいと思うものについては、男女とも「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」、「学校生活の中で、性別による固定的な役割分担を行わない」が高い割合となっています。

【過去の調査との比較】

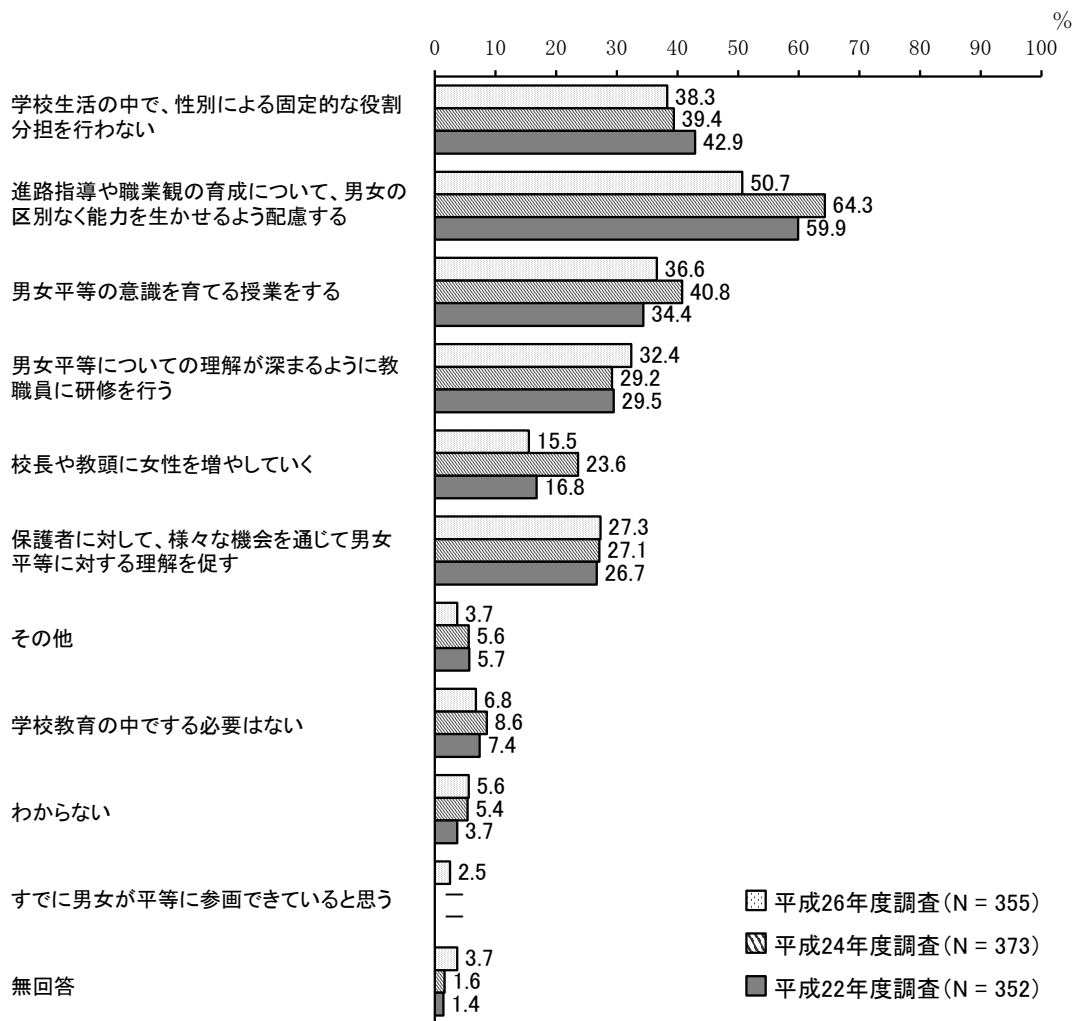
〈女 性〉



※ 平成 24 年度調査、平成 22 年度調査では「すでに男女が平等に参画できていると思う」の選択肢はありません。

Ⅲ 調査結果（一般）

〈男 性〉



※ 平成 24 年度調査、平成 22 年度調査では「すでに男女が平等に参画できていると思う」の選択肢はありません。

【性年代別】

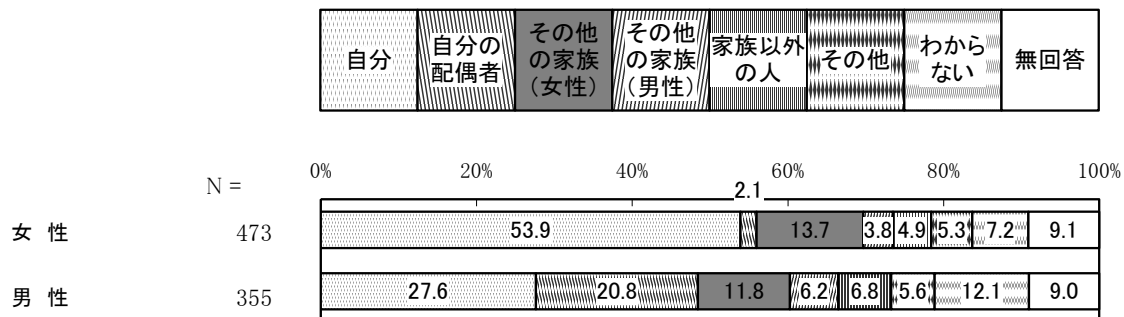
単位：％

区分	有効回答数（件）	学校生活の中で、性別による固定的な役割分担を行わない	進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	男女平等の意識を育てる授業をする	男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う	校長や教頭に女性を増やしていく
女性 20歳代	66	50.0	66.7	42.4	42.4	37.9
30歳代	83	53.0	60.2	37.3	28.9	30.1
40歳代	99	44.4	63.6	31.3	25.3	20.2
50歳代	97	53.6	72.2	27.8	32.0	16.5
60歳代	67	49.3	77.6	47.8	44.8	20.9
70歳以上	61	26.2	72.1	39.3	27.9	16.4
男性 20歳代	35	42.9	48.6	31.4	17.1	17.1
30歳代	58	34.5	41.4	29.3	32.8	13.8
40歳代	56	37.5	46.4	32.1	28.6	8.9
50歳代	90	36.7	47.8	38.9	31.1	18.9
60歳代	58	36.2	62.1	34.5	32.8	13.8
70歳以上	58	44.8	58.6	50.0	46.6	19.0

区分	保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す	その他	学校教育の中では必要はない	わからない	すでに男女が平等に参加できていると思う	無回答
女性 20歳代	22.7	3.0	—	6.1	3.0	1.5
30歳代	22.9	1.2	2.4	4.8	2.4	3.6
40歳代	12.1	1.0	3.0	11.1	2.0	1.0
50歳代	23.7	3.1	1.0	4.1	4.1	2.1
60歳代	34.3	—	—	3.0	—	1.5
70歳以上	21.3	4.9	1.6	1.6	3.3	4.9
男性 20歳代	25.7	—	5.7	5.7	5.7	2.9
30歳代	15.5	5.2	13.8	13.8	1.7	1.7
40歳代	17.9	—	8.9	5.4	—	—
50歳代	27.8	6.7	7.8	5.6	2.2	2.2
60歳代	37.9	1.7	1.7	1.7	3.4	3.4
70歳以上	37.9	5.2	1.7	1.7	3.4	12.1

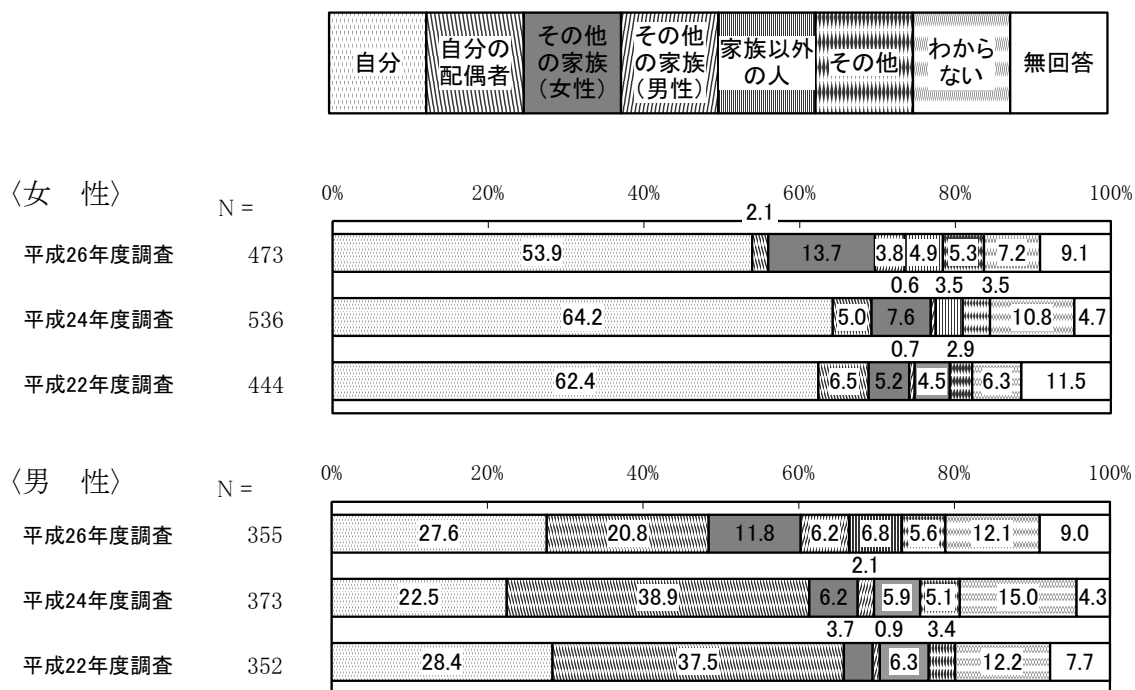
（５）高齢期の生活について

問 12 あなたは、自分の親が介護を必要とする状態になった場合、主にだれが介護をすることになると思いますか。その状態にある（あった）方は、主にだれが介護をしている（していた）かお答えください。（○は1つ）



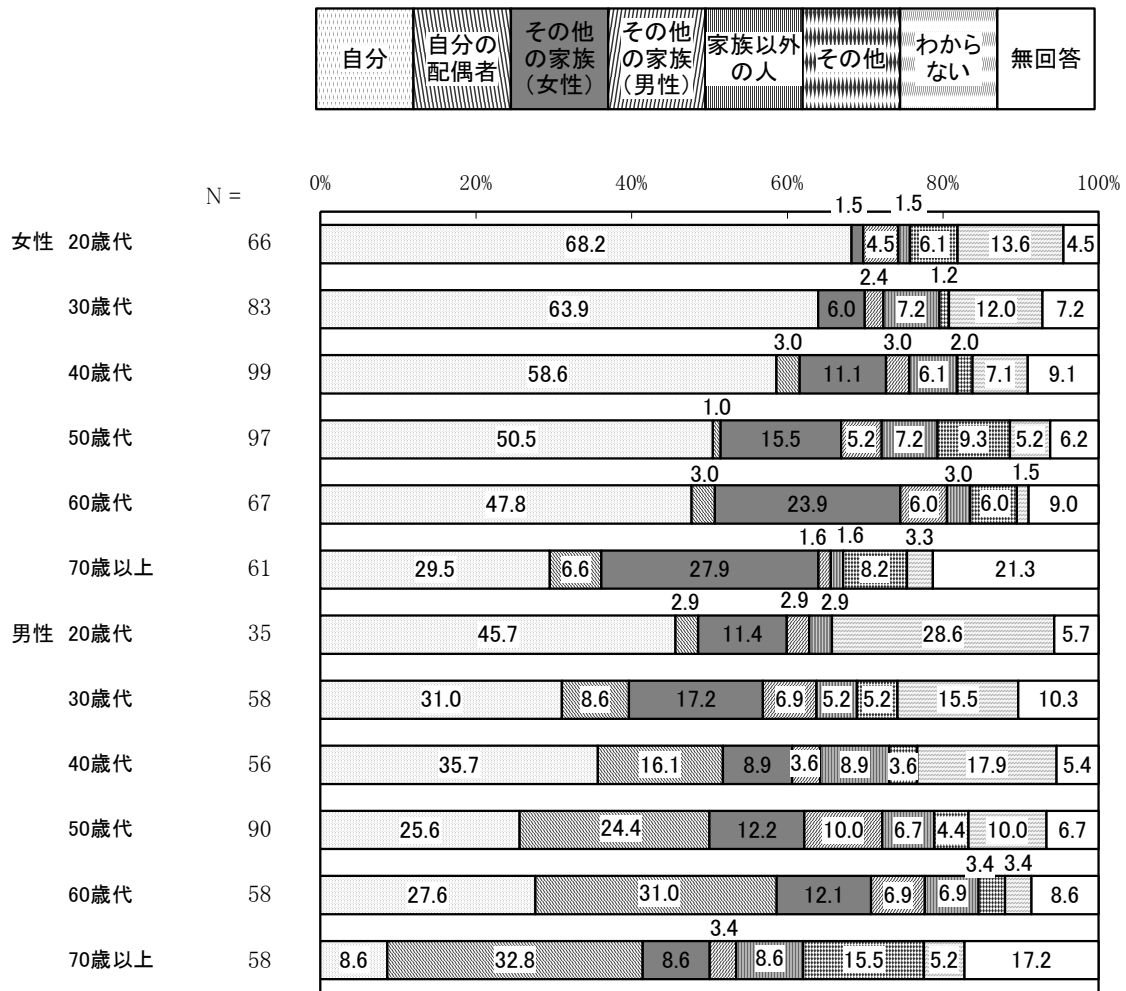
自分の親の介護についてみると、「自分」が女性 53.9%、男性 27.6%と男女ともいちばん高くなっています。「自分の配偶者」は女性 2.1%、男性 20.8%となっています。

【過去の調査との比較】



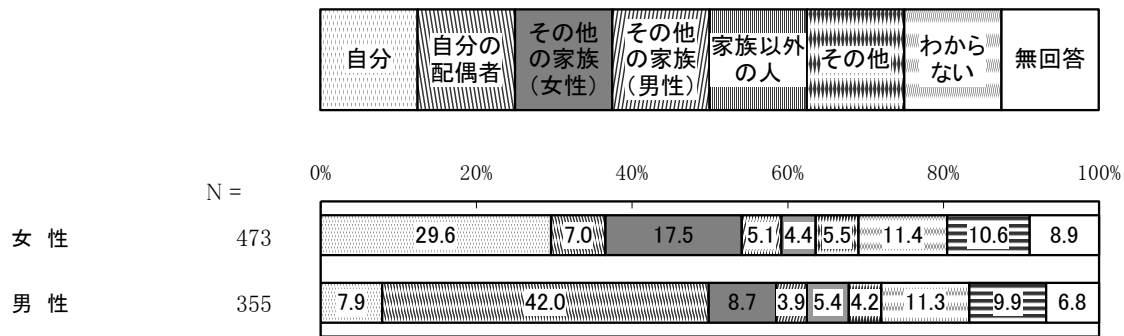
平成 24 年度調査と、平成 22 年度調査と比較すると、男女ともに「その他の家族（女性）」の割合が年々増加しています。また、女性で「自分」の割合が、男性で「自分の配偶者」の割合が減少しています。

【性年代別】



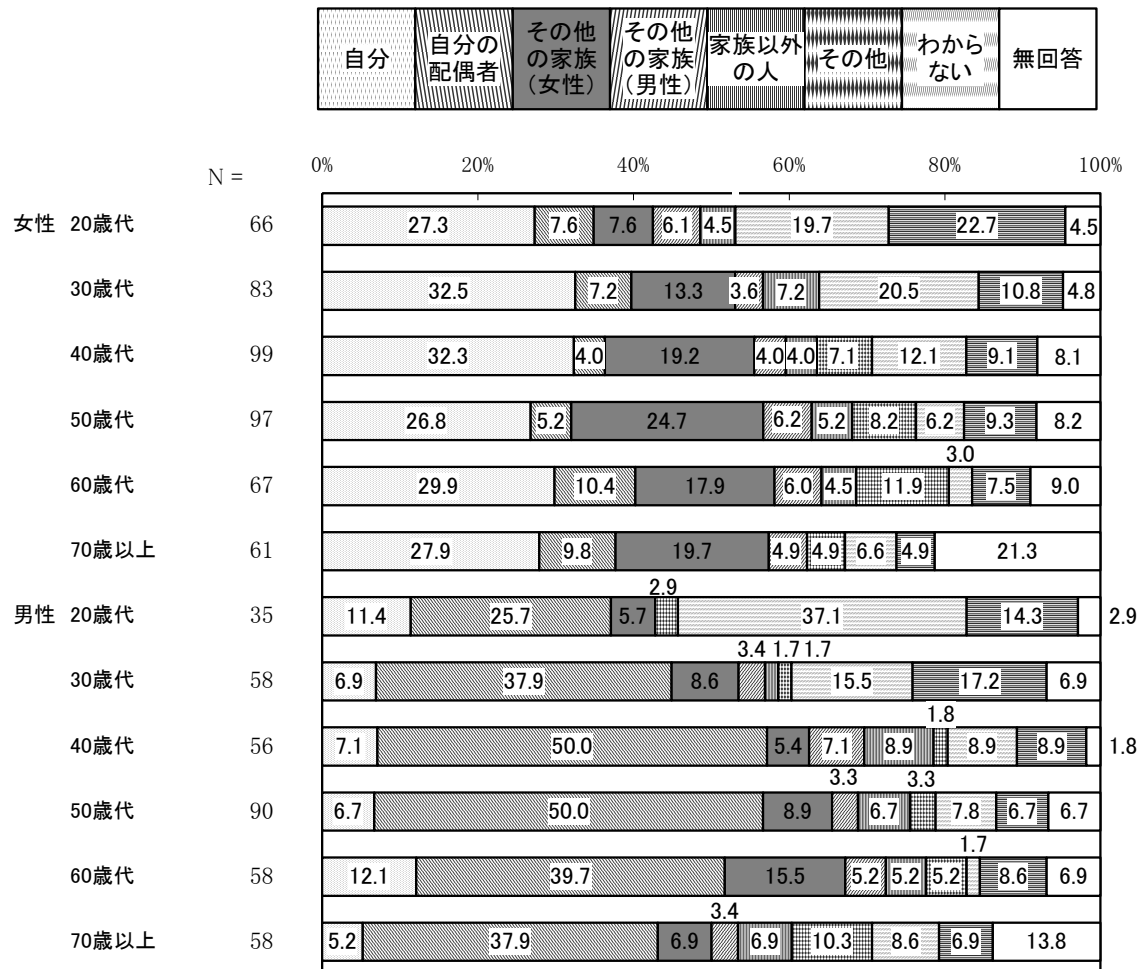
Ⅲ 調査結果（一般）

問 13 あなたは、配偶者の親が介護を必要とする状態になった場合、主にだれが介護をすることになるとお考えですか。その状態にある（あった）方は、主にだれが介護をしている（していた）かお答えください。（○は1つ）

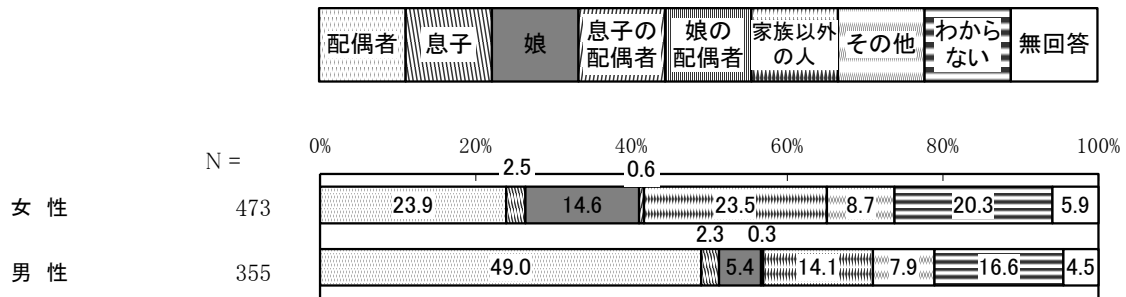


配偶者の親の介護についてみると、女性は「自分」29.6%がいちばん高く、男性は「自分の配偶者」42.0%がいちばん高くなっています。

【性年代別】

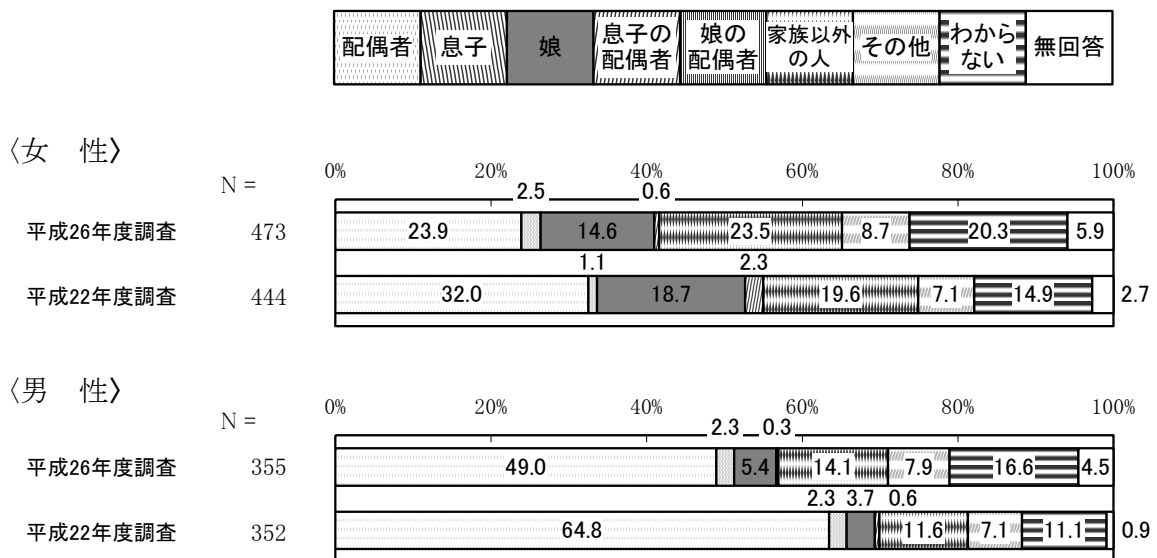


問 14 もしも、あなた自身が介護を必要とする状態になった場合、主にだれに世話をしてもらいたいと思いますか。（○は1つ）



介護してもらいたい相手についてみると、女性は「配偶者」23.9%、「家族以外の人」23.5%、男性は「配偶者」49.0%、「わからない」16.6%という順になっています。

【過去の調査との比較】

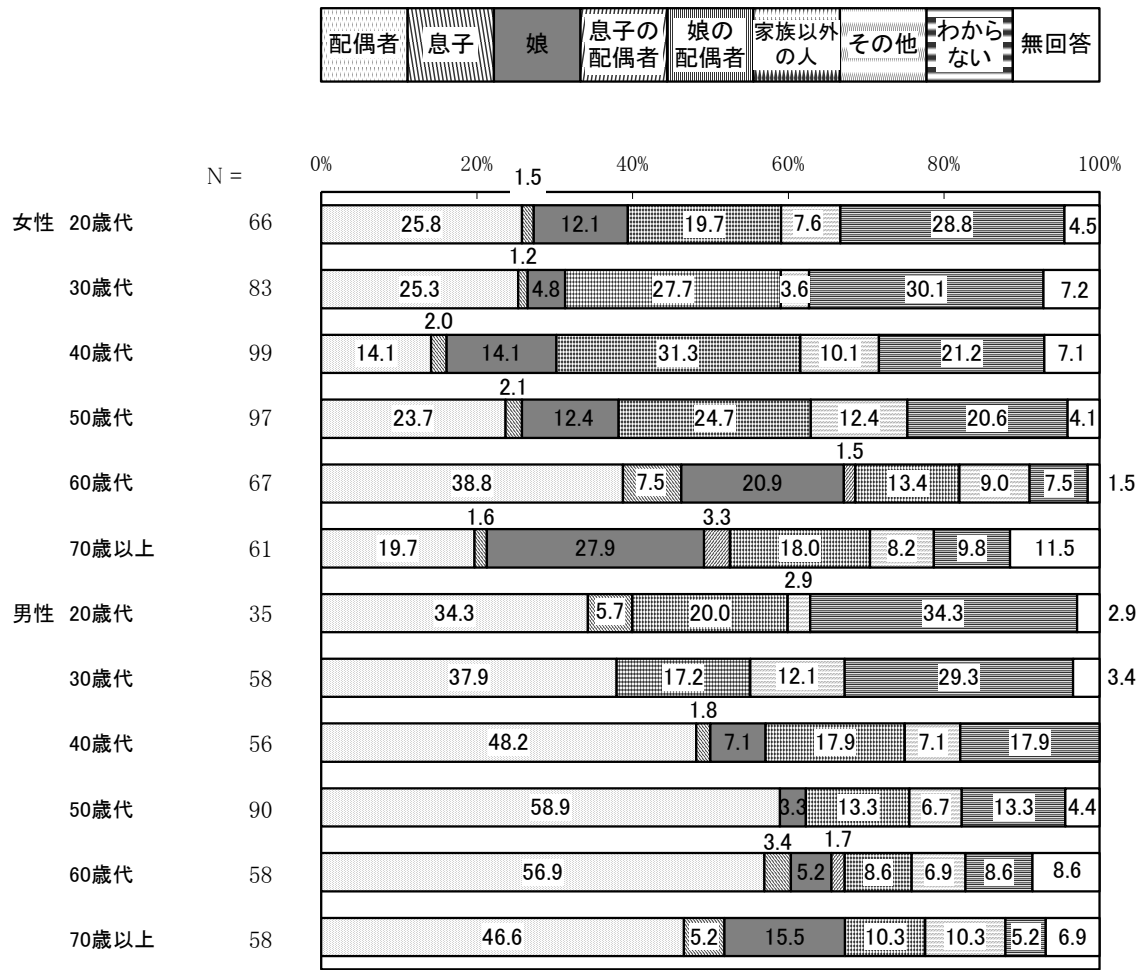


※平成 22 年調査には「その他の家族（女性）」「その他の家族（男性）」の選択肢がありましたが、比較のため、平成 26 年度調査の「その他」に算入しています。

平成 22 年度調査と比較すると、男女ともに「配偶者」の割合が減少し、「家族以外の人」が増加しています。

Ⅲ 調査結果（一般）

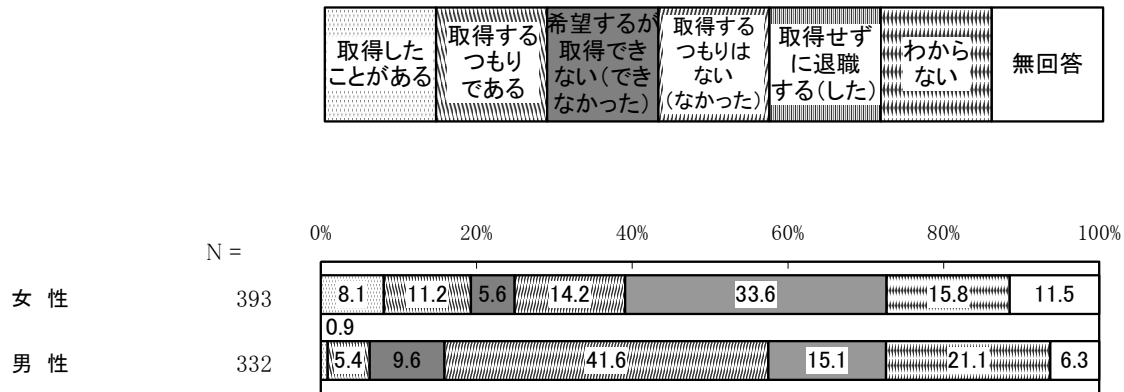
【性年代別】



（6）職業生活について

仕事に従事している方、従事していた方におたずねします。（問 15・問 16）

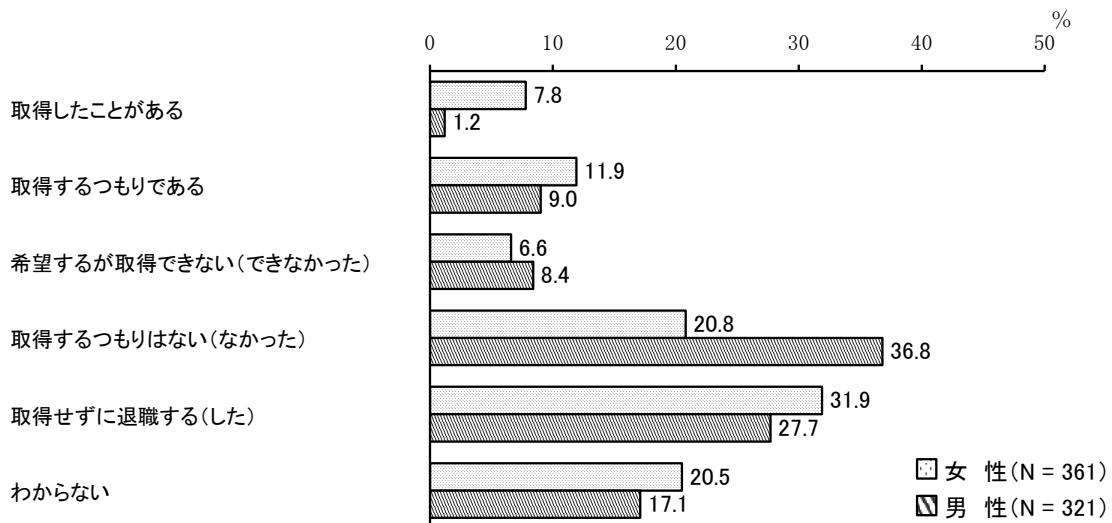
問 15 育児休業の取得について、お聞かせください。（○は1つ）



育児休業についてみると、女性は「取得せずに退職する（した）」33.6%がいちばん高く、男性は「取得するつもりはない（なかった）」41.6%がいちばん高くなっています。「取得したことがある」のは、女性8.1%、男性0.9%となっています。

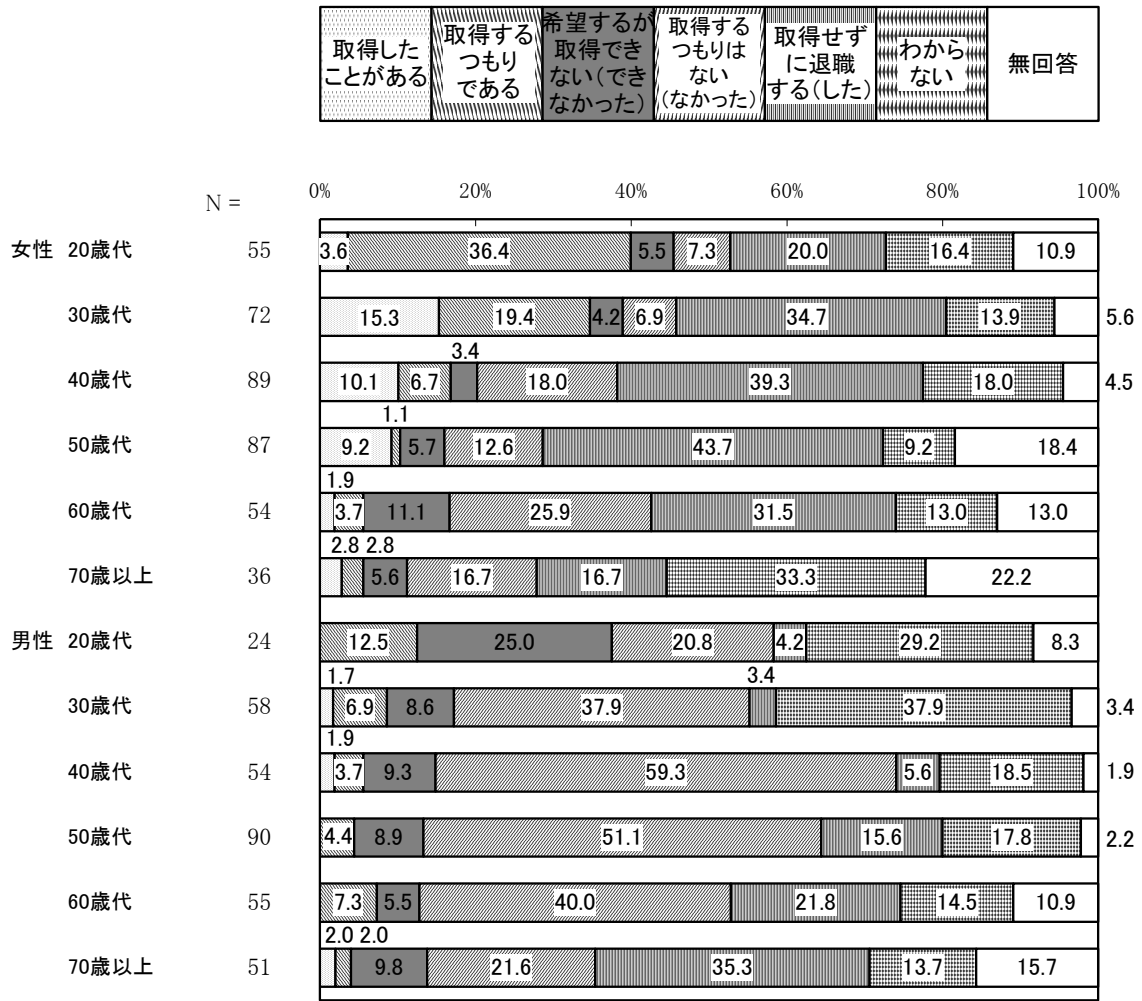
【平成 22 年度調査（参考）】

平成 22 年度調査は平成 26 年度調査と選択肢が異なるため、参考にとどめます。



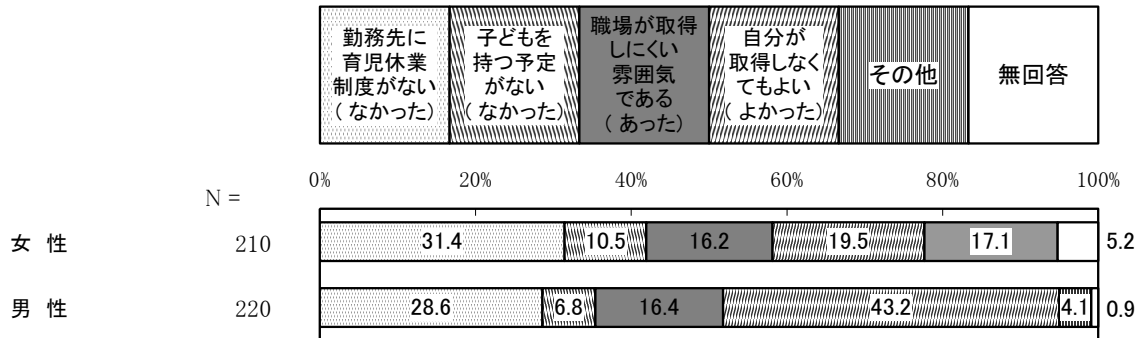
Ⅲ 調査結果（一般）

【性年代別】



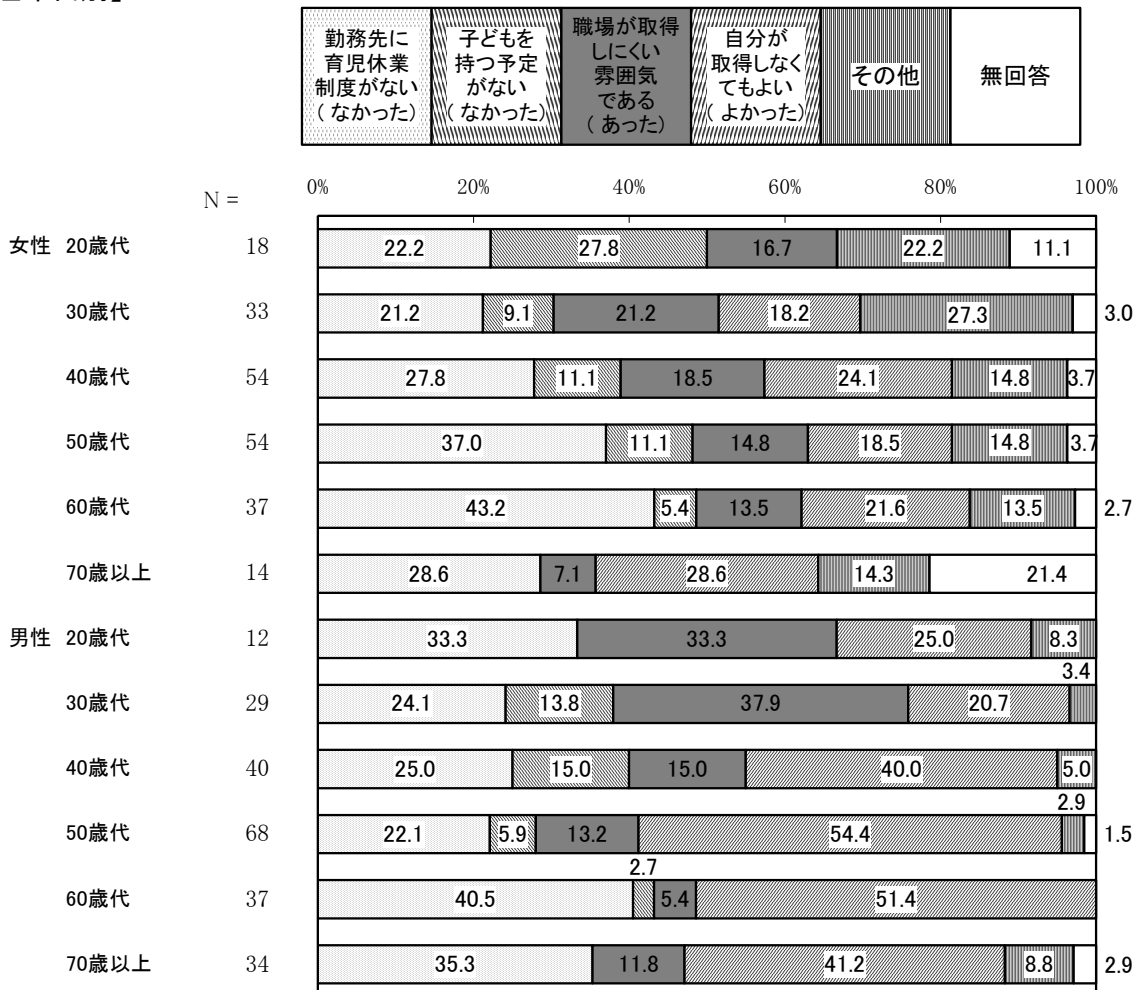
問 15 で「希望するが取得できない（できなかった）」「取得するつもりはない（なかった）」「取得せずに退職する（した）」と答えた方におたずねします

問 15-1 それは何故ですか。（○は1つ）



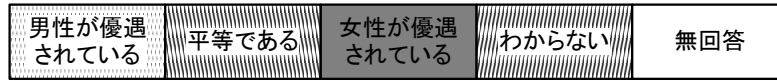
育児休業の取得状況の理由についてみると、女性は「勤務先に育児休業制度がない（なかった）」31.4%がいちばん高く、男性は「自分が取得しなくてもよい（よかった）」43.2%がいちばん高くなっています。

【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

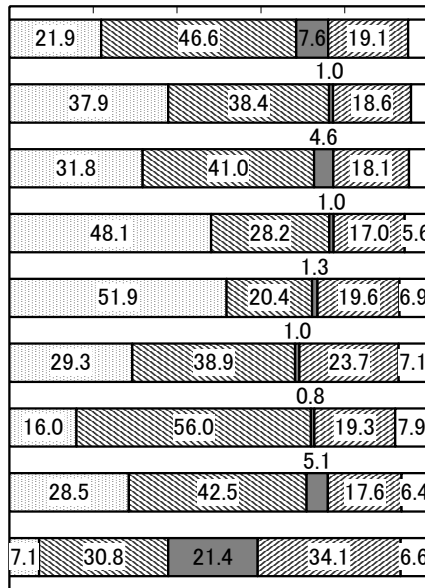
問 16 あなたの今の職場、あるいは、元職場では、次の（１）～（９）について、性別によって差がある（あった）と思いますか。（○は各項目に１つ）



<女性>

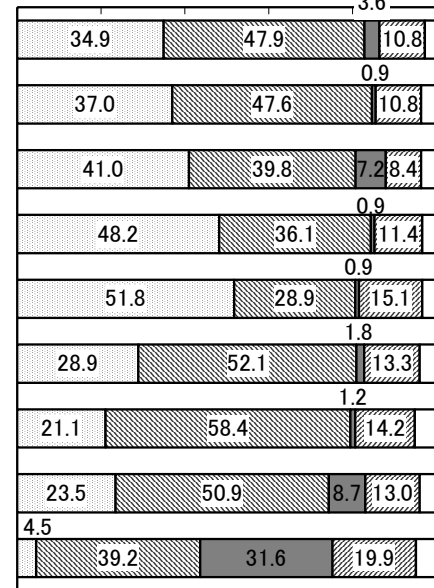
<男性>

0% 20% 40% 60% 80% 100%



- (1) 募集・採用
- (2) 賃金
- (3) 業務（内容・責任）
- (4) 昇進・昇格
- (5) 管理職への登用
- (6) 能力評価
- (7) 研修（機会・内容）
- (8) 働き続けやすさ
- (9) 休暇の取得しやすさ（育児・介護休暇など）

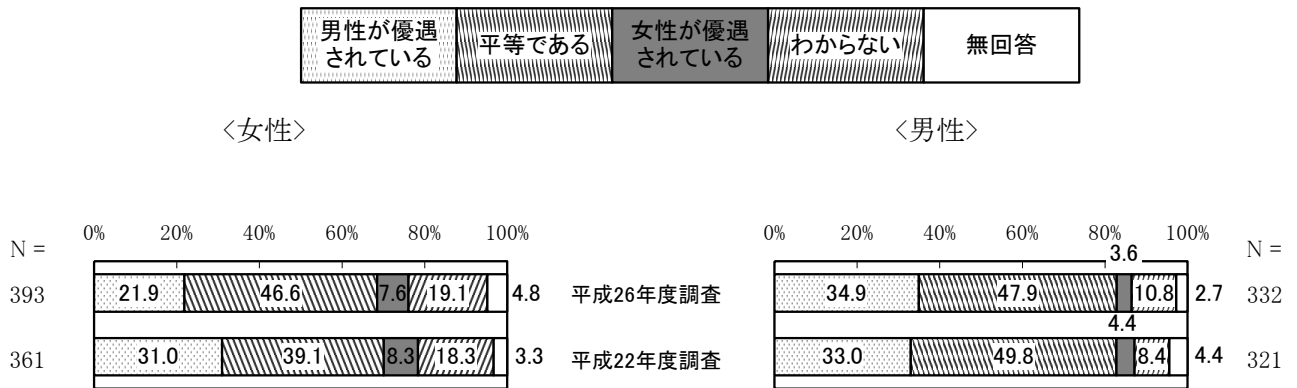
0% 20% 40% 60% 80% 100%



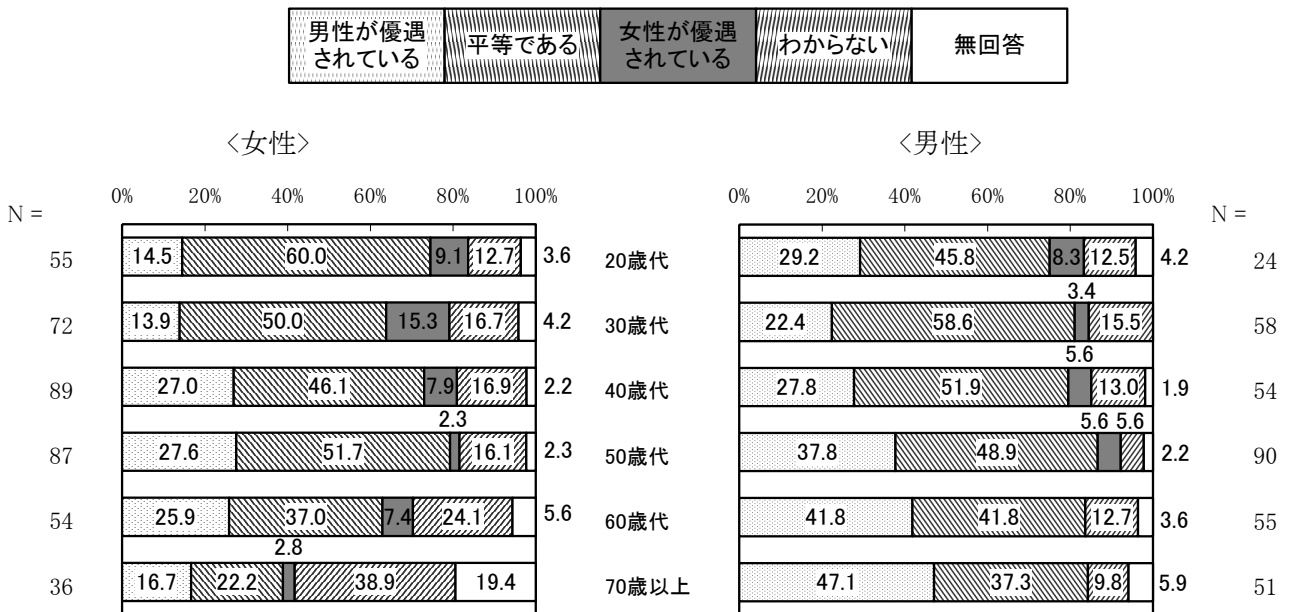
現在あるいは元の職場における性別による差についてみると、男女とも、男性が優遇されていると思う割合が高い項目は「管理職への登用」「昇進・昇格」、女性が優遇されていると思う割合が高い項目は「休暇の取得しやすさ（育児・介護休暇など）」となっています。

（１）募集・採用

【過去の調査との比較】



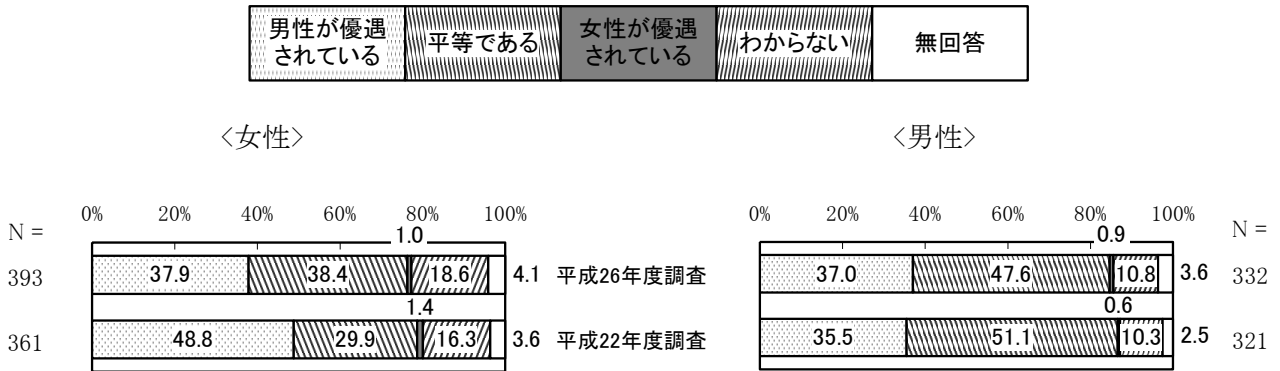
【性年代別】



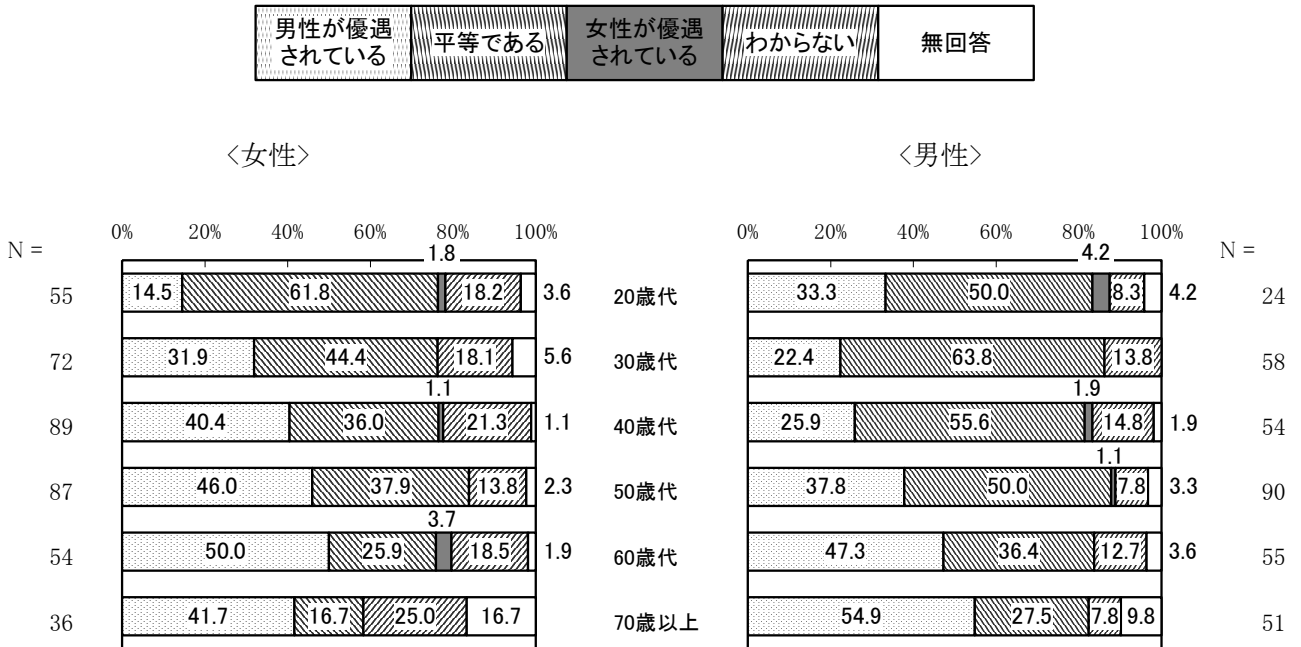
Ⅲ 調査結果（一般）

（２）賃金

【過去の調査との比較】

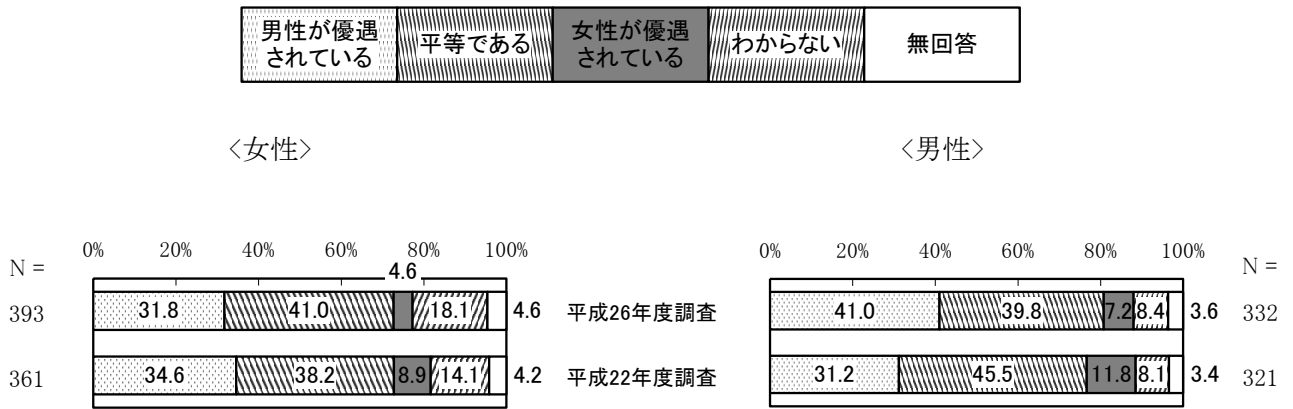


【性年代別】

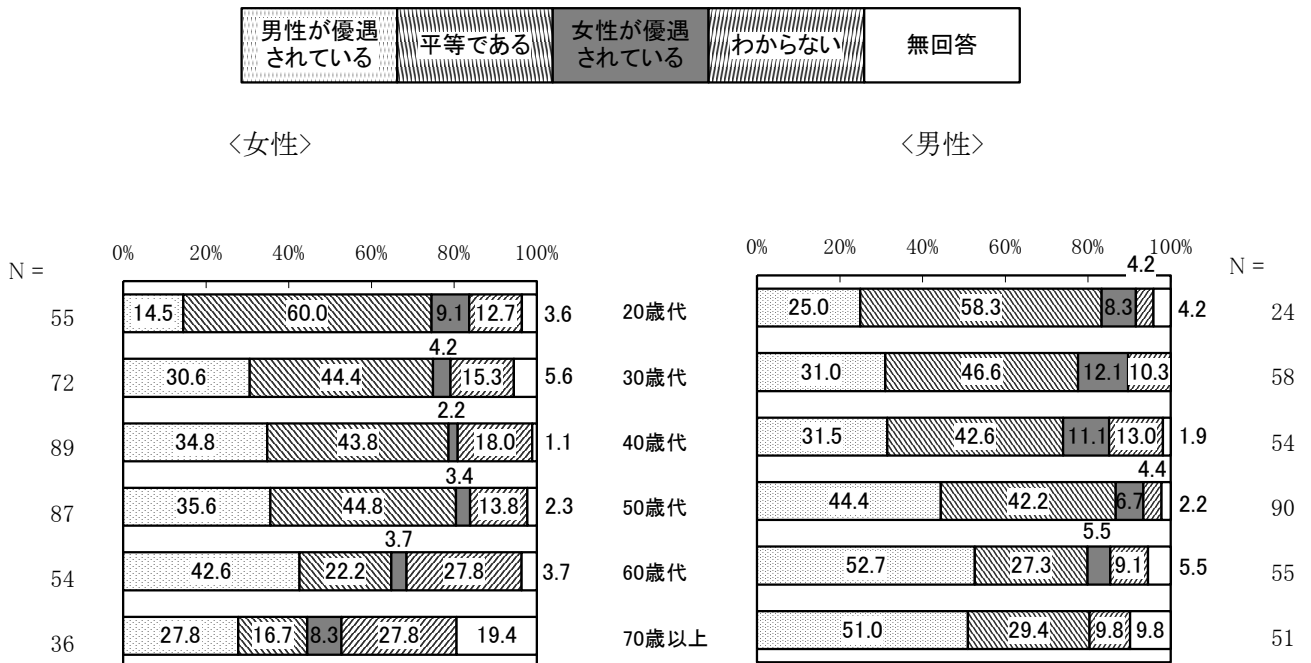


（3）業務（内容・責任）

【過去の調査との比較】



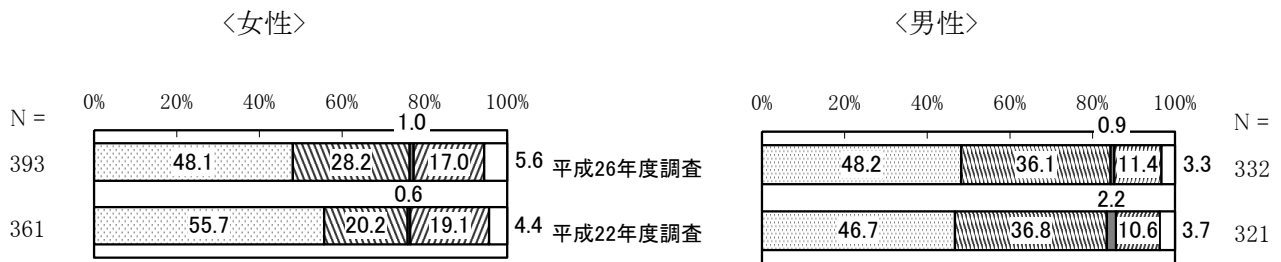
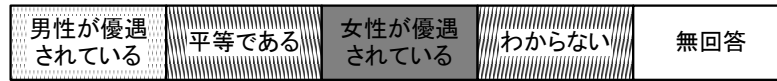
【性年代別】



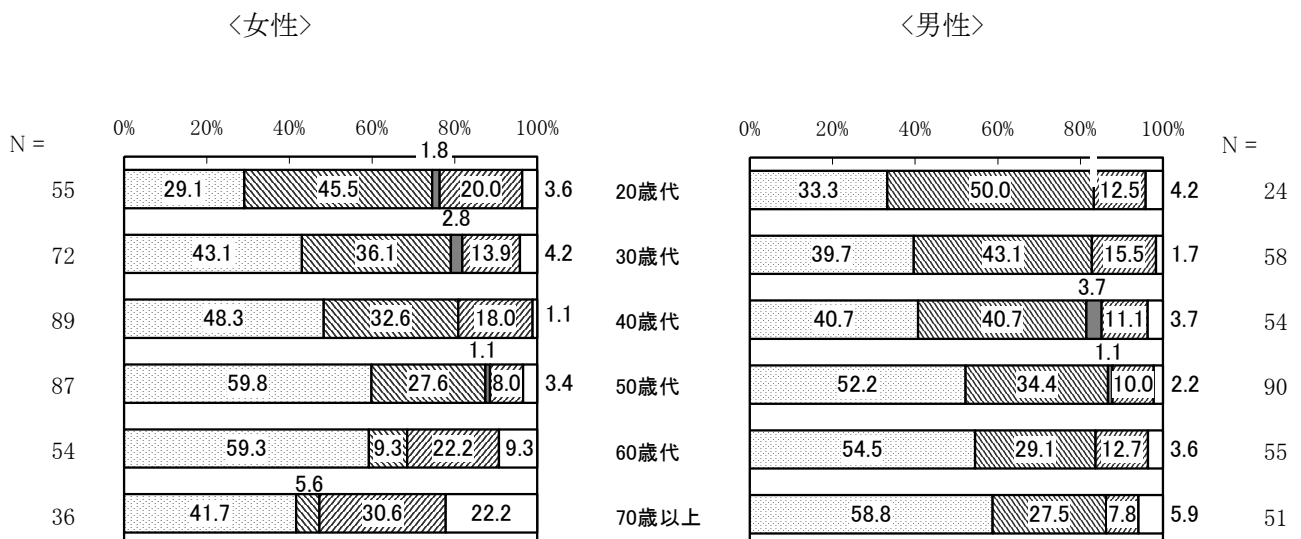
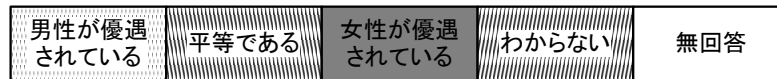
Ⅲ 調査結果（一般）

（４）昇進・昇格

【過去の調査との比較】

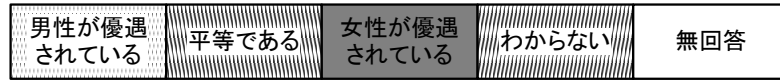


【性年代別】



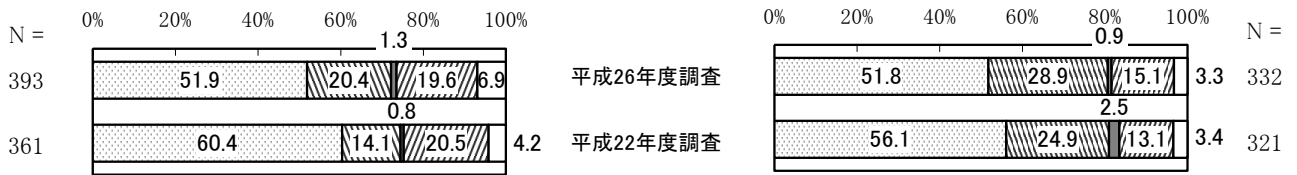
（５）管理職への登用

【過去の調査との比較】

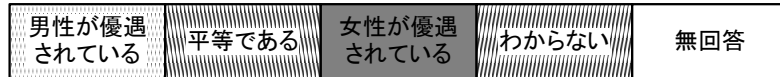


<女性>

<男性>

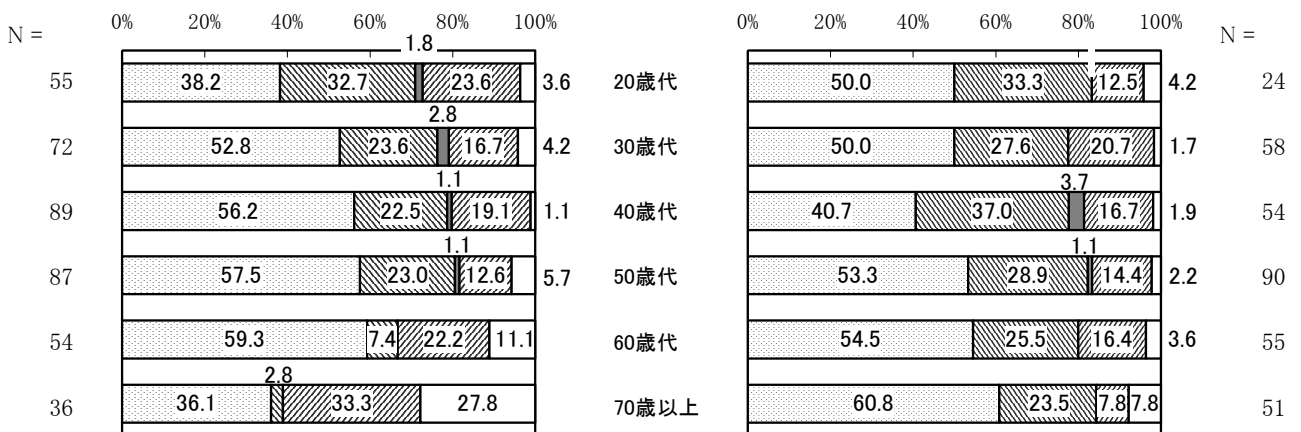


【性年代別】



<女性>

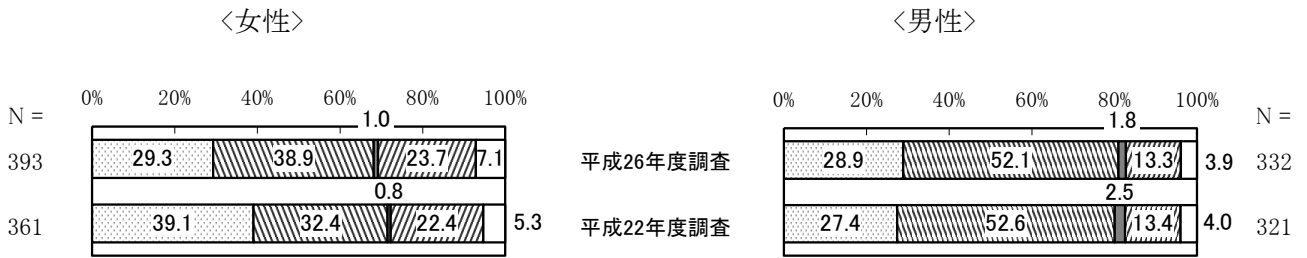
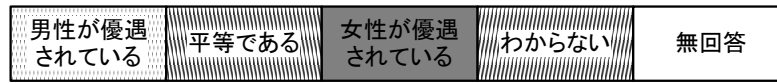
<男性>



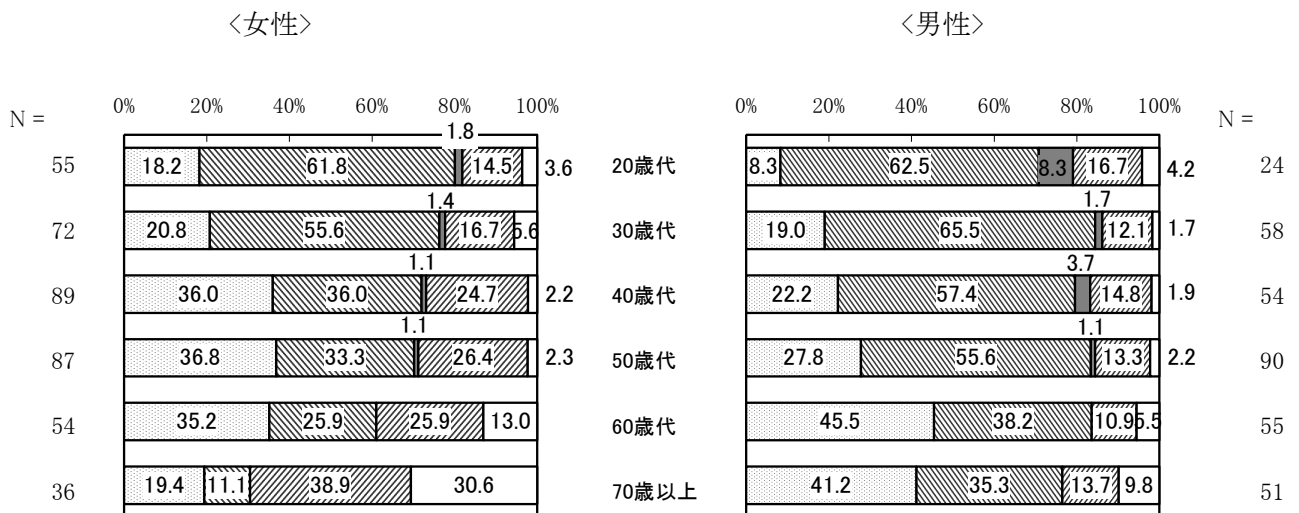
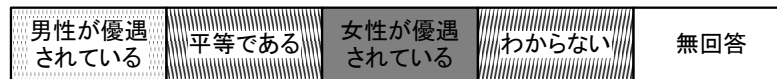
Ⅲ 調査結果（一般）

（6）能力評価

【過去の調査との比較】

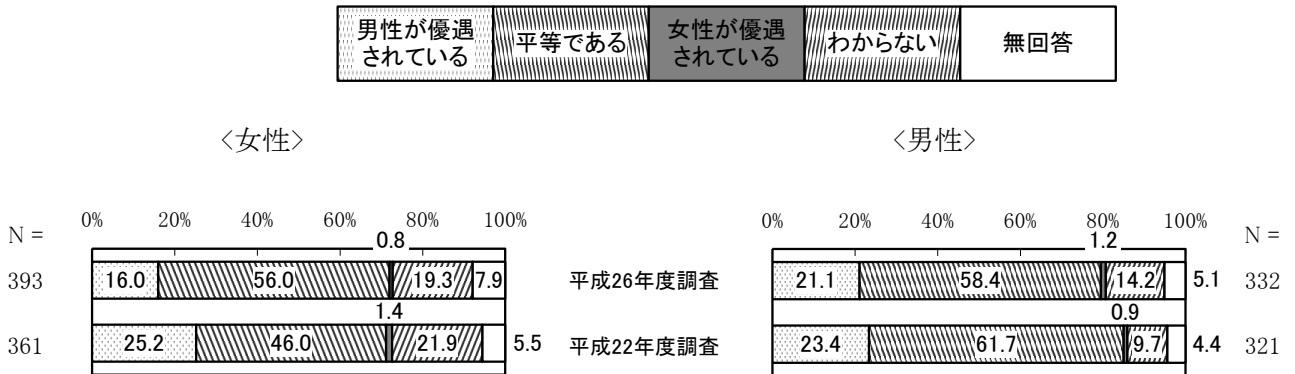


【性年代別】

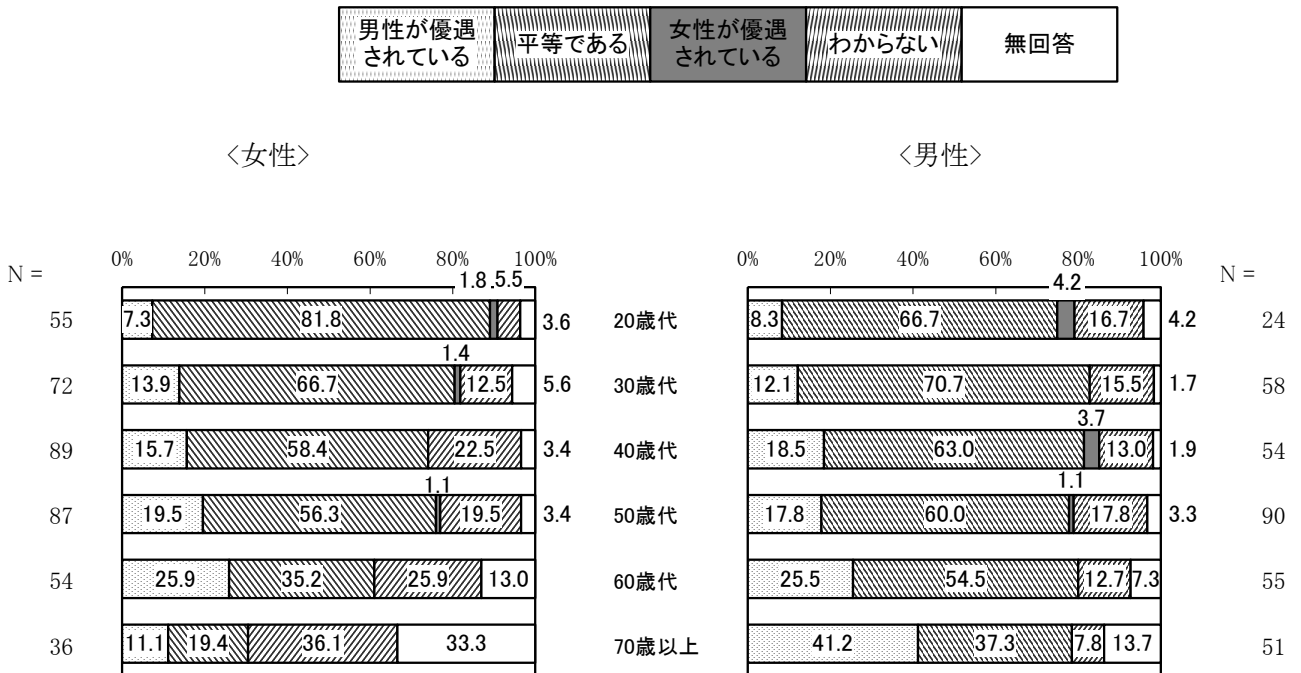


（7）研修（機会・内容）

【過去の調査との比較】



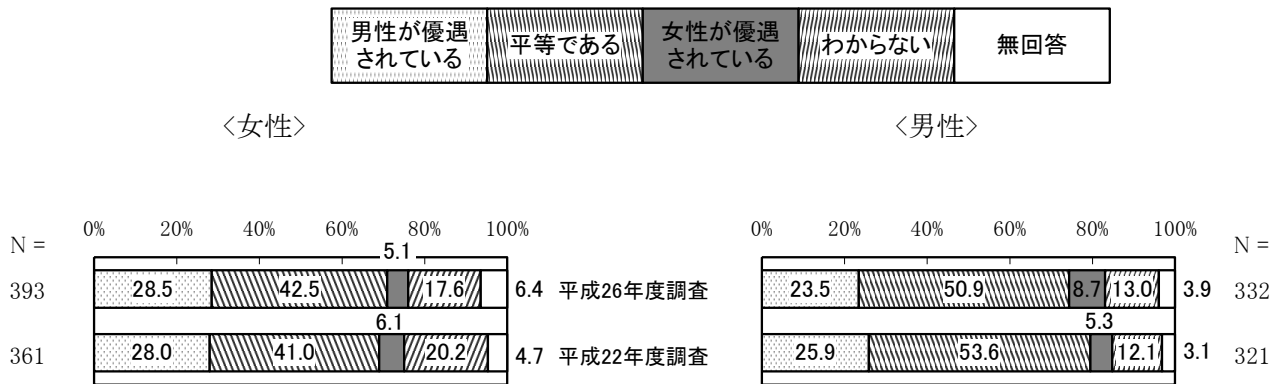
【性年代別】



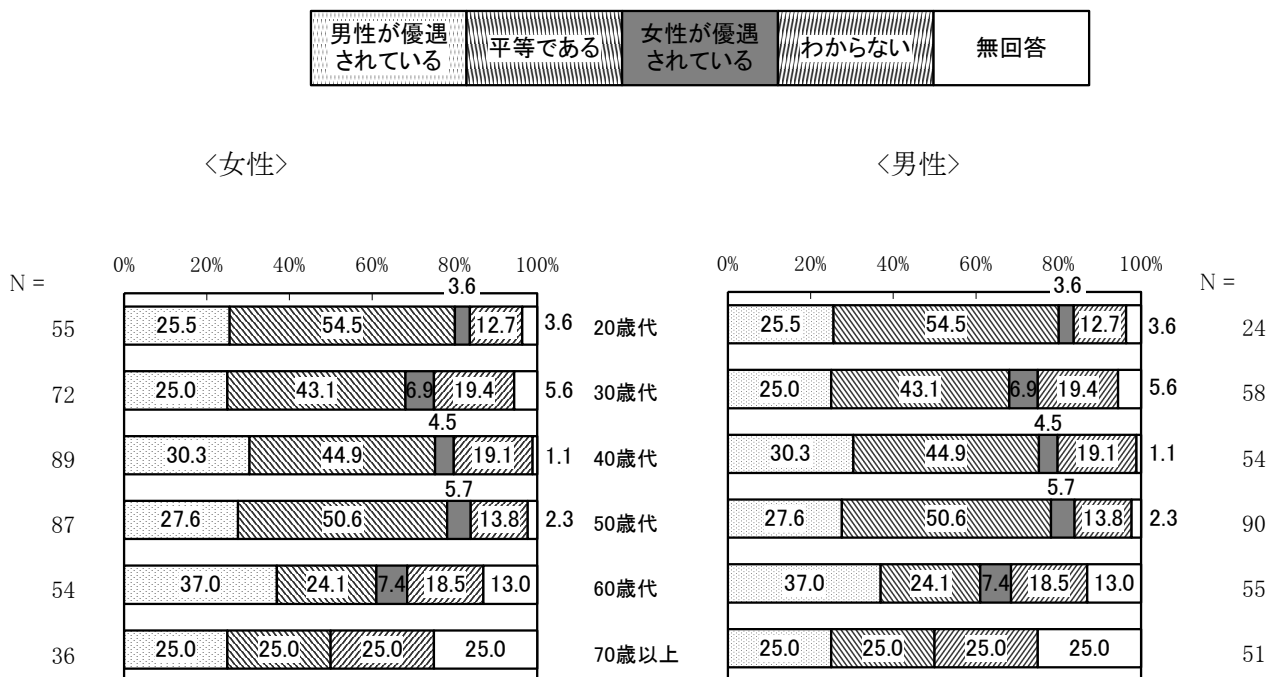
Ⅲ 調査結果（一般）

（8）働き続けやすさ

【過去の調査との比較】

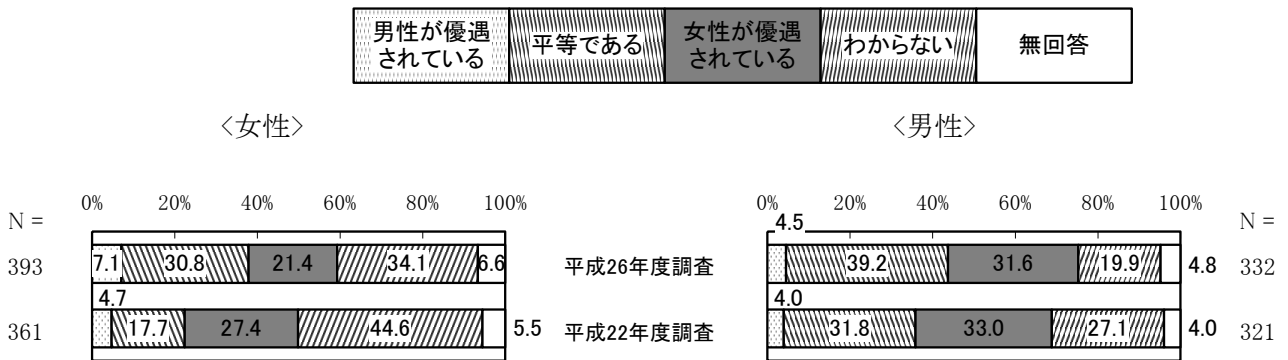


【性年代別】

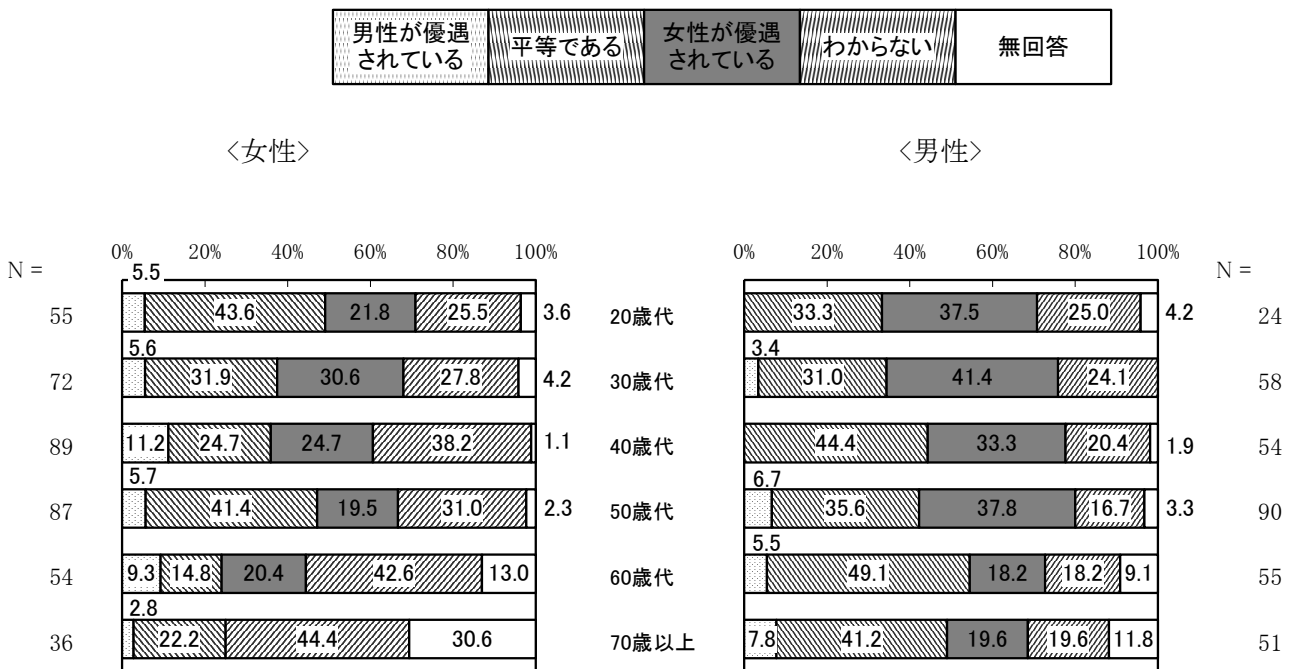


（9）休暇の取得しやすさ（育児・介護休暇など）

【過去の調査との比較】



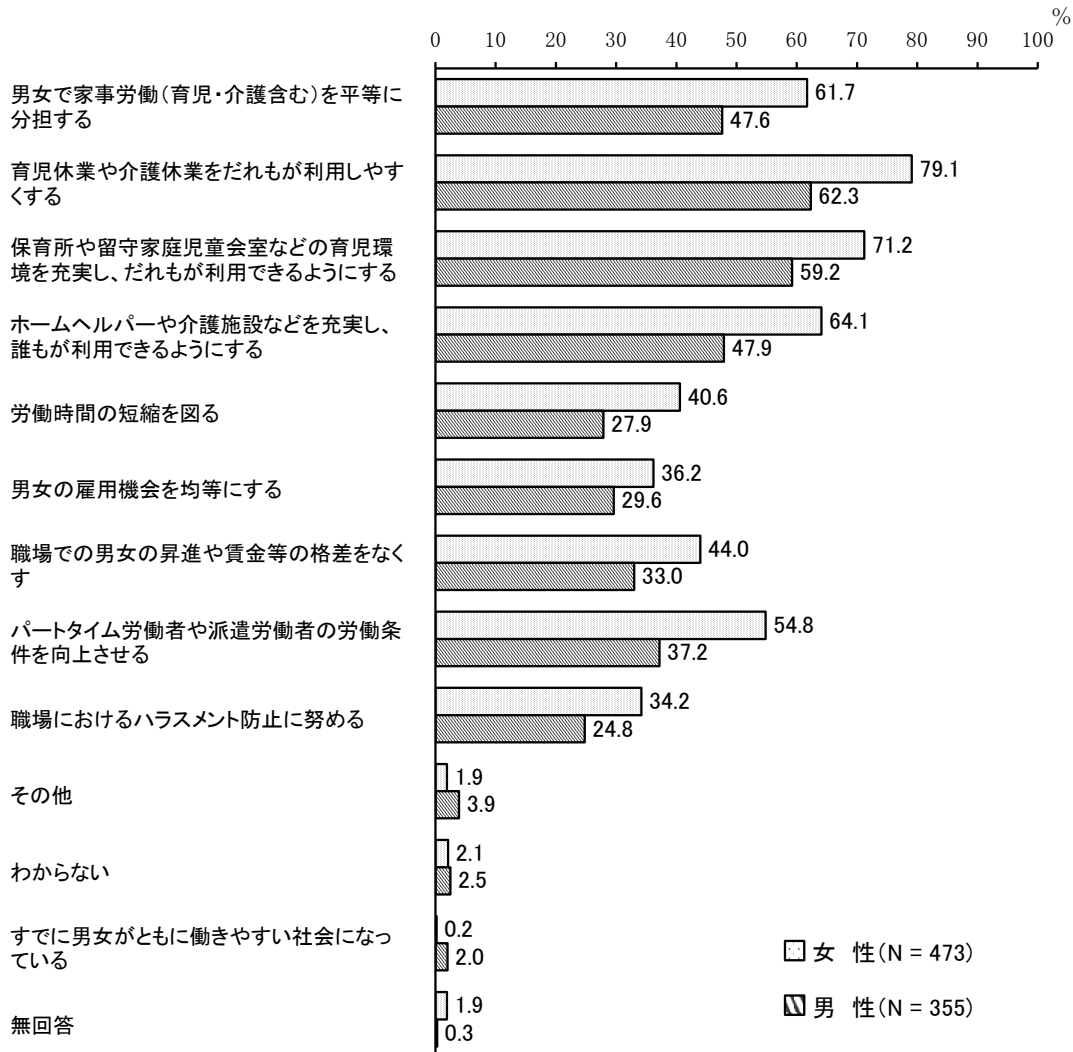
【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

ここからは、全員におたずねします。

問17 男女がともに働きやすい社会の環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



男女がともに働きやすい社会の環境づくりには、「育児休業や介護休業をだれもが利用しやすくする」が女性 79.1%、男性 62.3%と男女ともいちばん高く、次いで「保育所や留守家庭児童会室などの育児環境を充実し、だれもが利用できるようにする」が女性 71.2%、男性 59.2%となっています。

【性年代別】

単位：％

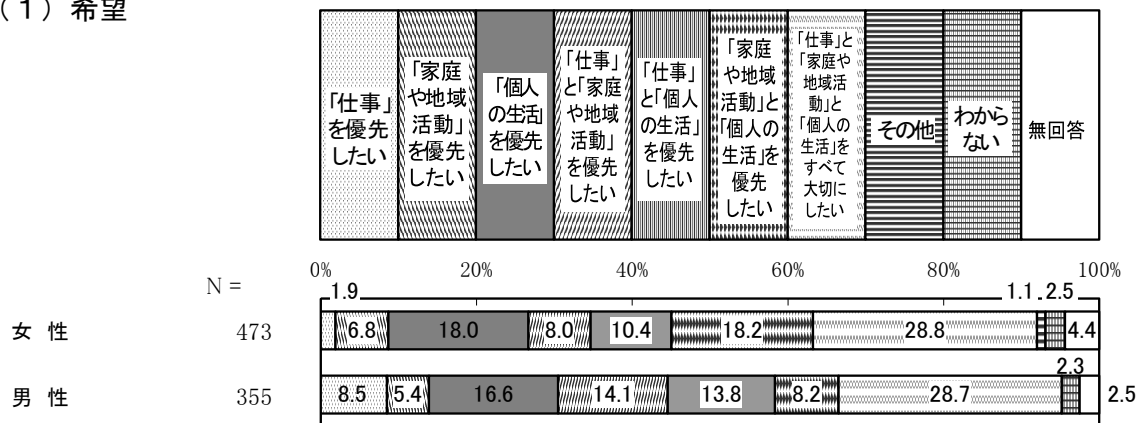
区分	有効回答数（件）	男女で家事労働（育児・介護含む）を平等に分担する	育児休業や介護休業をだれもが利用しやすくする	保育所や留守家庭児童会室などの育児環境を充実し、だれもが利用できるようにする	ホームヘルパーや介護施設などを充実し、誰もが利用できるようにする	労働時間の短縮を図る	男女の雇用機会を均等にする
女性 20歳代	66	71.2	83.3	71.2	54.5	50.0	40.9
30歳代	83	63.9	84.3	73.5	62.7	50.6	37.3
40歳代	99	59.6	73.7	76.8	60.6	42.4	35.4
50歳代	97	64.9	84.5	67.0	69.1	40.2	37.1
60歳代	67	56.7	83.6	77.6	70.1	32.8	37.3
70歳以上	61	52.5	62.3	59.0	67.2	23.0	27.9
男性 20歳代	35	57.1	54.3	40.0	37.1	31.4	34.3
30歳代	58	44.8	63.8	62.1	46.6	34.5	25.9
40歳代	56	58.9	58.9	64.3	48.2	26.8	19.6
50歳代	90	40.0	65.6	55.6	48.9	28.9	23.3
60歳代	58	36.2	60.3	63.8	50.0	20.7	32.8
70歳以上	58	56.9	65.5	63.8	51.7	25.9	46.6

区分	職場での男女の昇進や賃金等の格差をなくす	パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる	職場におけるハラスメント防止に努める	その他	わからない	すでに男女がともに働きやすい社会になっている	無回答
女性 20歳代	56.1	50.0	40.9	3.0	3.0	—	—
30歳代	53.0	56.6	37.3	1.2	1.2	—	—
40歳代	42.4	57.6	34.3	3.0	3.0	1.0	1.0
50歳代	39.2	56.7	32.0	1.0	1.0	—	1.0
60歳代	37.3	62.7	32.8	—	—	—	1.5
70歳以上	36.1	41.0	27.9	3.3	4.9	—	9.8
男性 20歳代	31.4	25.7	31.4	—	2.9	—	—
30歳代	31.0	36.2	25.9	3.4	5.2	1.7	—
40歳代	26.8	26.8	23.2	5.4	1.8	—	—
50歳代	32.2	41.1	23.3	6.7	1.1	1.1	—
60歳代	29.3	36.2	19.0	—	3.4	5.2	—
70歳以上	46.6	50.0	29.3	5.2	1.7	3.4	1.7

（7）仕事と家庭などの関わりについて

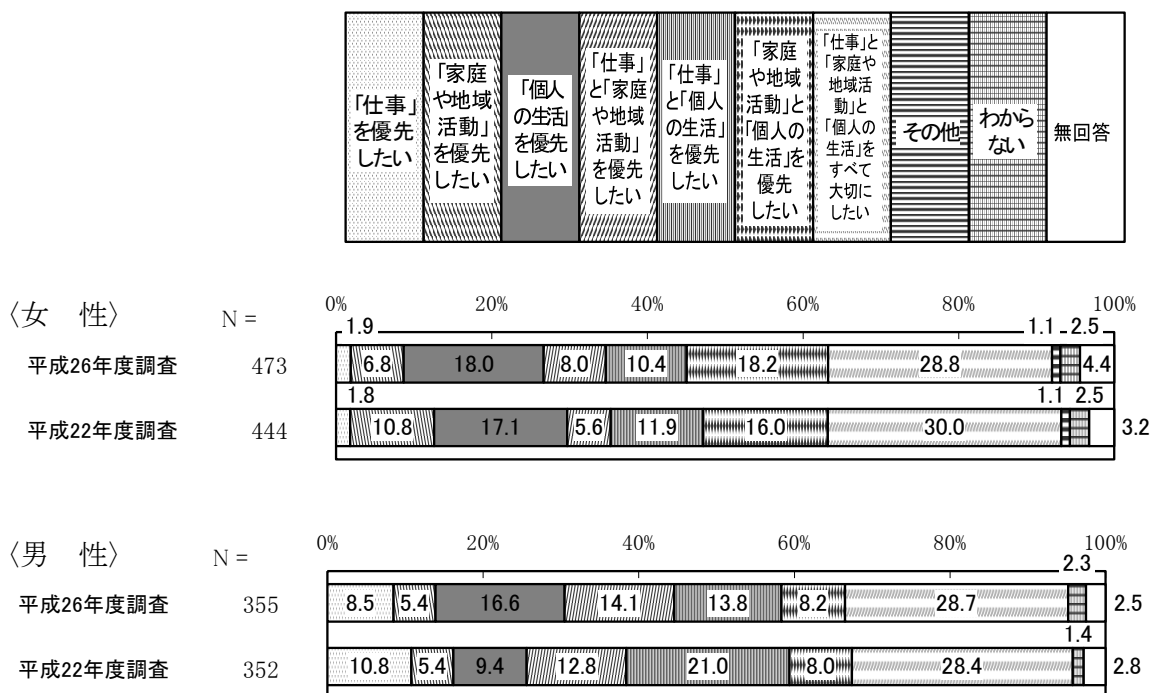
問 18 あなたは、生活の中で「仕事」、「家庭や地域活動」、「個人の生活」のうち何を優先しますか。あなたの希望と現状に近いものをそれぞれについてお答えください。
（〇は1つずつ）

（1）希望



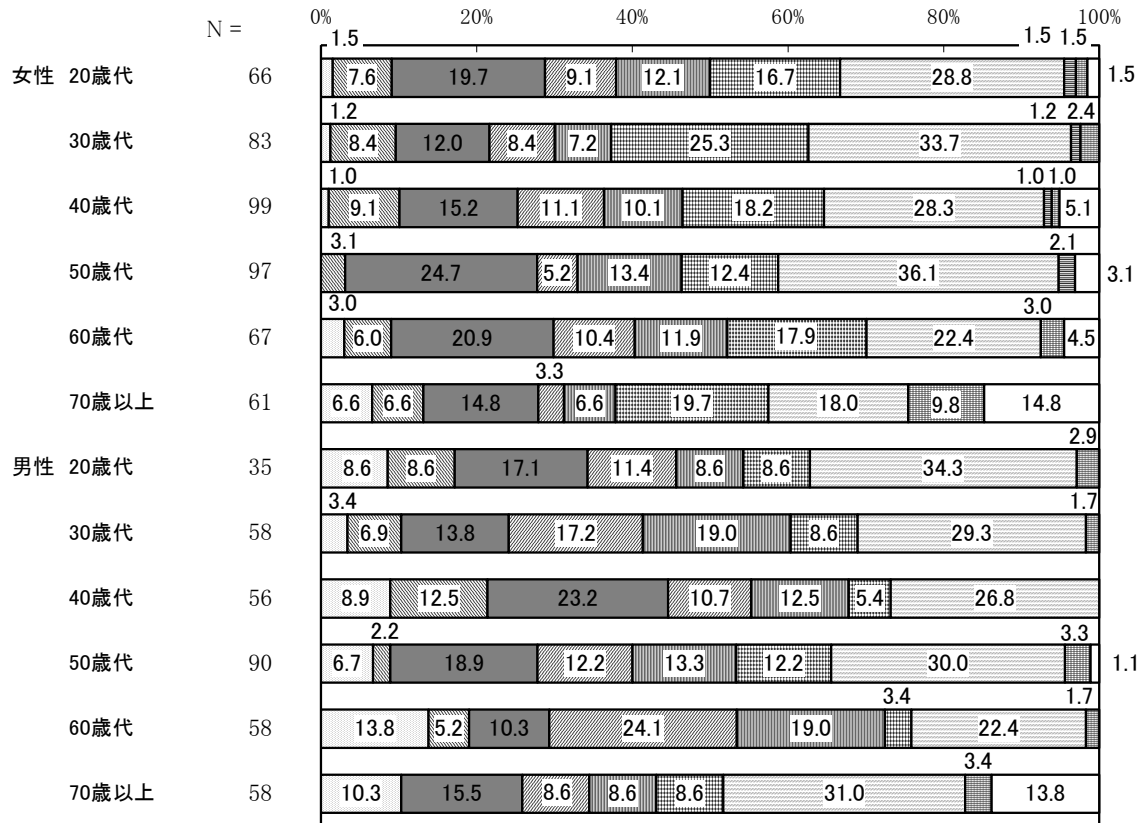
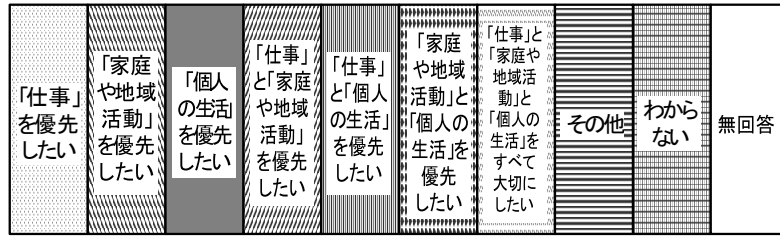
生活の中で優先を希望することについては、男女ともに「『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』をすべて大切にしたい」がいちばん高く、女性 28.8%、男性 28.7%となっています。次いで女性は「『家庭や地域活動』と『個人の生活』を優先したい」18.2%、男性は「『個人の生活』を優先したい」16.6%となっています。

【過去の調査との比較】



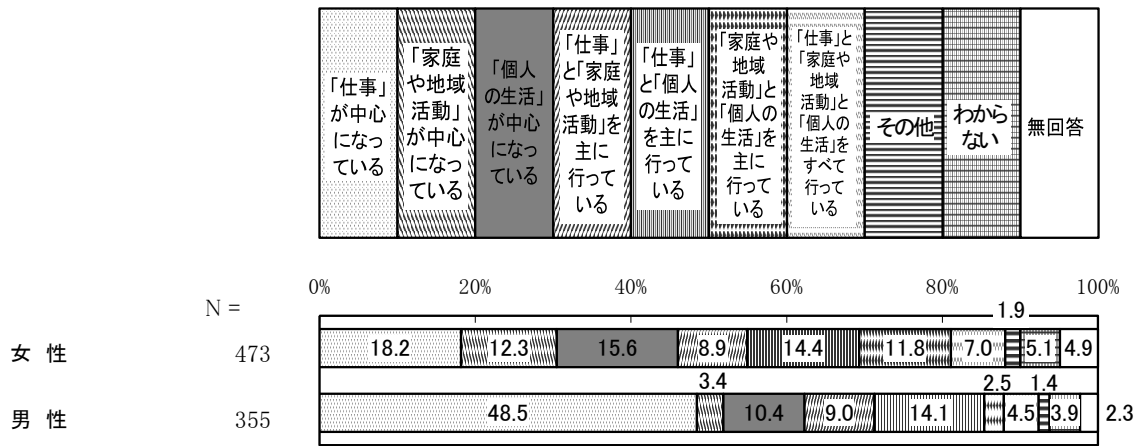
平成 22 年度調査と比較すると、男性で「『個人の生活』を優先したい」が増加し、「『仕事』と『個人の生活』を優先したい」が減少しています。

【性年代別】



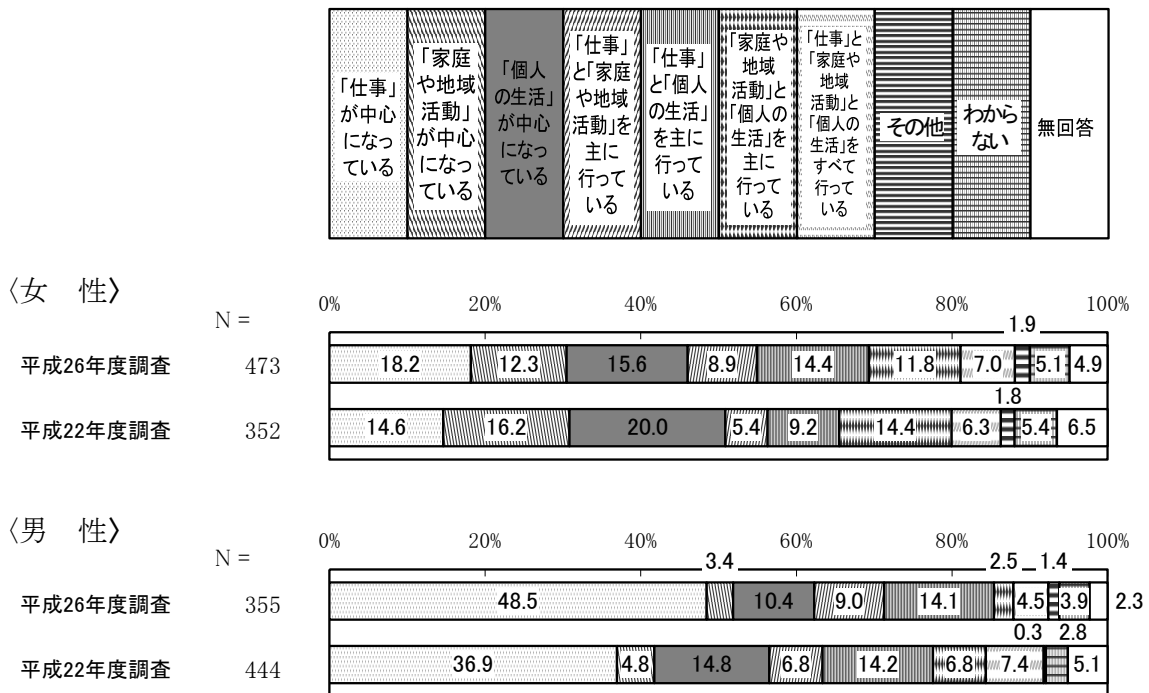
Ⅲ 調査結果（一般）

（２）現状



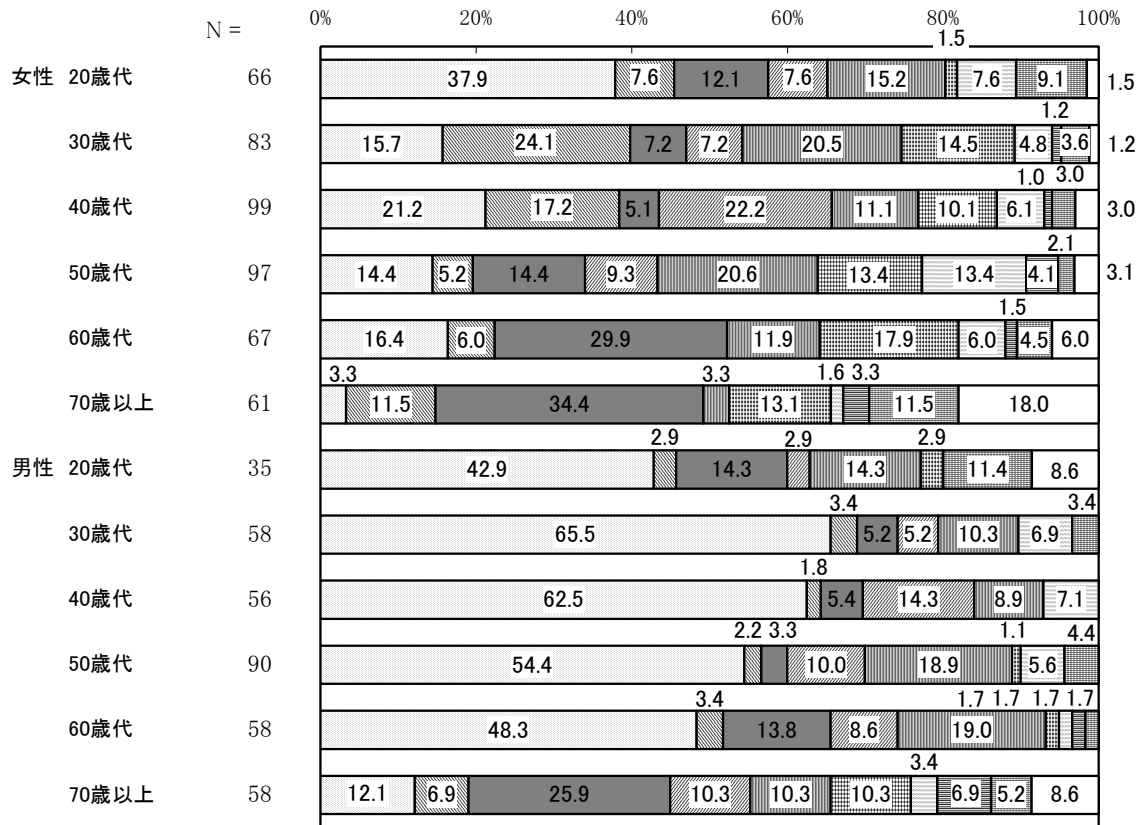
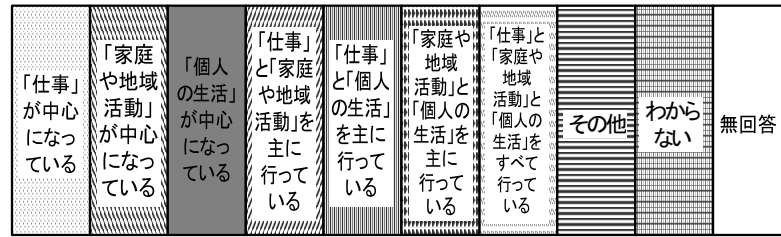
現状については、「『仕事』が中心になっている」が女性 18.2%、男性 48.5%と男女ともいちばん高くなっています。男女の差が大きいものについては、「『家庭や地域活動』と『個人の生活』を主にやっている」が女性 11.8%、男性 2.5%となっています。

【過去の調査との比較】

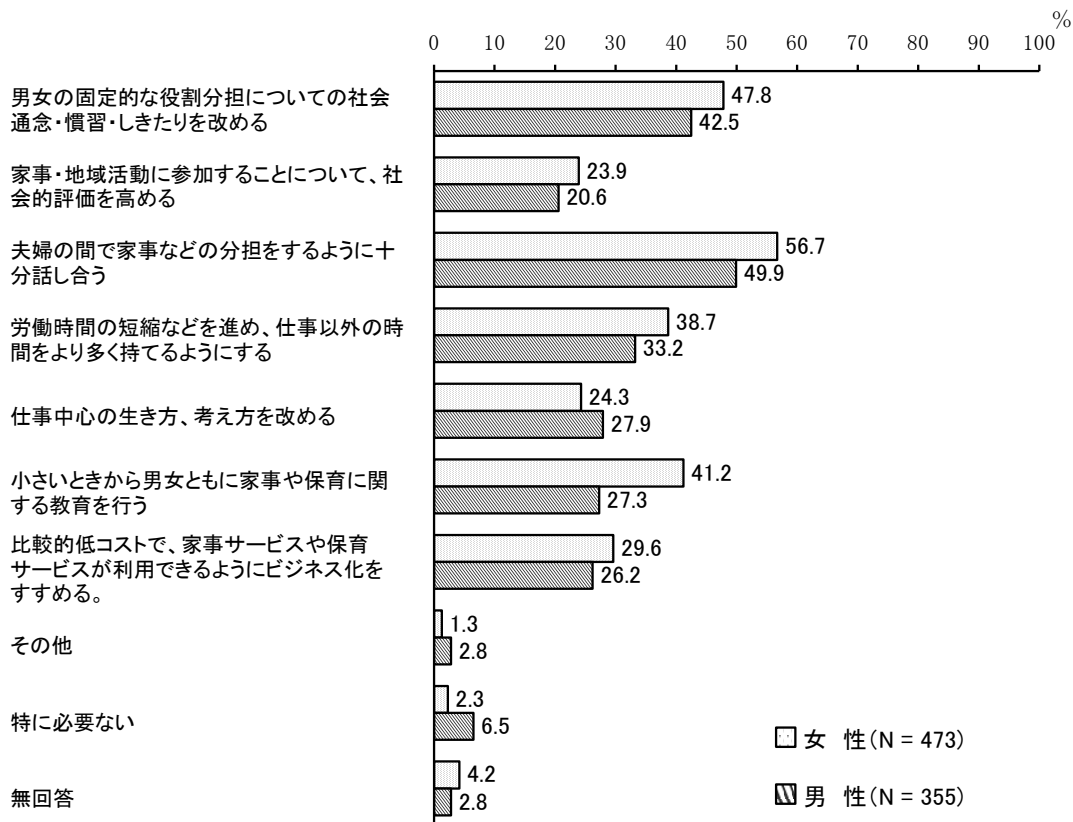


平成22年度調査と比較すると、男女ともに「『仕事』が中心になっている」が増加しています。また、女性で「『仕事』と『個人の生活』を主にやっている」が増加し、男女ともに「『個人の生活』が中心になっている」が減少しています。

【性年代別】



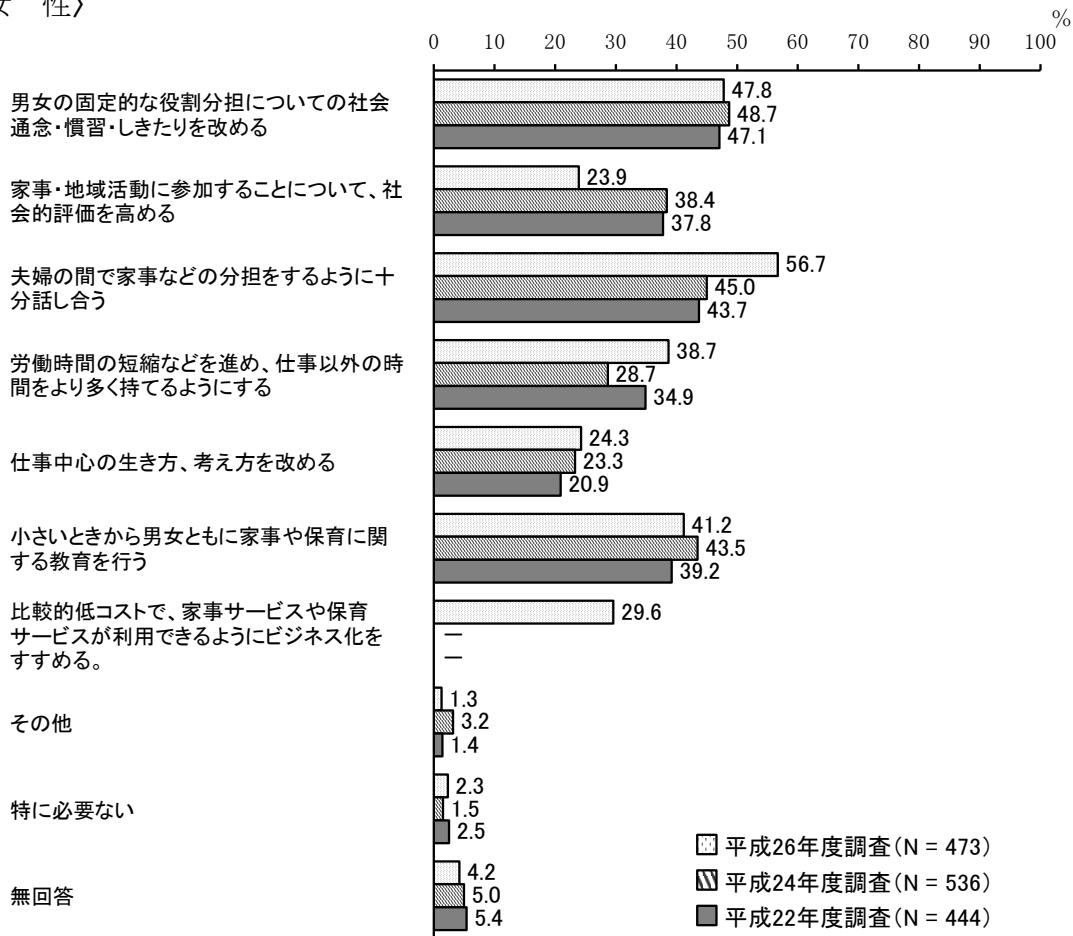
問 19 今後、男女で家事（料理・洗濯・掃除・育児・介護など）や地域活動などを分担するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



男女で家事や地域活動などを分担するために必要なことについてみると、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う」が女性 56.7%、男性 49.9%と男女ともいちばん高くなっています。次いで「男女の固定的な役割分担についての社会通念・慣習・しきたりを改める」が女性 47.8%、男性 42.5%となっています。

【過去の調査との比較】

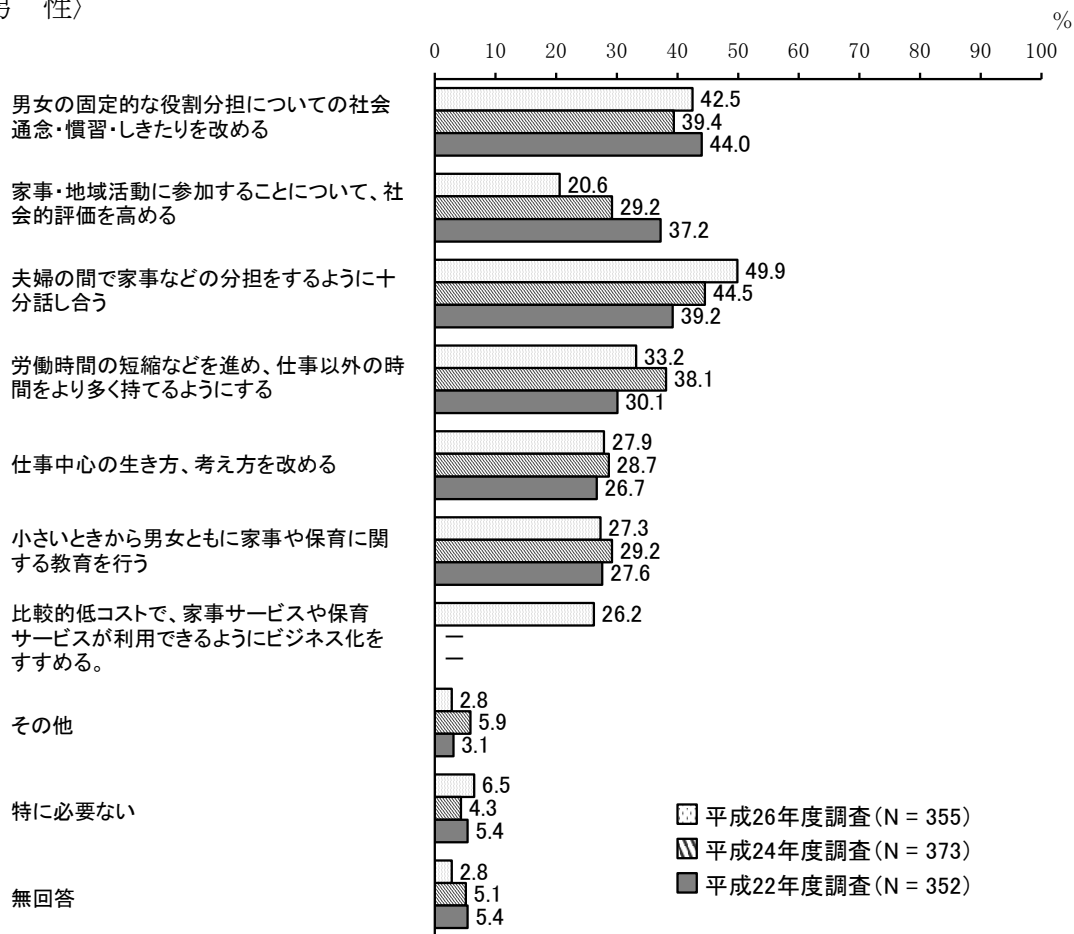
〈女性〉



※ 平成 24 年度調査、平成 22 年度調査には「比較的低コストで、家事サービスや保育サービスが利用できるようにビジネス化をすすめる」の選択肢はありません。

Ⅲ 調査結果（一般）

〈男 性〉



※ 平成 24 年度調査、平成 22 年度調査には「比較的低コストで、家事サービスや保育サービスが利用できるようにビジネス化をすすめる」の選択肢はありません。

【性年代別】

単位：％

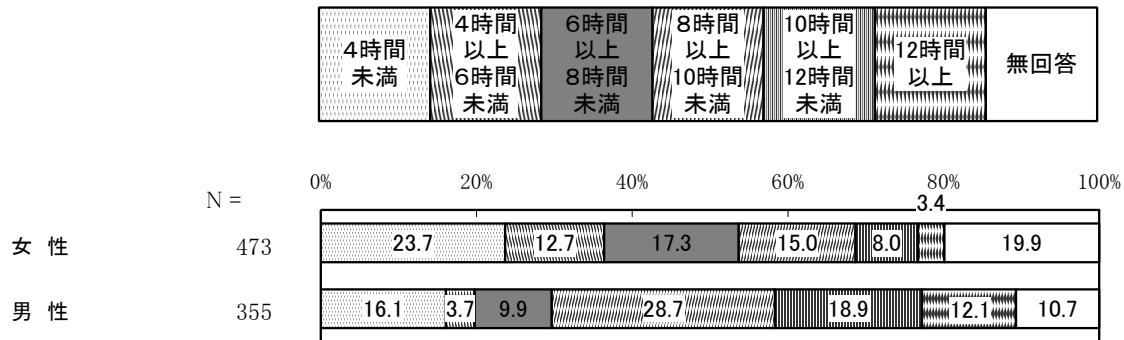
区分	有効回答数（件）	男女の固定的な役割分担についての社会通念・慣習・しきたりを改める	家事・地域活動に参加することについて、社会的評価を高める	夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う	労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	仕事中心の生き方、考え方を改める
女性 20歳代	66	48.5	25.8	80.3	47.0	28.8
30歳代	83	53.0	26.5	53.0	45.8	22.9
40歳代	99	48.5	24.2	54.5	46.5	23.2
50歳代	97	48.5	27.8	52.6	45.4	21.6
60歳代	67	58.2	20.9	55.2	26.9	37.3
70歳以上	61	26.2	14.8	47.5	9.8	13.1
男性 20歳代	35	42.9	20.0	57.1	31.4	17.1
30歳代	58	32.8	12.1	53.4	44.8	29.3
40歳代	56	48.2	25.0	51.8	28.6	35.7
50歳代	90	45.6	21.1	44.4	38.9	27.8
60歳代	58	39.7	19.0	51.7	27.6	25.9
70歳以上	58	44.8	25.9	46.6	24.1	27.6

区分	小さいときから男女ともに家事や保育に関する教育を行う	比較的低コストで、家事サービスや保育サービスが利用できるようにビジネス化をすすめる。	その他	特に必要ない	無回答
女性 20歳代	45.5	31.8	1.5	1.5	1.5
30歳代	42.2	32.5	1.2	—	—
40歳代	43.4	27.3	1.0	2.0	2.0
50歳代	45.4	33.0	2.1	1.0	3.1
60歳代	38.8	23.9	1.5	3.0	3.0
70歳以上	27.9	27.9	—	8.2	19.7
男性 20歳代	31.4	11.4	—	5.7	2.9
30歳代	22.4	32.8	3.4	5.2	1.7
40歳代	23.2	21.4	3.6	3.6	—
50歳代	23.3	28.9	3.3	7.8	—
60歳代	31.0	25.9	1.7	6.9	1.7
70歳以上	36.2	29.3	3.4	8.6	12.1

問 20 あなたが1日のうちで仕事と家事に費やす平均時間はどの程度ですか。
（〇は1つずつ）

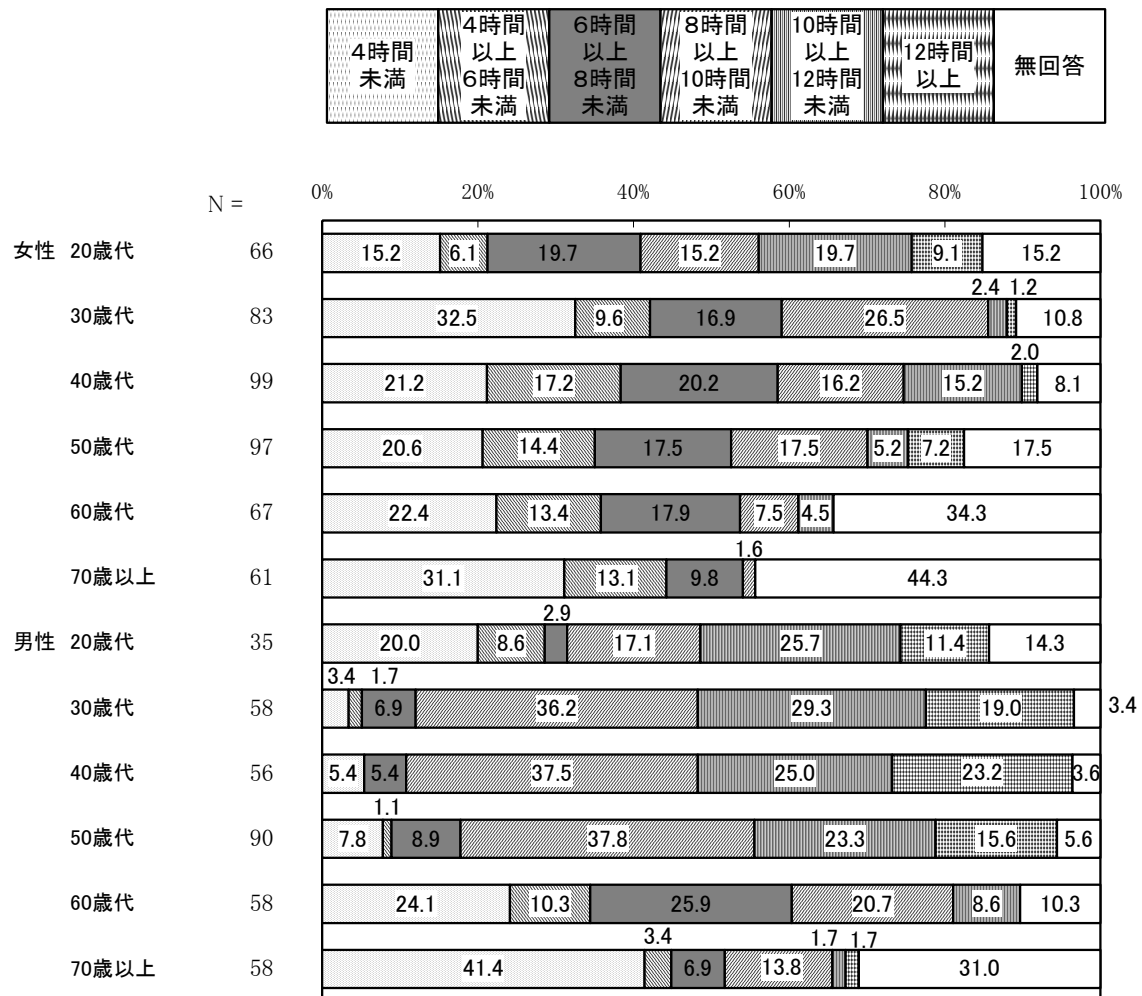
（1）仕事（在宅就労を含む）

① 平日

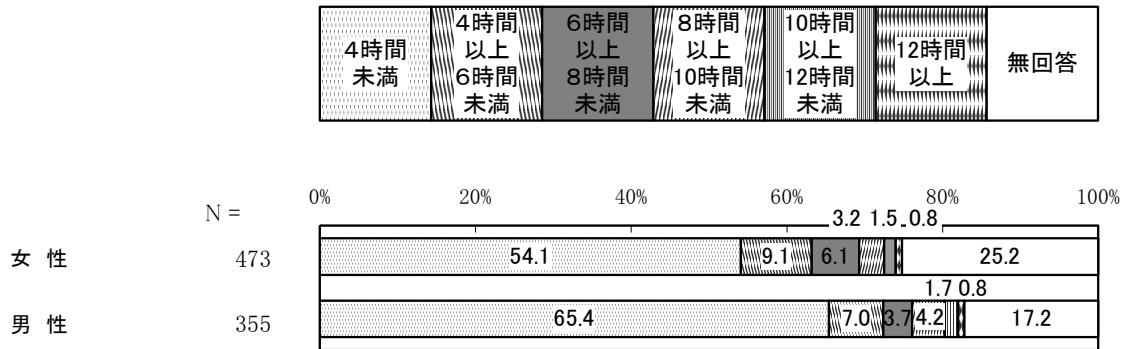


1日のうちで仕事に費やす平均時間についてみると、平日では、女性は「4時間未満」が23.7%といちばん高く、男性は「8時間以上10時間未満」が28.7%といちばん高くなっています。

【性年代別】

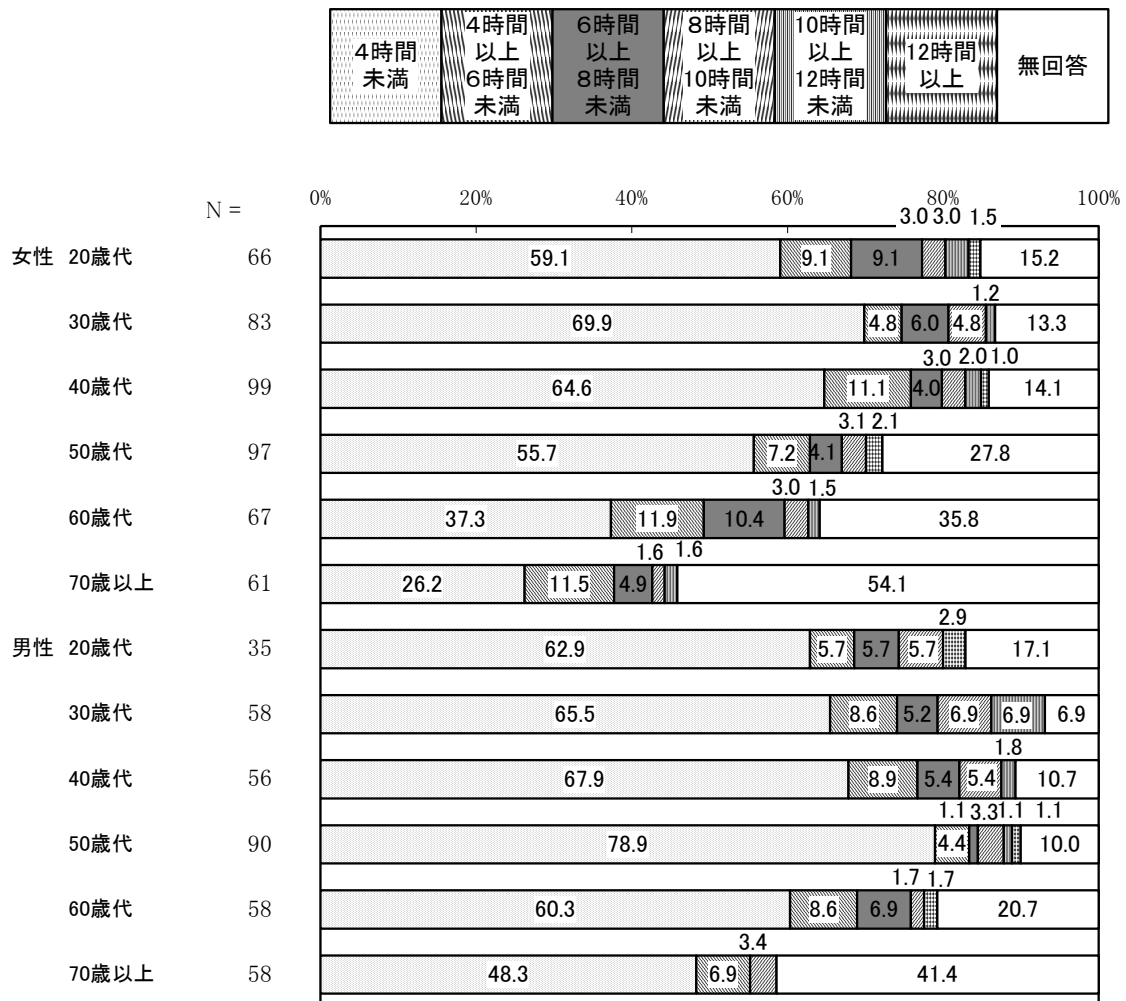


② 休日



1日のうちで仕事に費やす平均時間についてみると、休日では男女とも「4時間未満」がいちばん高く、女性54.1%、男性65.4%となっています。

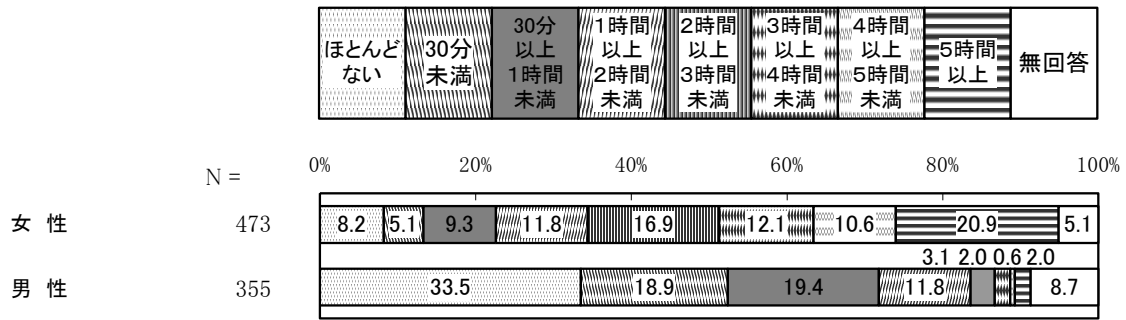
【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

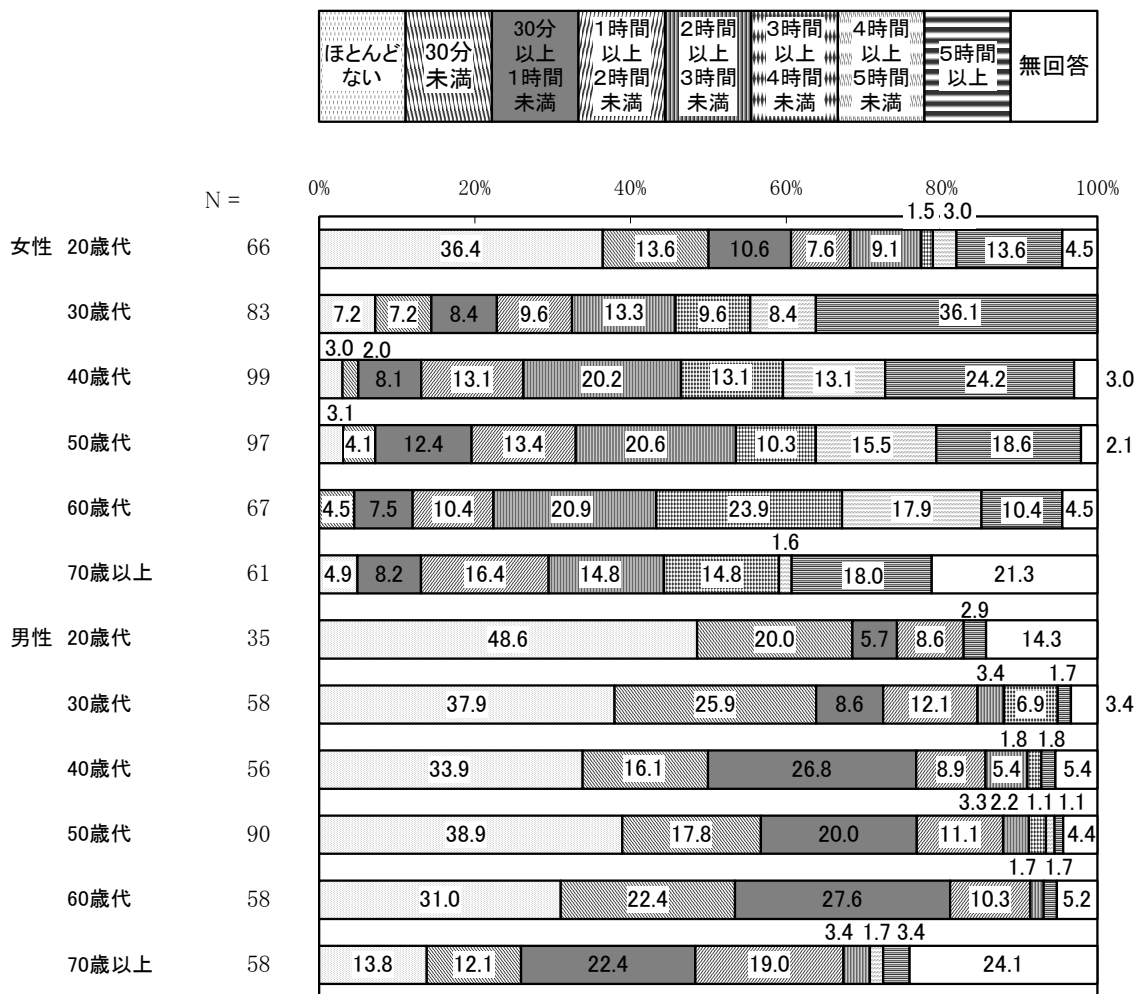
（２）家事（料理・洗濯・掃除・育児・介護など）

① 平日

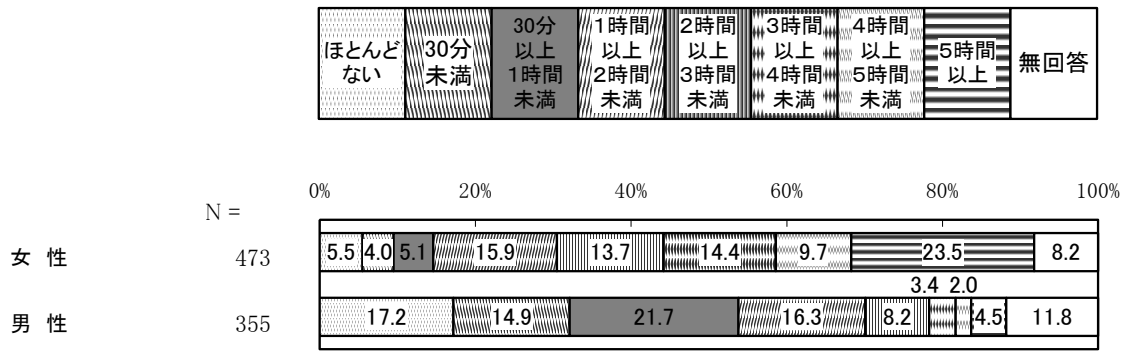


1日のうちで家事に費やす平均時間についてみると、平日では女性は「5時間以上」が20.9%といちばん高く、男性は「ほとんどない」が33.5%といちばん高くなっています。

【性年代別】

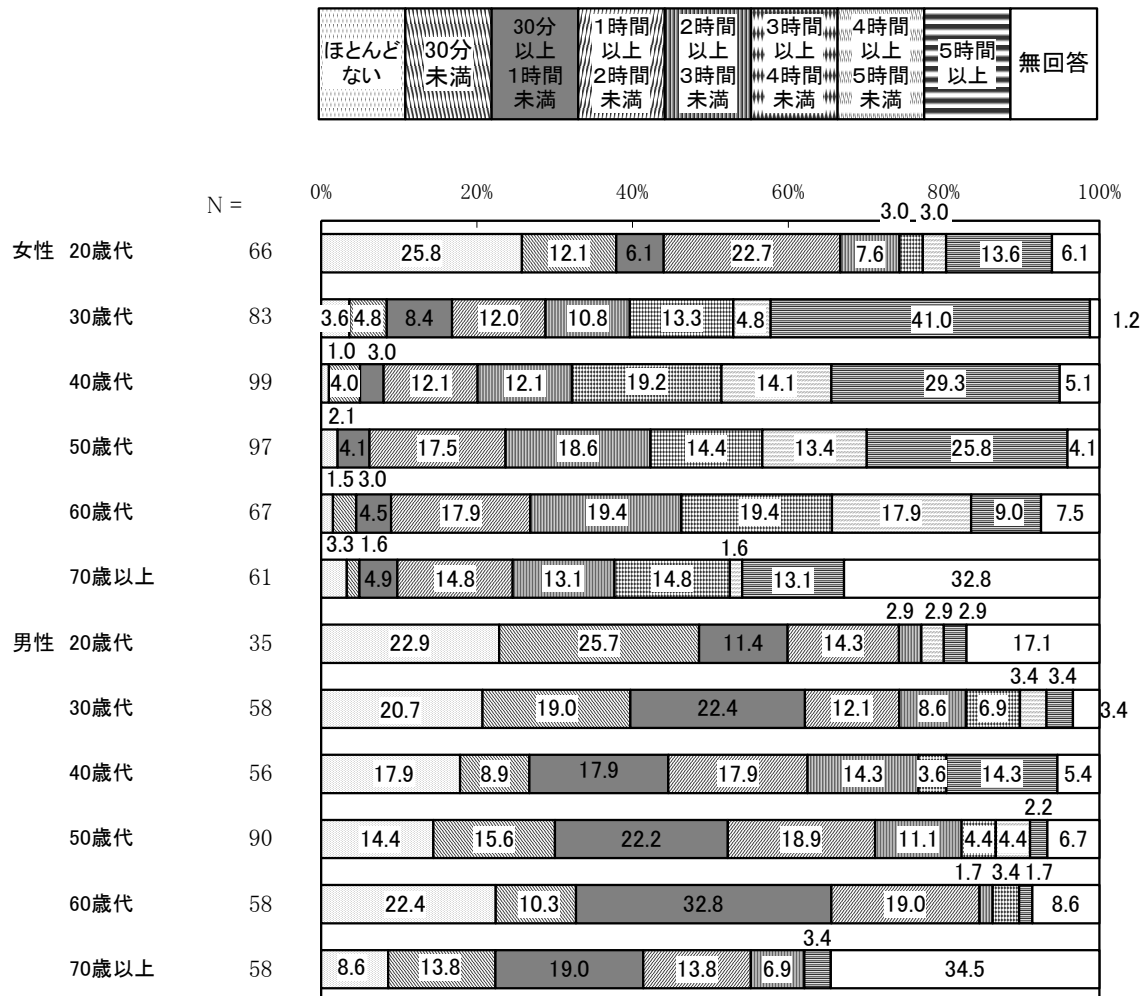


② 休日



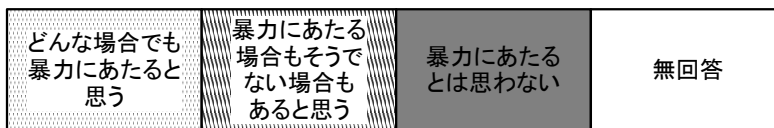
1日のうちで家事に費やす平均時間についてみると、休日では女性は「5時間以上」が23.5%といちばん高く、男性は「30分以上1時間未満」が21.7%といちばん高くなっています。

【性年代別】



（８）DV（ドメスティック・バイオレンス）、セクシュアル・ハラスメントなどについて

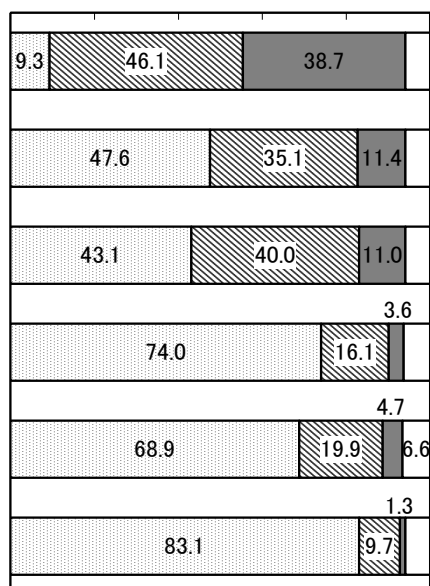
問 21 あなたは、恋人同士の間で次の（１）～（６）のようなことが行われた場合、暴力にあたると思いますか。（○は各項目に１つ）



＜女性＞（N=473）

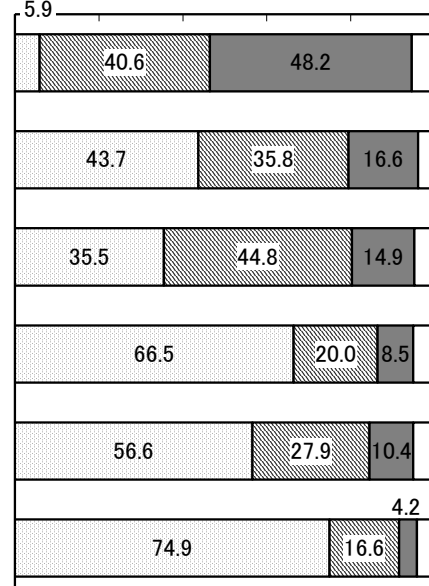
＜男性＞（N=355）

0% 20% 40% 60% 80% 100%



- (1) 相手が自分の言うとおりにしなければ、不機嫌になる
- (2) 許可なく、携帯の送受信の履歴をチェックしたり、アドレスを消したりする
- (3) 頻繁に携帯で電話をかけてきて、居場所や会っている人のことを尋ねる
- (4) 「別れるなら自殺する」とメールを送る
- (5) 避妊に協力しない
- (6) 相手の合意を得ないで、一方的に性行為を行う

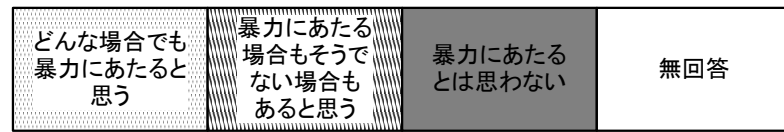
0% 20% 40% 60% 80% 100%



「暴力にあたるとは思わない」では、「相手が自分の言うとおりにしなければ、不機嫌になる」が女性 38.7%、男性 48.2%といちばん高くなっています。「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」では、「相手が自分の言うとおりにしなければ、不機嫌になる」が女性 46.1%、男性 40.6%といちばん高く、次いで「頻繁に携帯で電話をかけてきて、居場所や会っている人のことを尋ねる」が女性 40.0%、男性 44.8%、「許可なく、携帯の送受信の履歴をチェックしたり、アドレスを消したりする」が女性 35.1%、男性 35.8%となっています。

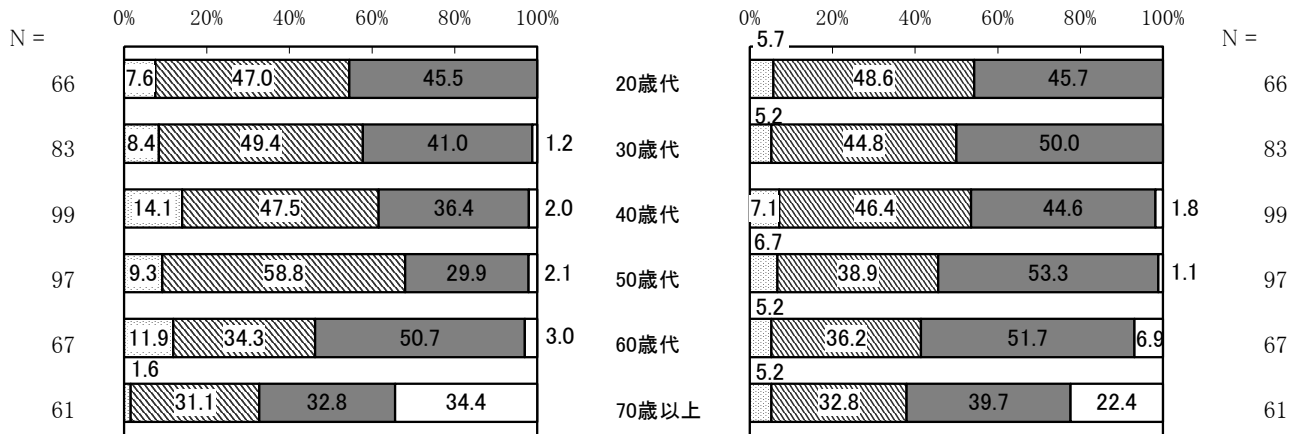
【性年代別】

(1) 相手が自分の言うとおりにしなければ、不機嫌になる

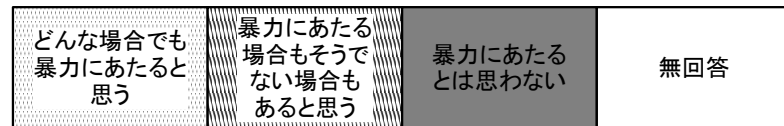


〈女性〉

〈男性〉

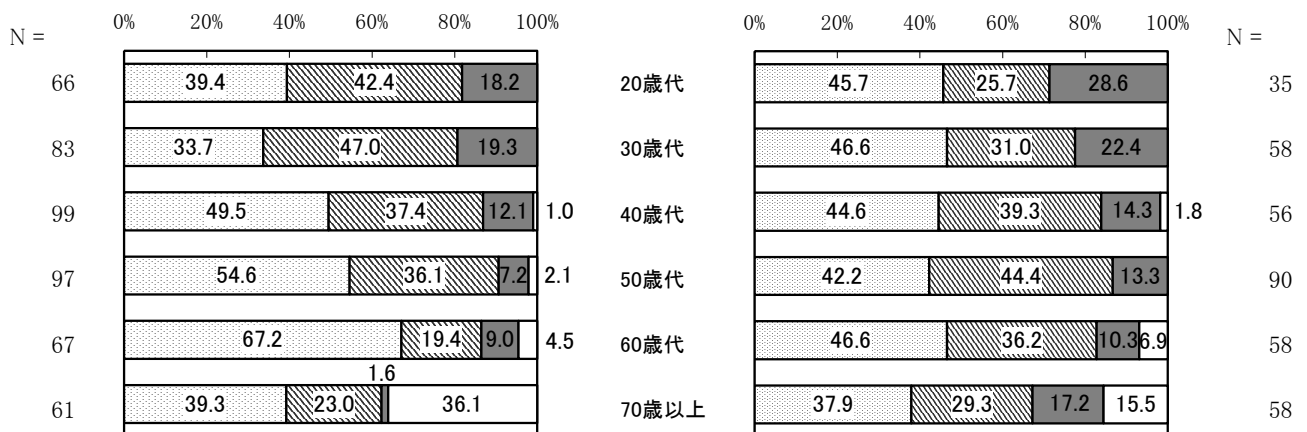


(2) 許可なく、携帯の送受信の履歴をチェックしたり、アドレスを消したりする



〈女性〉

〈男性〉



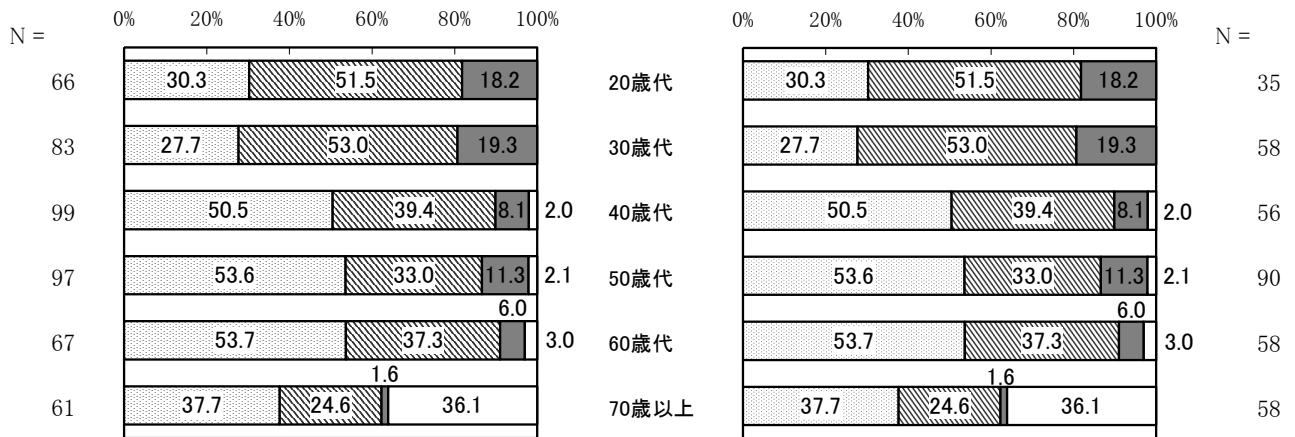
Ⅲ 調査結果（一般）

（3）頻繁に携帯で電話をかけてきて、居場所や会っている人のことを尋ねる

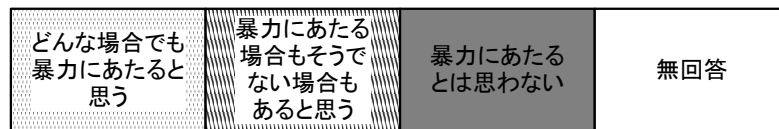


<女性>

<男性>

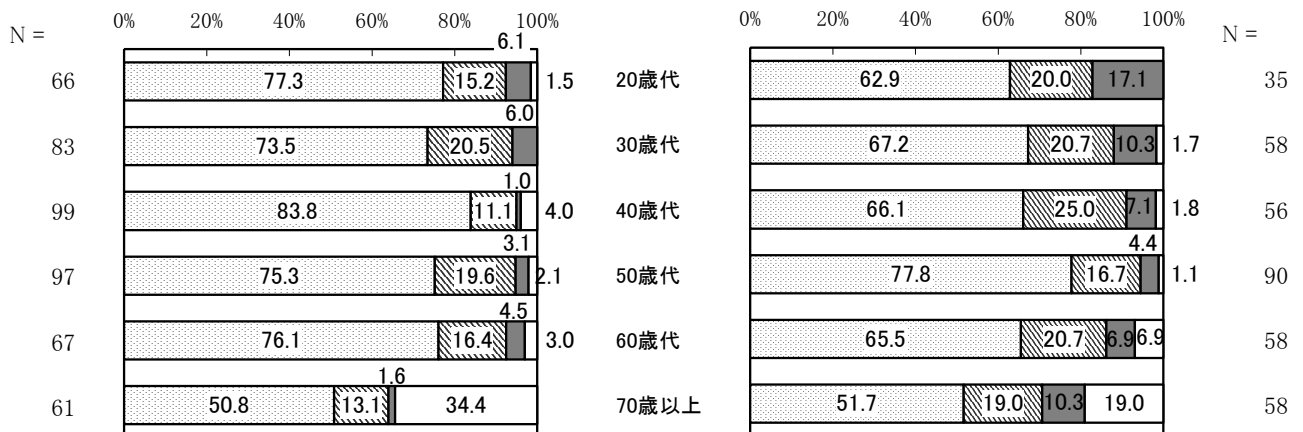


（4）「別れるなら自殺する」とメールを送る



<女性>

<男性>

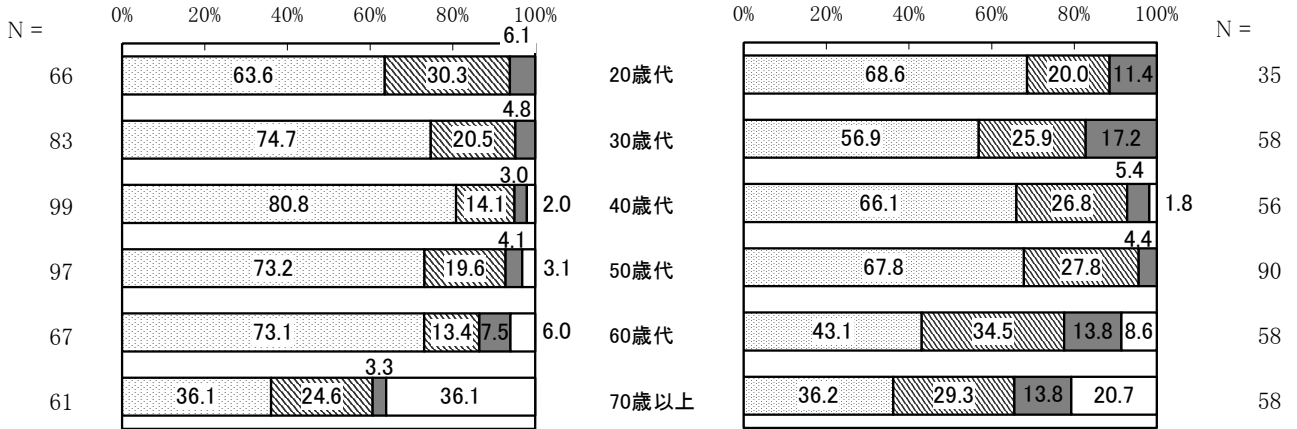


（5）避妊に協力しない

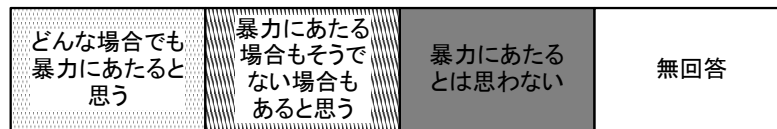


<女性>

<男性>

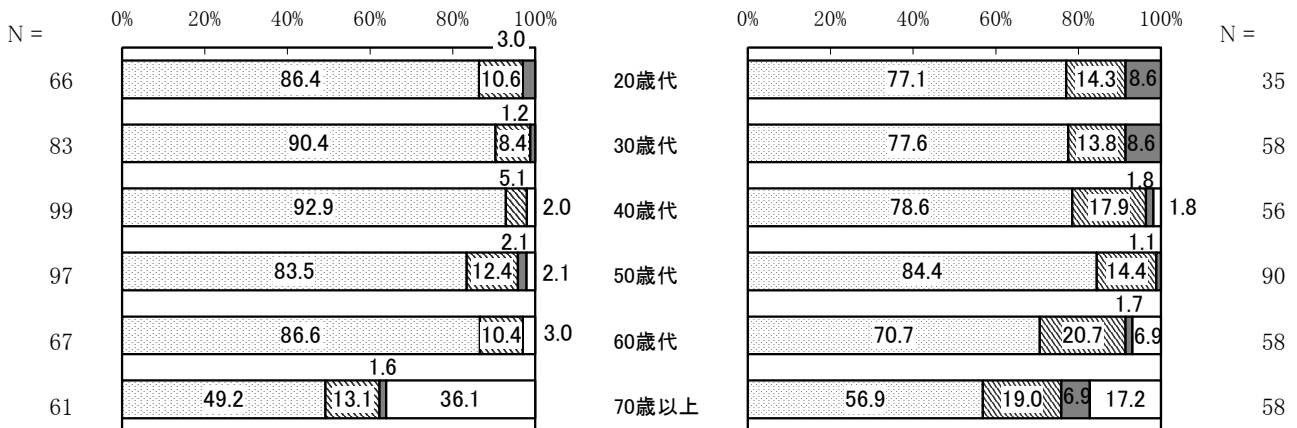


（6）相手の合意を得ないで、一方的に性行為を行う



<女性>

<男性>



Ⅲ 調査結果（一般）

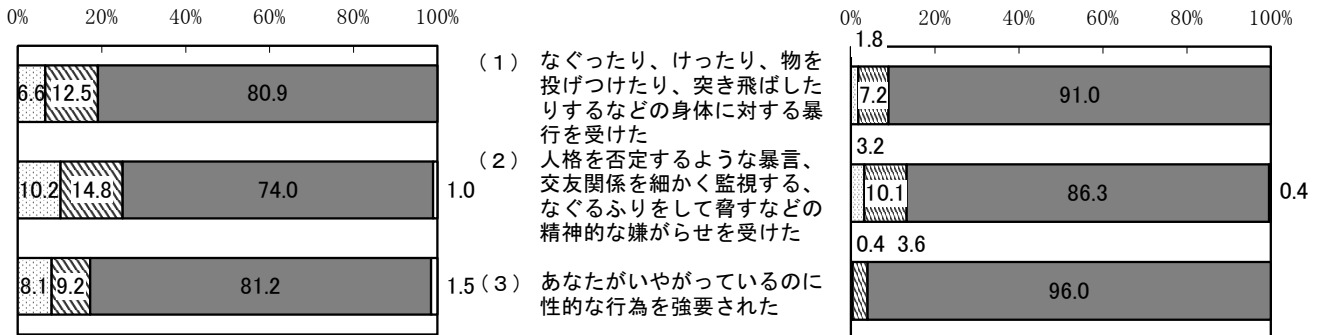
交際相手のいる（いた）方におたずねします。

問 22 あなたは、交際相手から、次の（１）～（３）のようなことをされたことがありますか。（○は各項目に１つ）



<女性> (N=473)

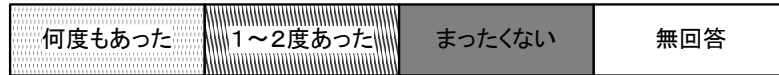
<男性> (N=355)



交際相手からの暴力を経験したことが『あった』（「何どもあった」と「１～２度あった」の合計）についてみると、「人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅すなどの精神的な嫌がらせを受けた」は女性 25.0%、男性 13.3%、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた」は女性 19.1%、男性 9.0%、「あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された」は女性 17.3%、男性 4.0%となっています。

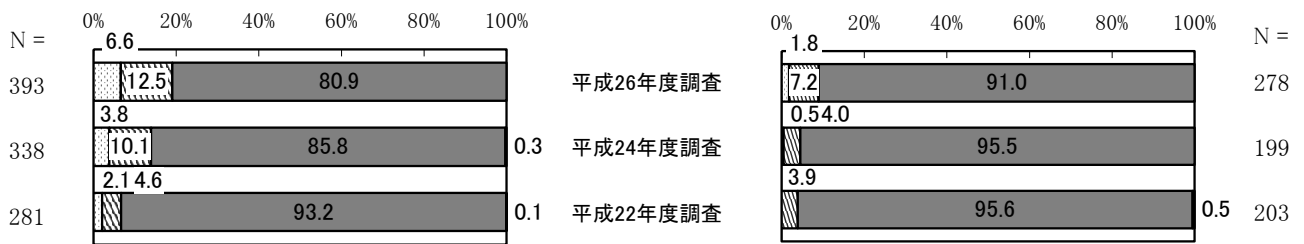
(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた。

【過去の調査との比較】



<女性>

<男性>

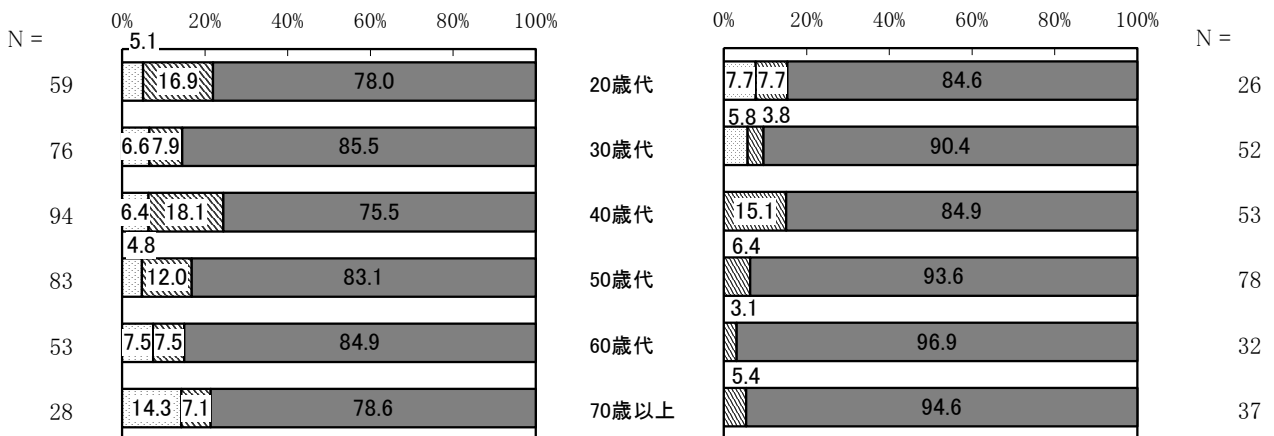


【性年代別】



<女性>

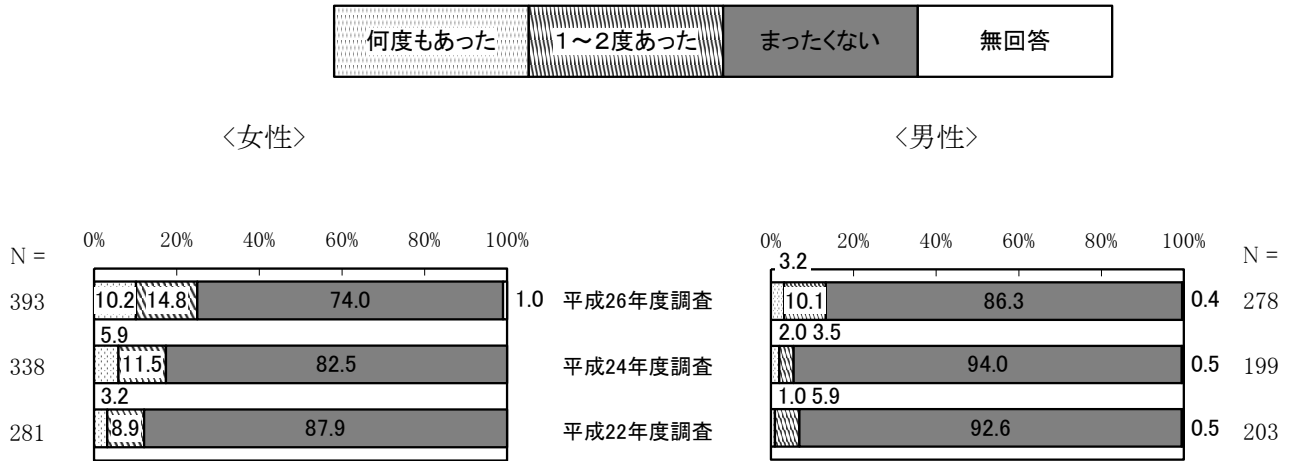
<男性>



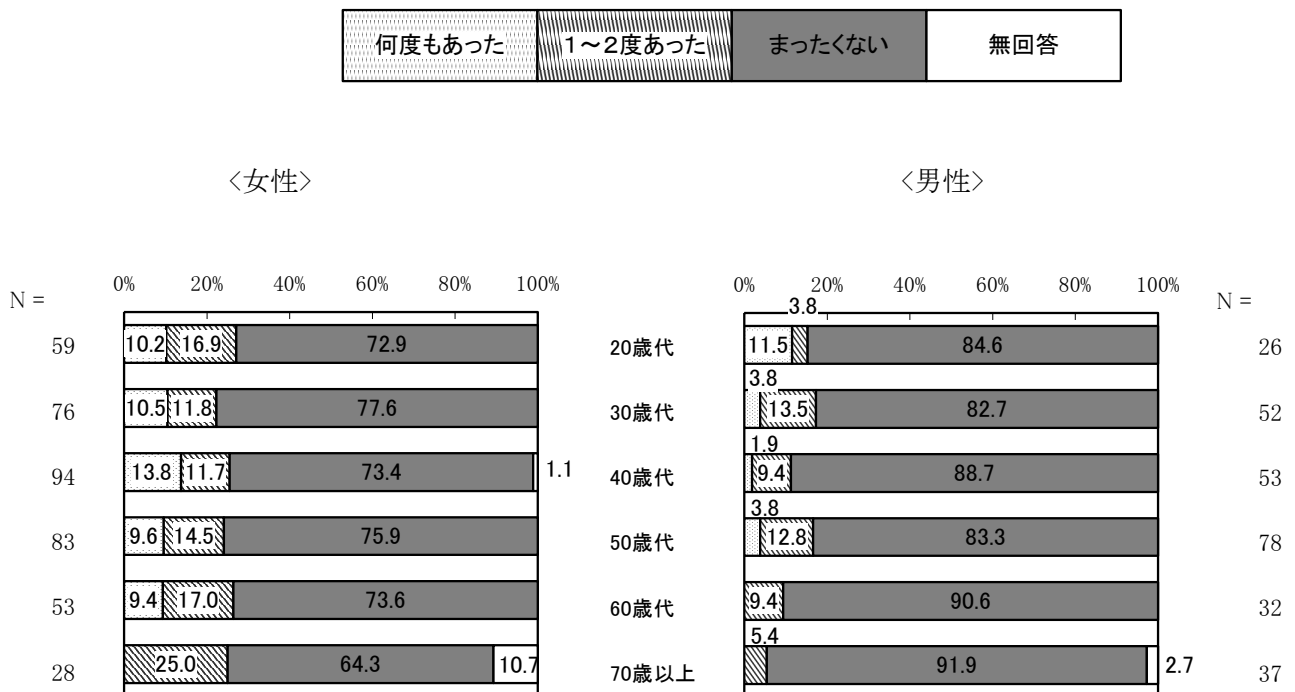
Ⅲ 調査結果（一般）

（２）人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅すなどの精神的な嫌がらせを受けた

【過去の調査との比較】

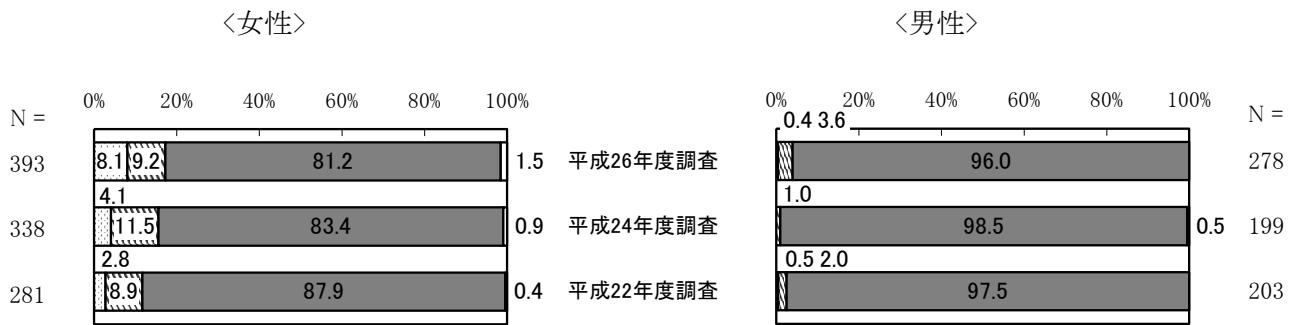


【性年代別】

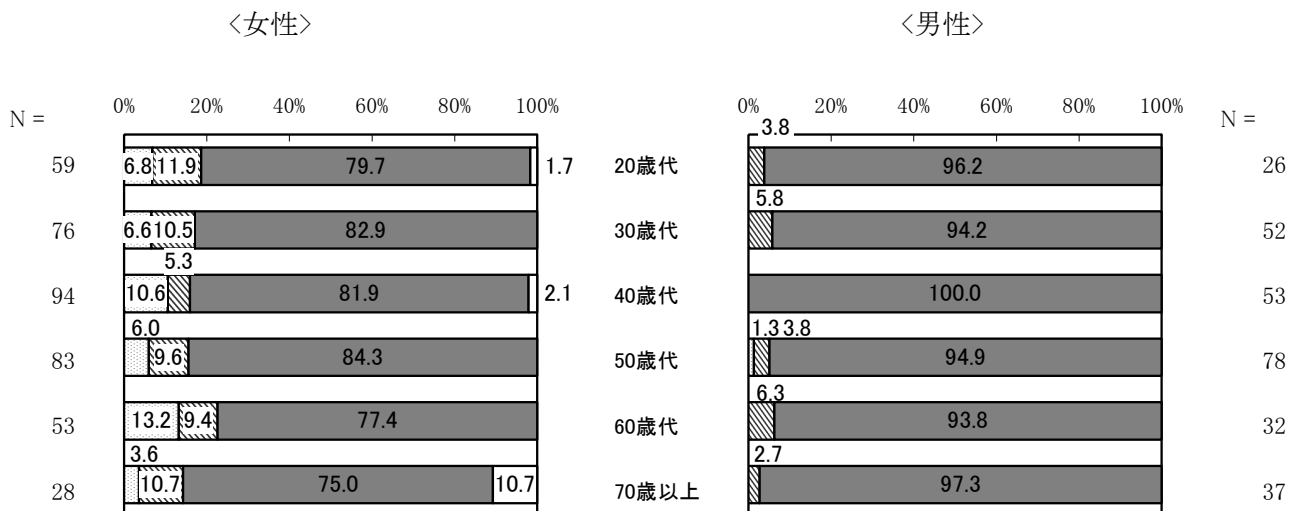


（3）あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された

【過去の調査との比較】



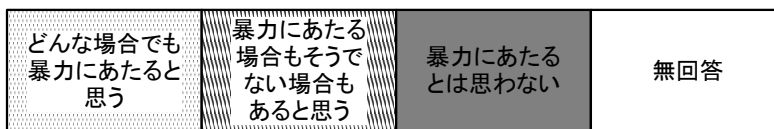
【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

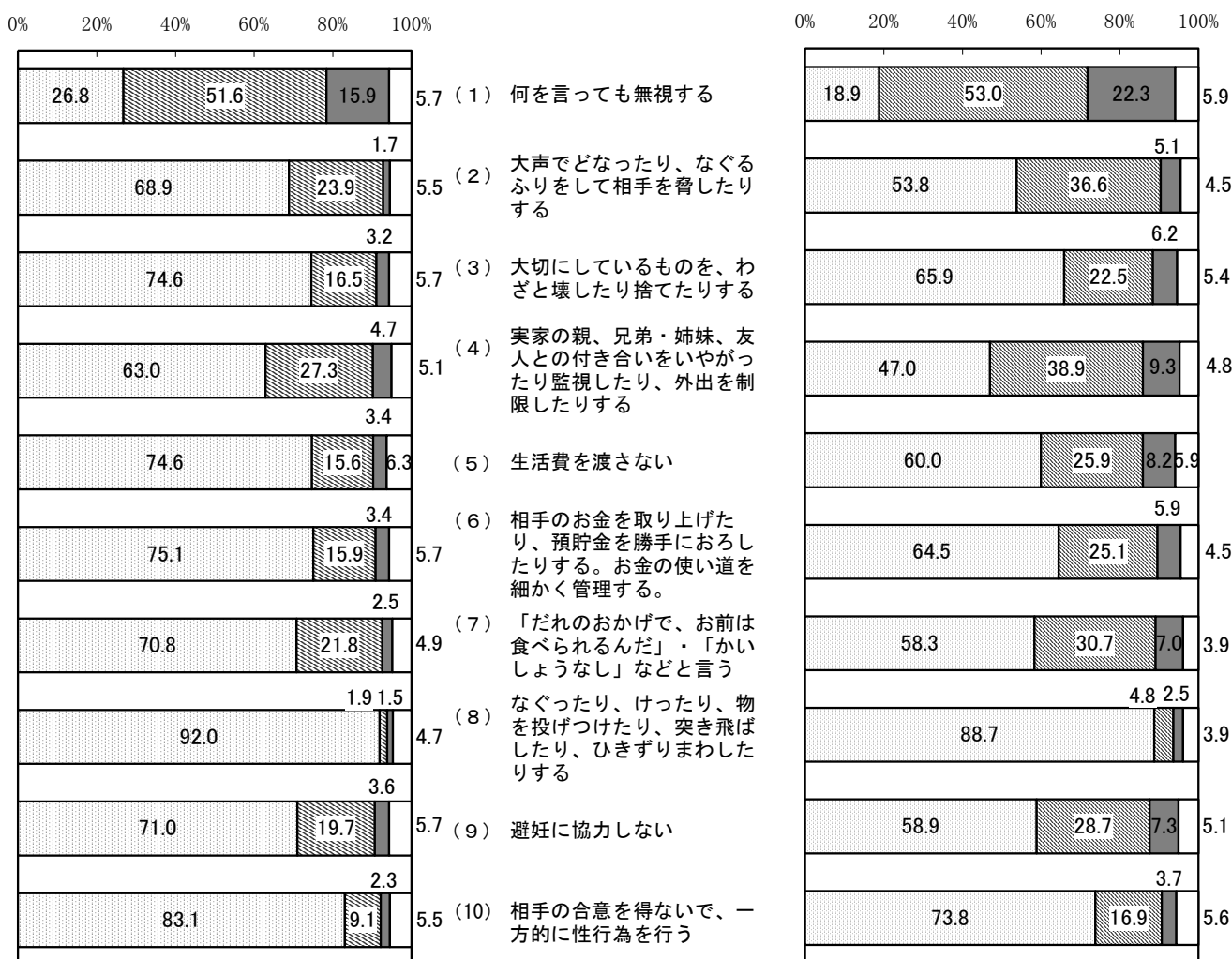
全員におたずねします。

問 23 あなたは、配偶者間で次の（１）～（１０）のようなことが行われた場合、暴力にあたると思いますか。（○は各項目に１つ）



〈女性〉（N=473）

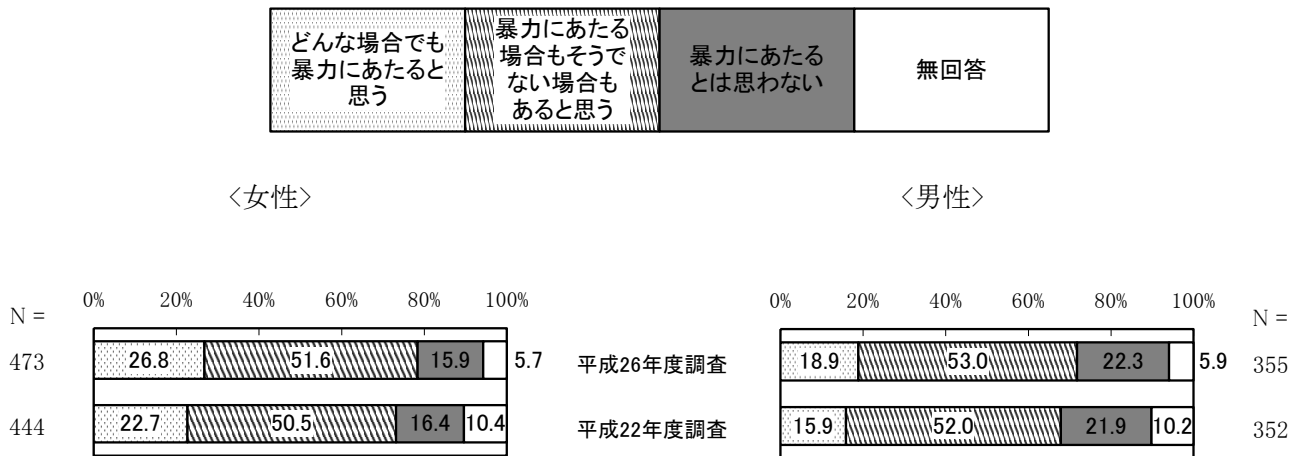
〈男性〉（N=355）



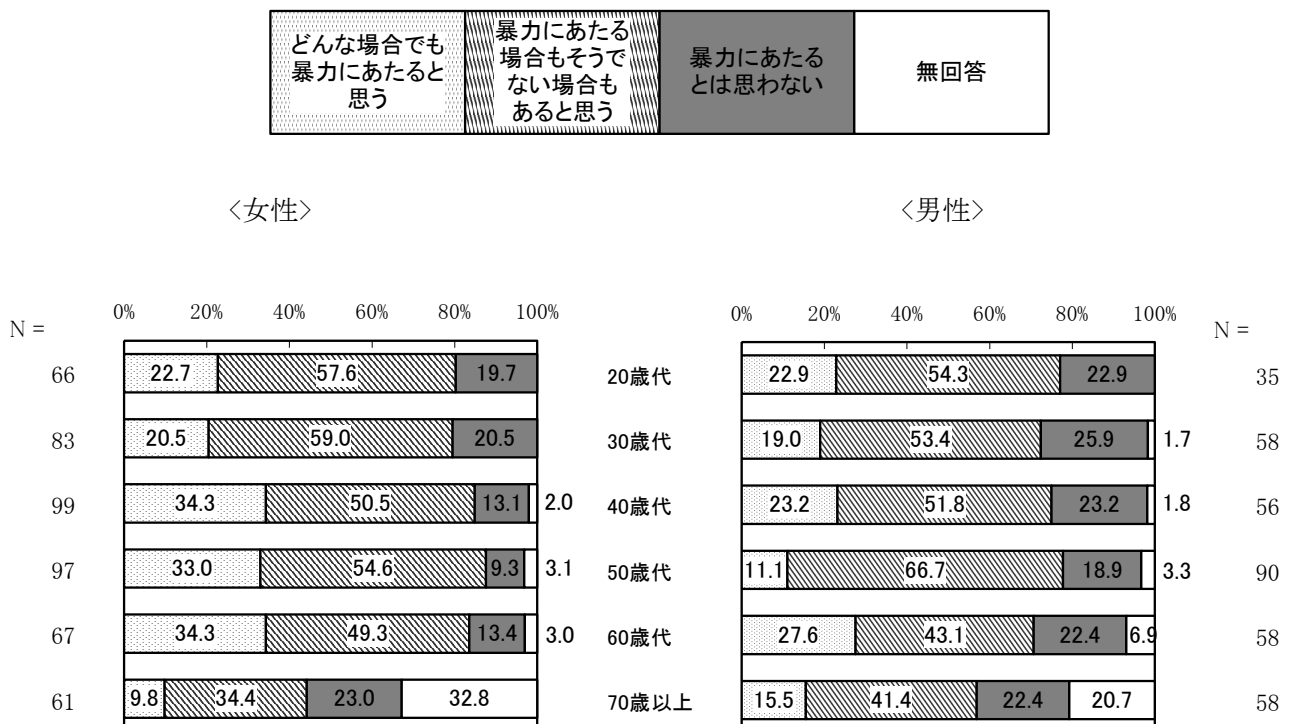
「暴力にあたるとは思わない」では、男女とも「何を言っても無視する」が女性 15.9%、男性 22.3%といちばん高くなっています。「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」では、「何を言っても無視する」が女性 51.6%、男性 53.0%といちばん高く、次いで「実家の親、兄弟・姉妹、友人との付き合いをいやがったり監視したり、外出を制限したりする」が女性 27.3%、男性 38.9%、「大声でどなったり、なぐるふりをして相手を脅したりする」が女性 23.9%、男性 36.6%となっています。

（１）何を言っても無視する

【過去の調査との比較】



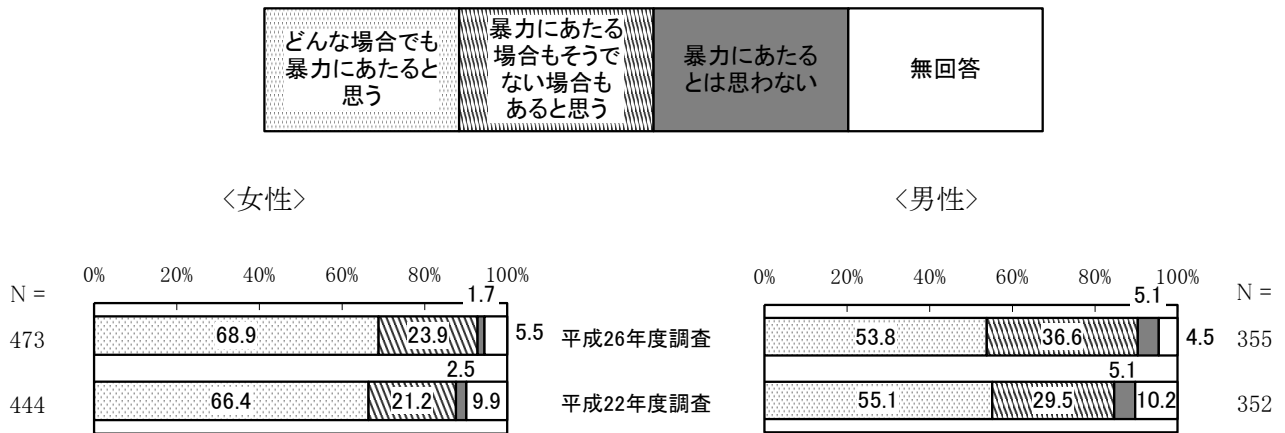
【性年代別】



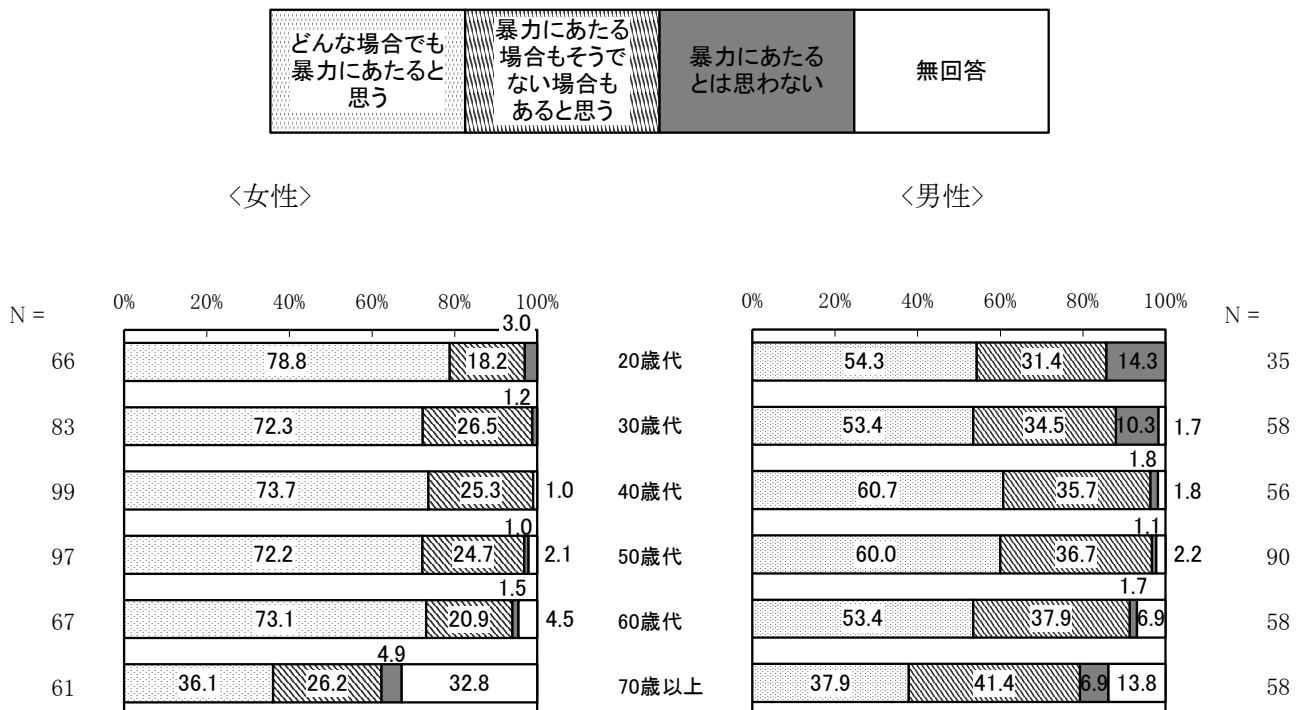
Ⅲ 調査結果（一般）

（２）大声でどなったり、なぐるふりをして相手を脅したりする

【過去の調査との比較】

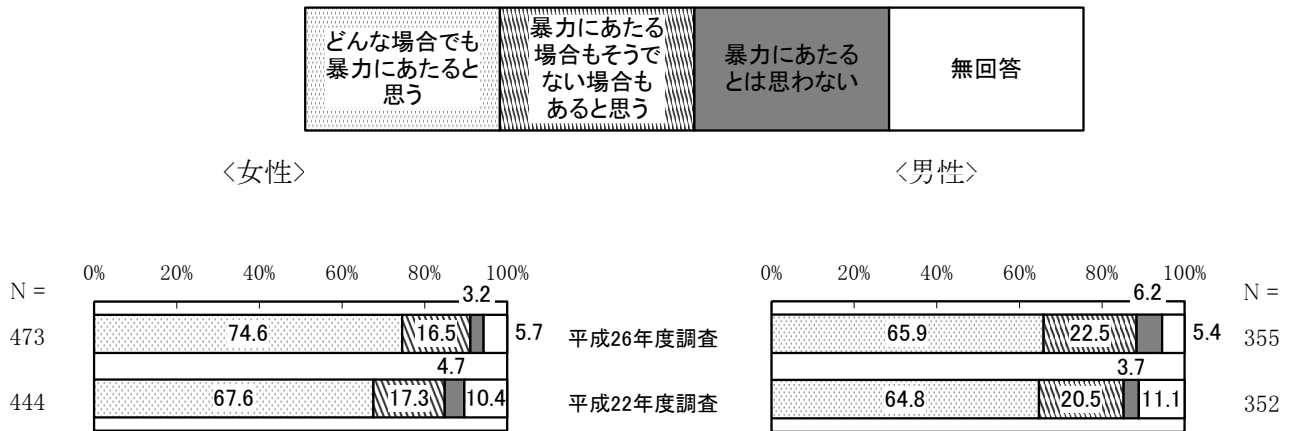


【性年代別】

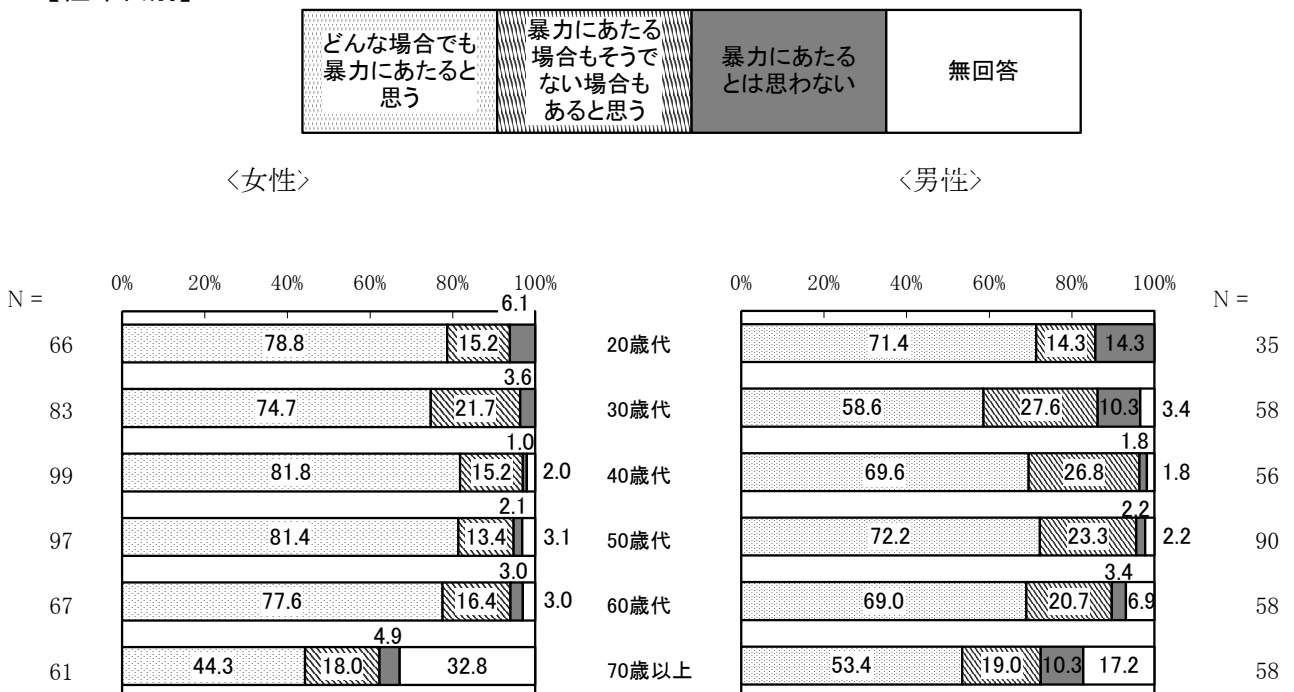


(3) 大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりする

【過去の調査との比較】



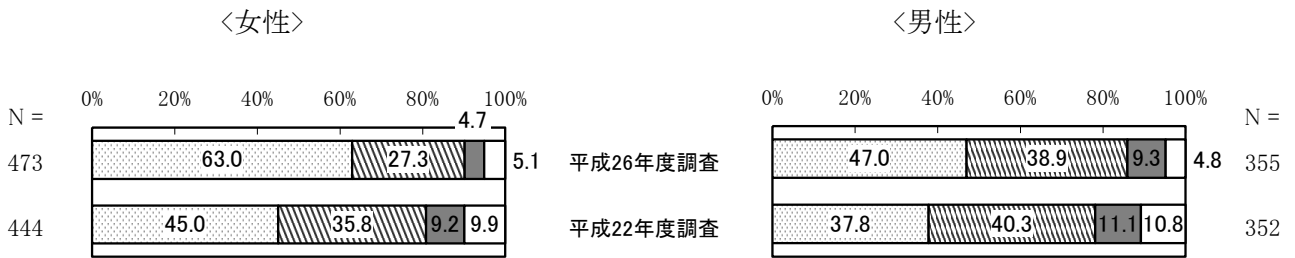
【性年代別】



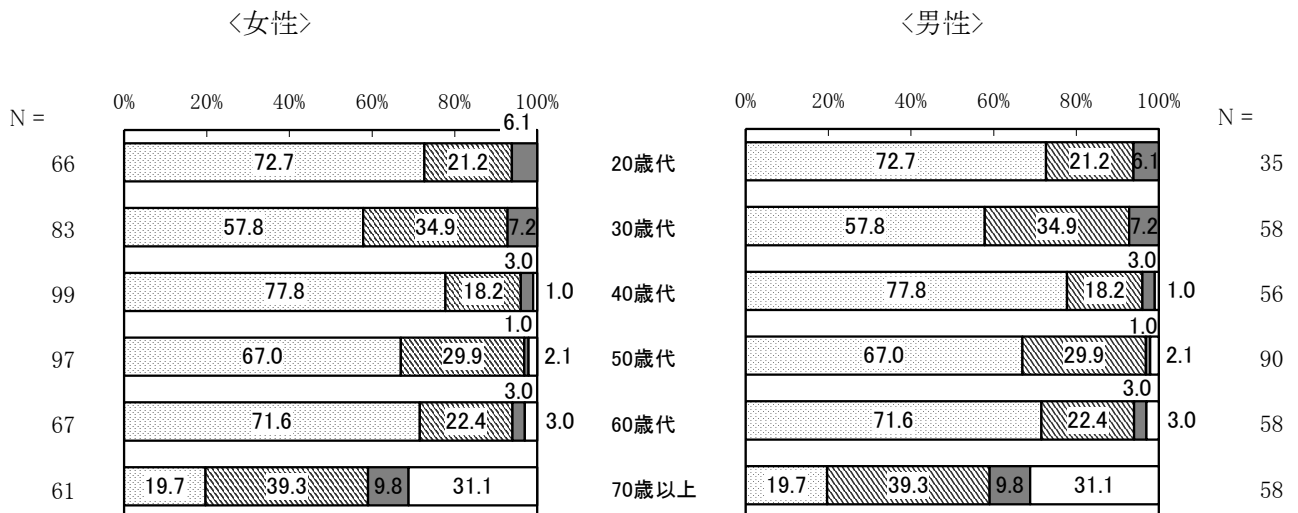
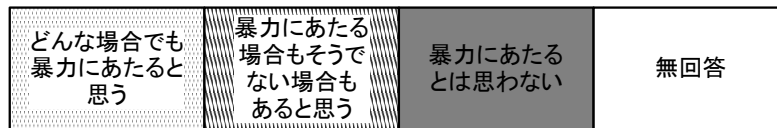
Ⅲ 調査結果（一般）

（４）実家の親、兄弟・姉妹、友人との付き合いをいやがったり監視したり、外出を制限したりする

【過去の調査との比較】



【性年代別】

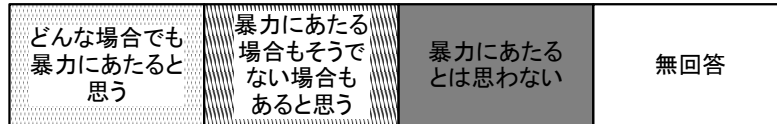


（5）生活費を渡さない

【過去の調査との比較】

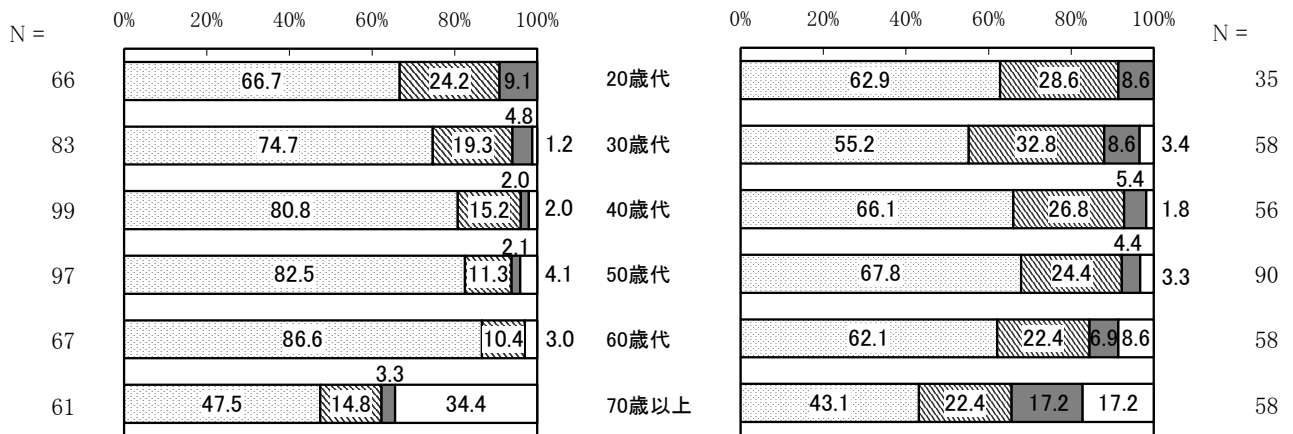
平成 22 年度調査には「生活費を渡さない」の設問はありません。

【性年代別】



＜女性＞

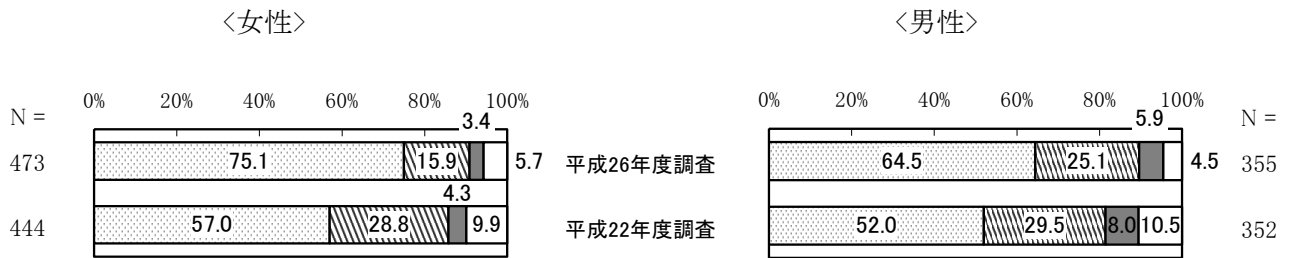
＜男性＞



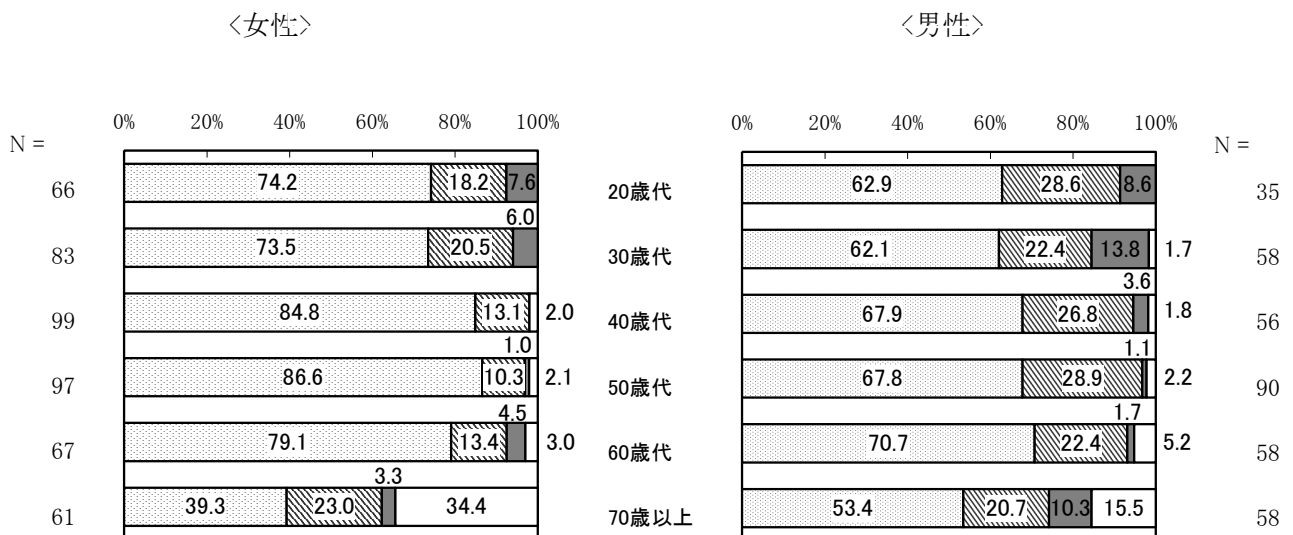
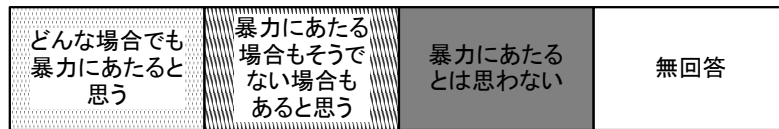
Ⅲ 調査結果（一般）

(6) 相手のお金を取り上げたり、預貯金を勝手におろしたりする。お金の使い道を細かく管理する。

【過去の調査との比較】

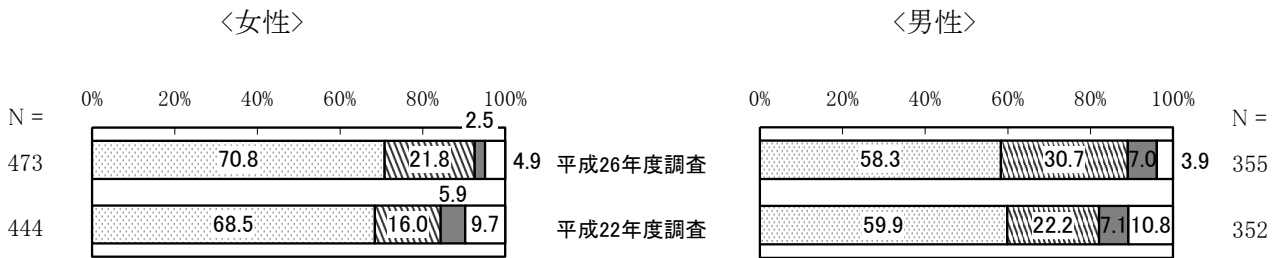


【性年代別】

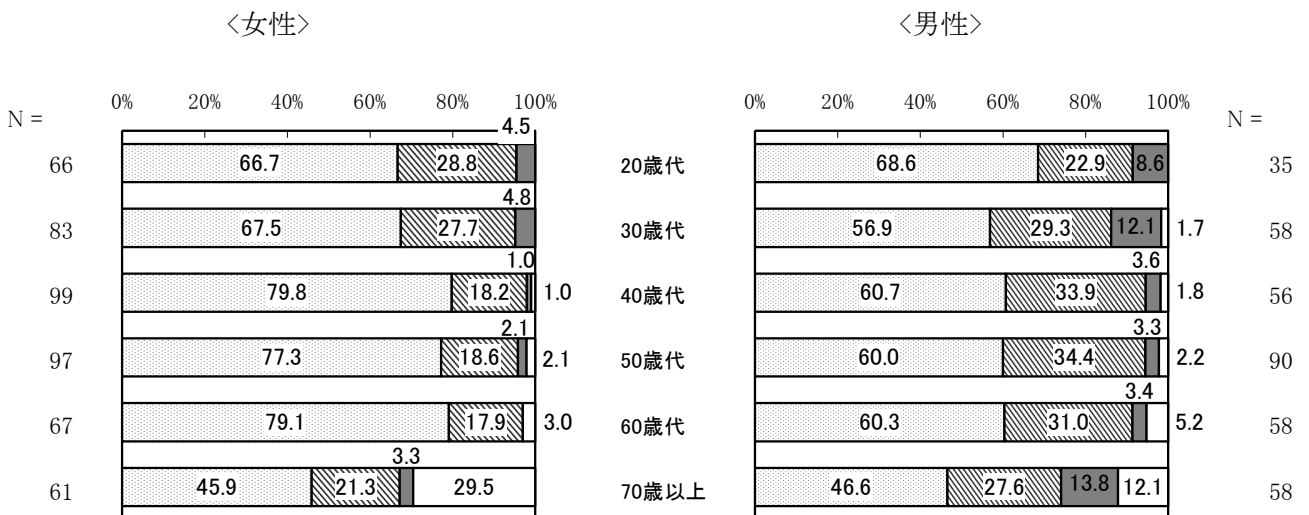
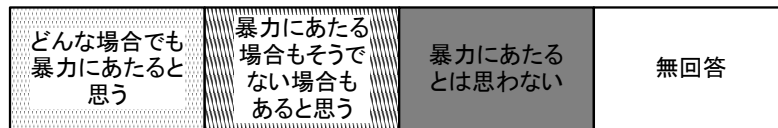


(7) 「だれのおかげで、お前は食べられるんだ」・「かいしょうなし」などと言う

【過去の調査との比較】



【性年代別】



Ⅲ 調査結果（一般）

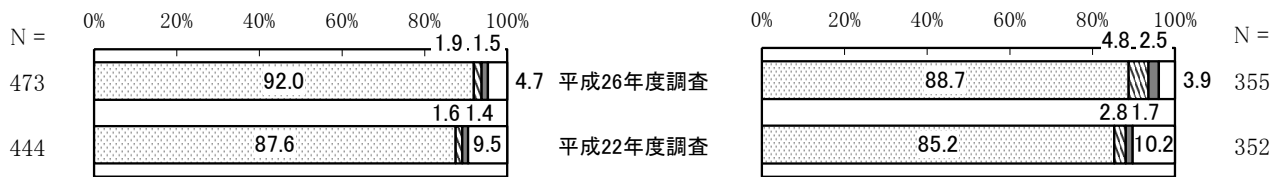
(8) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたり、ひきずりまわしたりする

【過去の調査との比較】

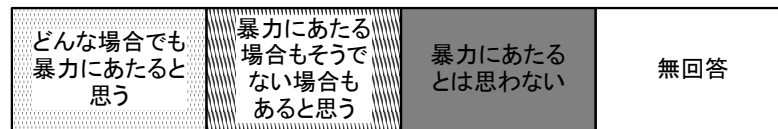


<女性>

<男性>

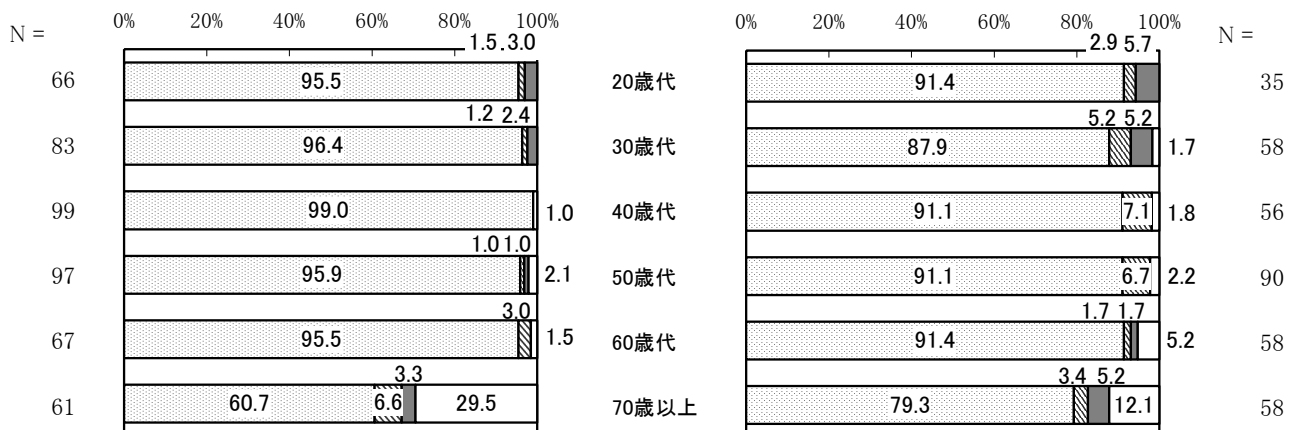


【性年代別】



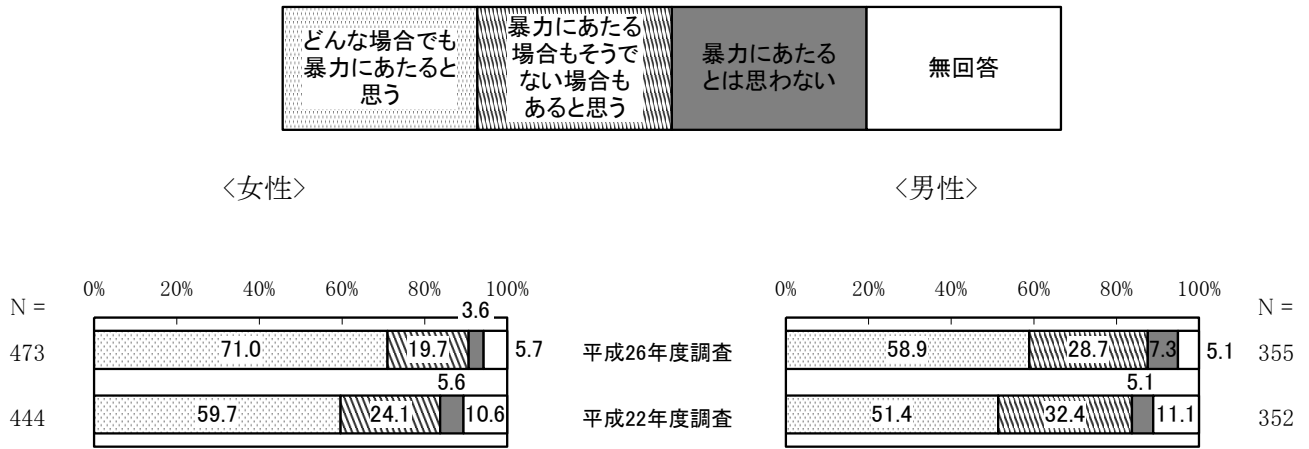
<女性>

<男性>

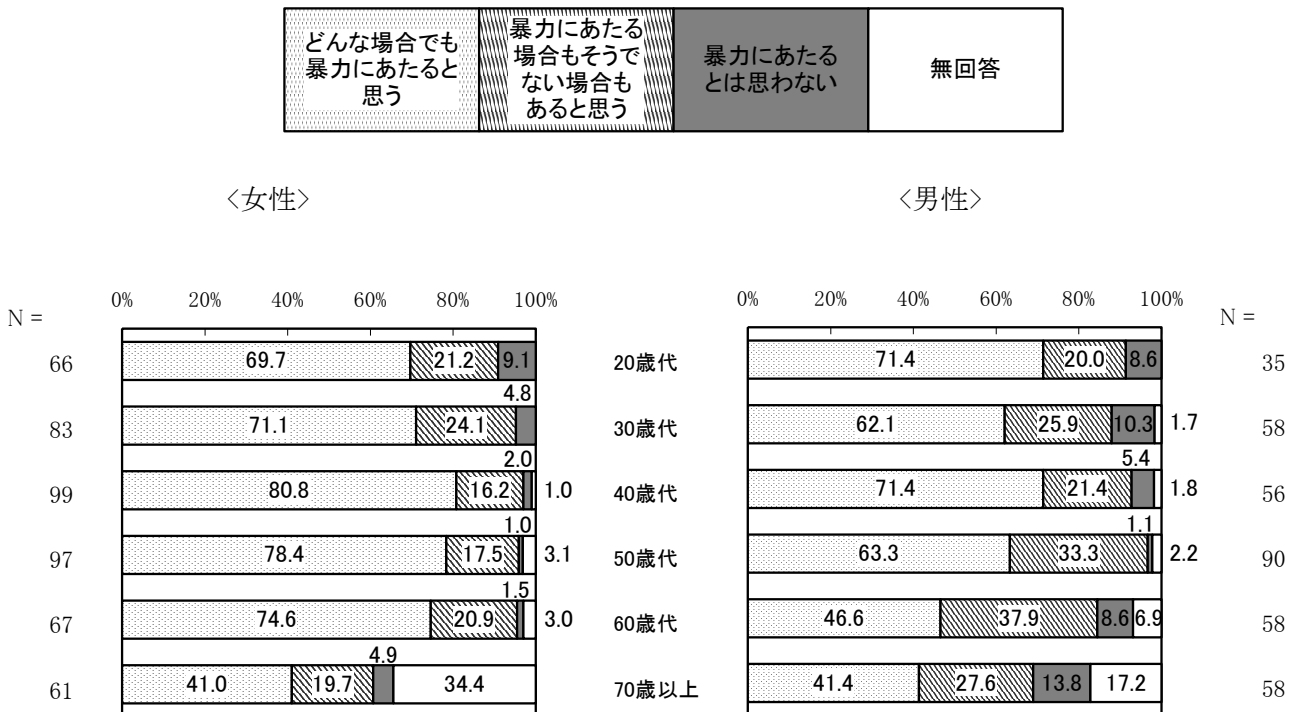


（9）避妊に協力しない

【過去の調査との比較】



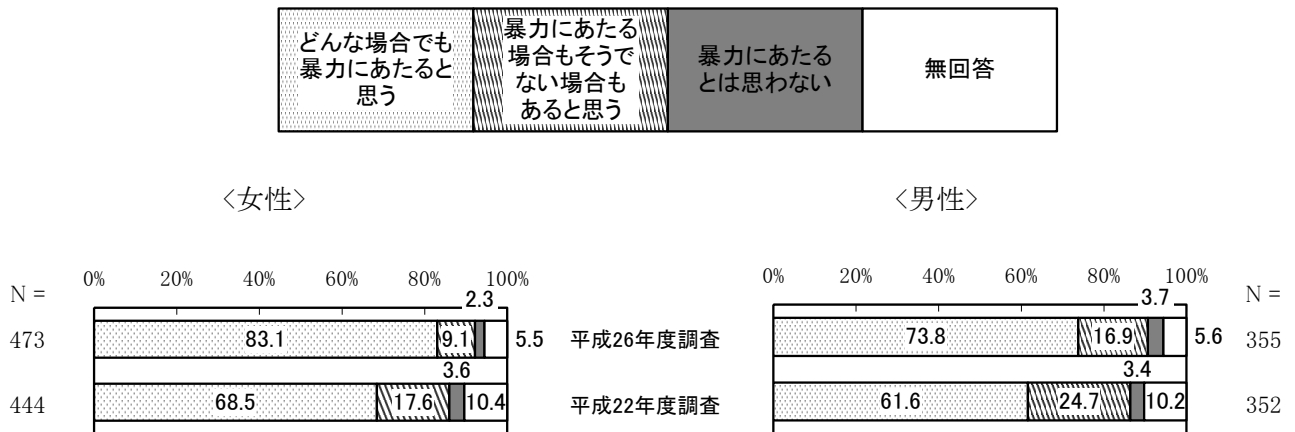
【性年代別】



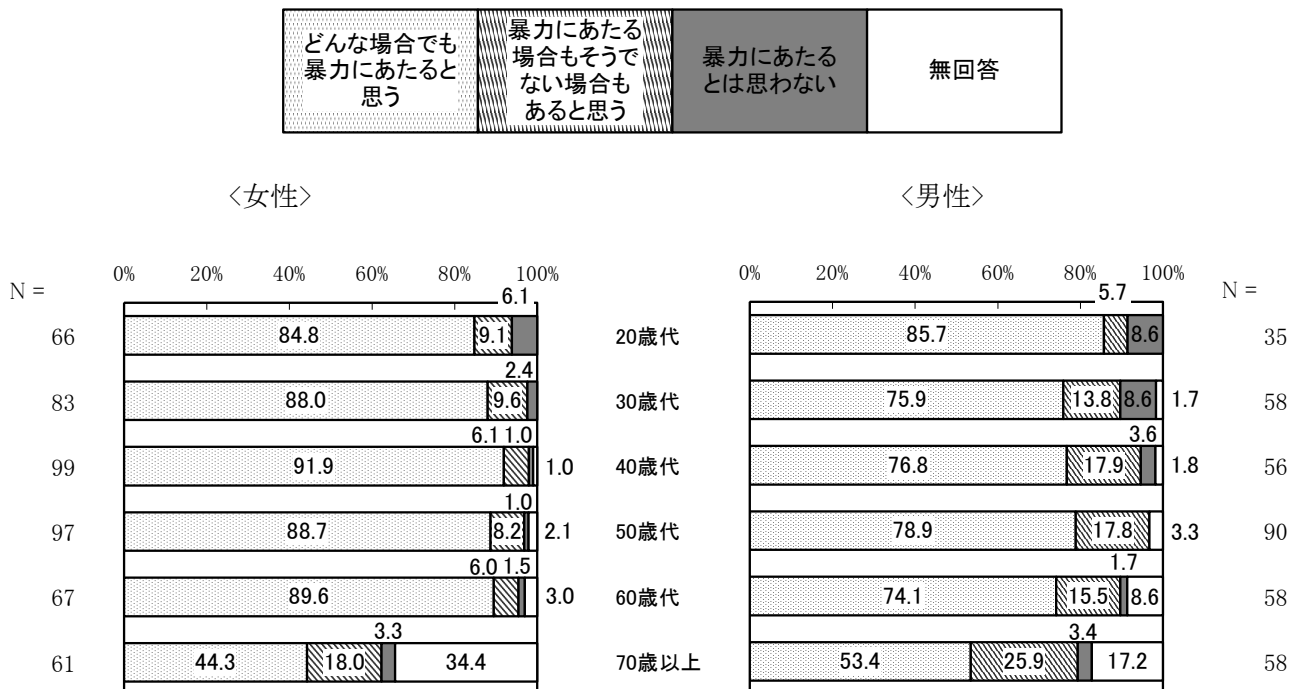
Ⅲ 調査結果（一般）

(10) 相手の合意を得ないで、一方的に性行為を行う

【過去の調査との比較】

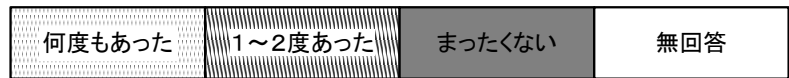


【性年代別】



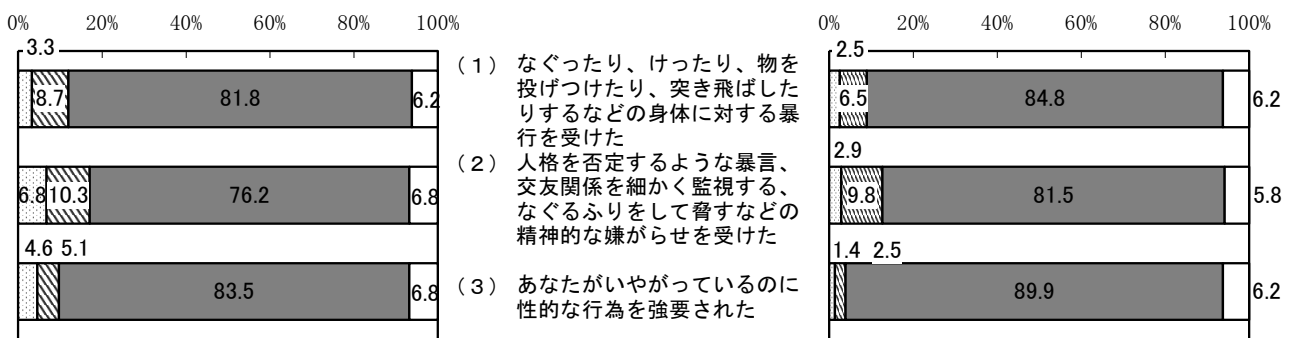
配偶者がいる（いた）方におたずねします。

問 24 あなたは、過去1年間に配偶者（別居中を含む）から、次の（1）～（3）のようなことをされたことがありますか。ここでの「配偶者」には、元配偶者（離別・死別した相手）も含まれます。（○は各項目に1つ）



<女性> (N=369)

<男性> (N=276)

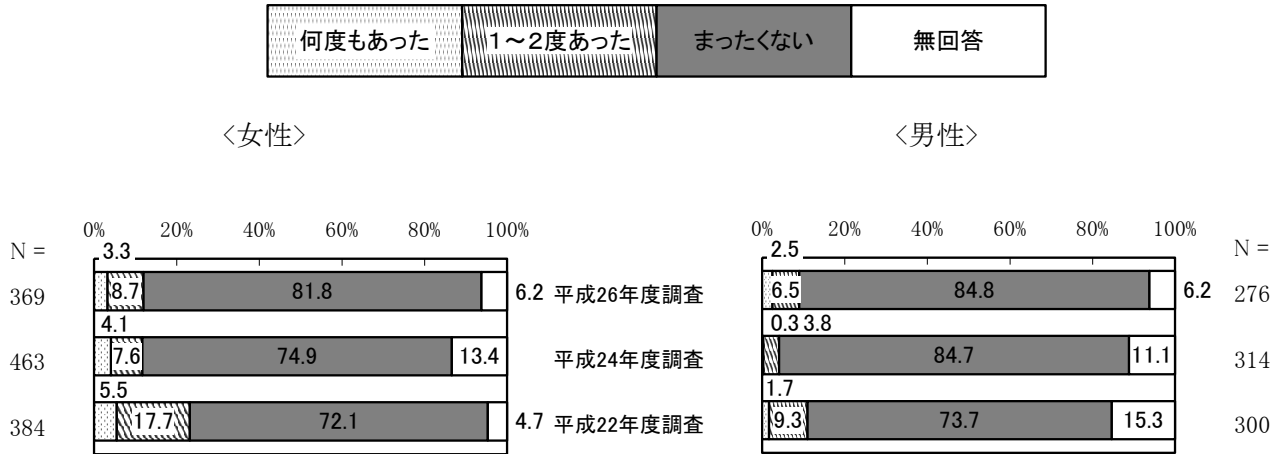


配偶者からの暴力を経験した人の割合（「何どもあった」と「1～2度あった」の合計）についてみると、「人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅すなどの精神的な嫌がらせを受けた」は女性 17.1%、男性 12.7%、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた」は女性 12.0%、男性 9.0%、「あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された」は女性 9.7%、男性で 3.9%となっています。

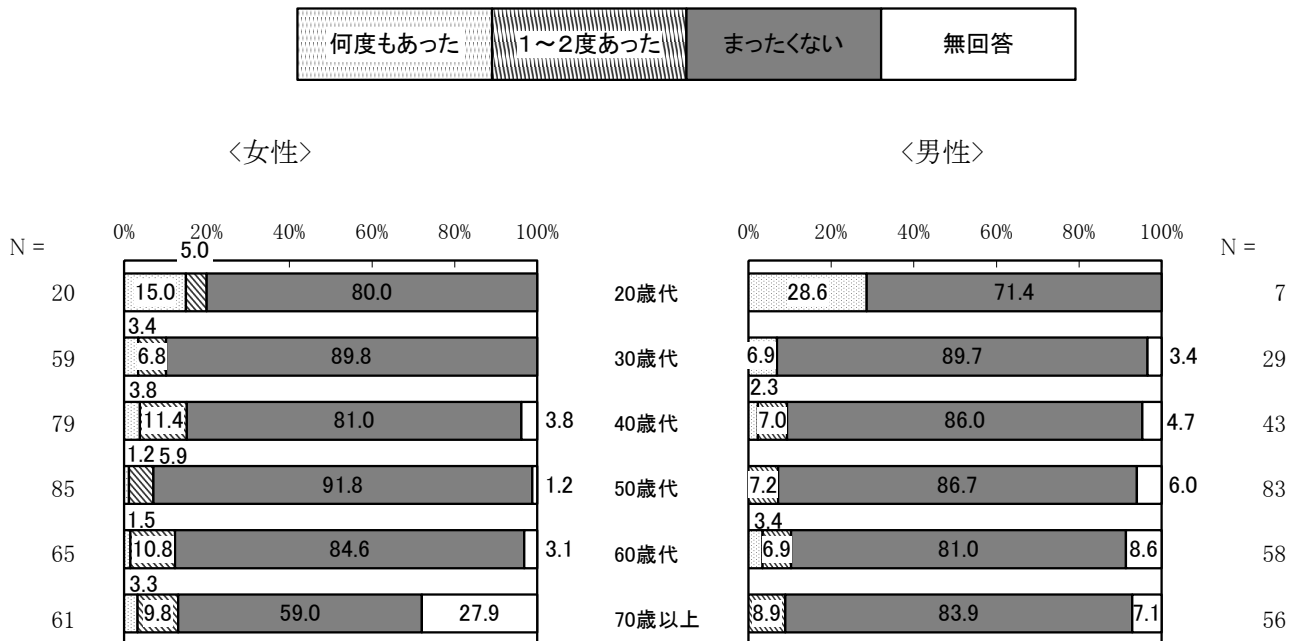
Ⅲ 調査結果（一般）

(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた。

【過去の調査との比較】

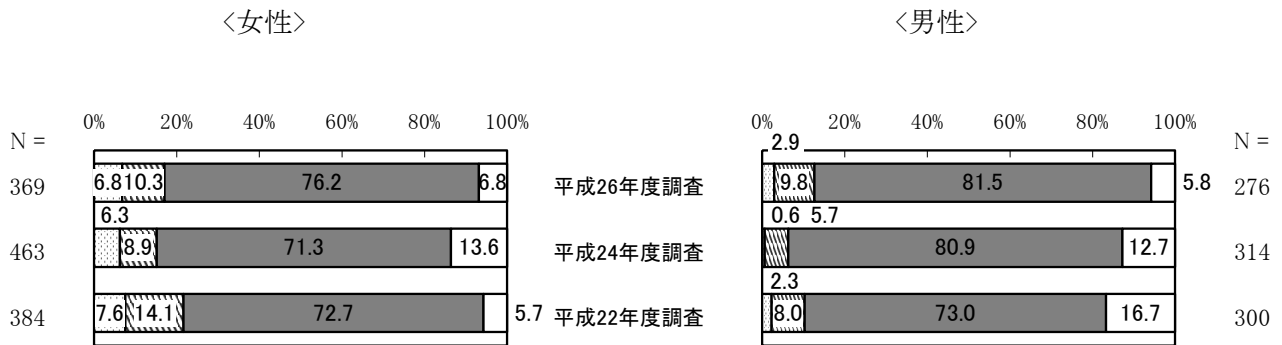


【性年代別】

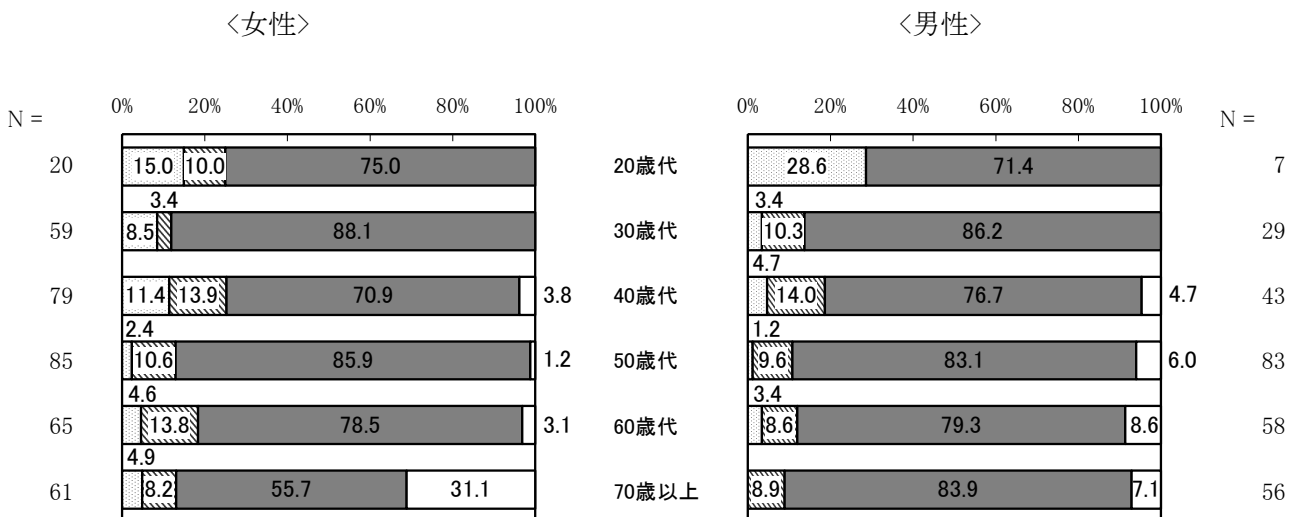


（2）人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅すなどの精神的な嫌がらせを受けた

【過去の調査との比較】



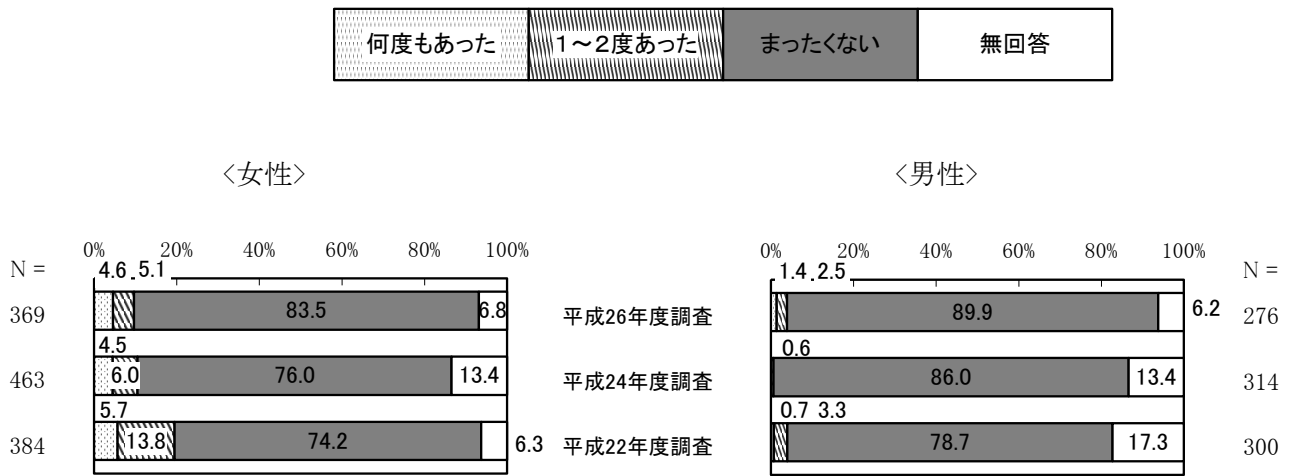
【性年代別】



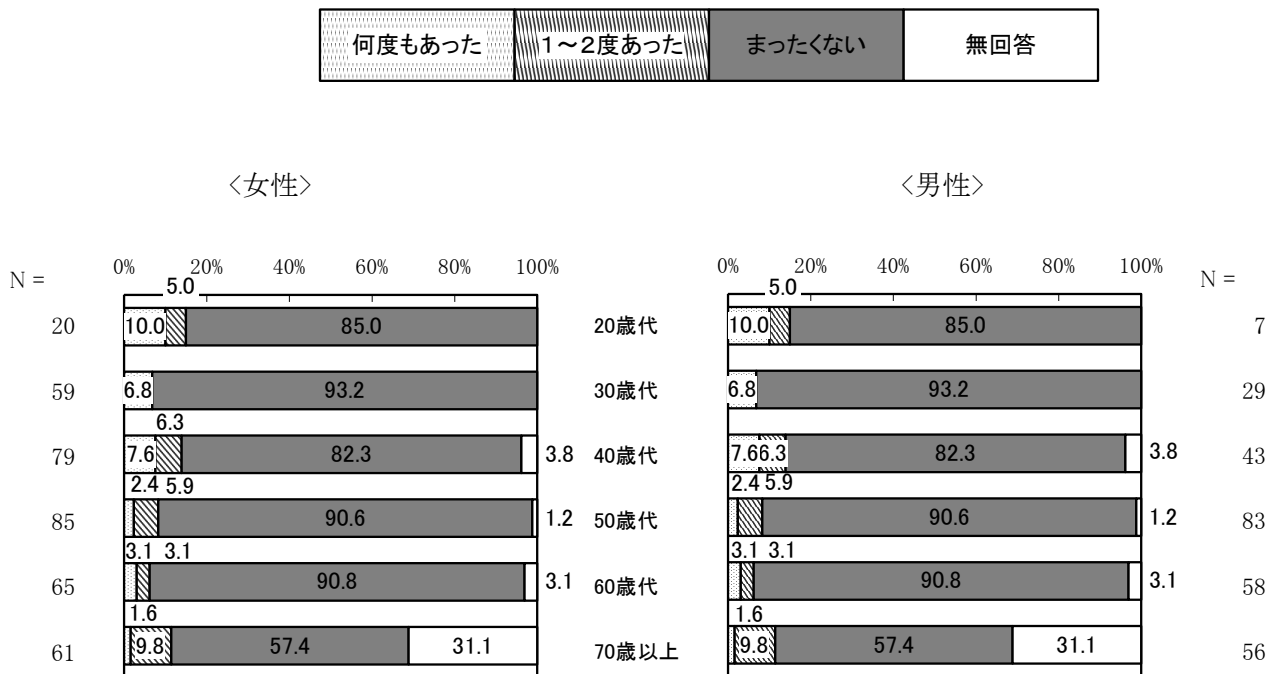
Ⅲ 調査結果（一般）

（3）あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された

【過去の調査との比較】

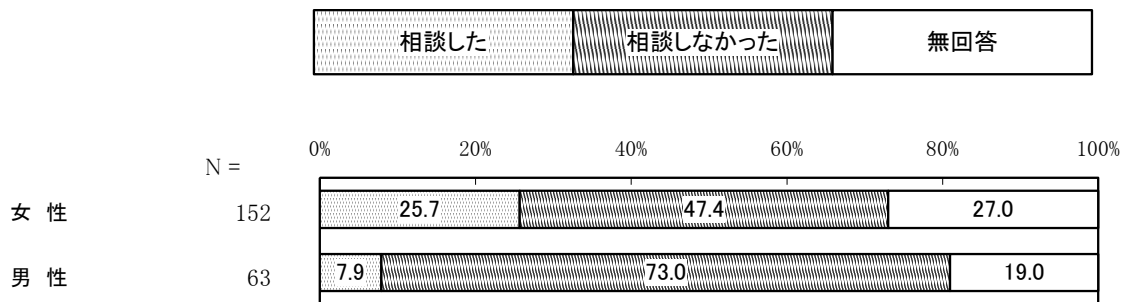


【性年代別】



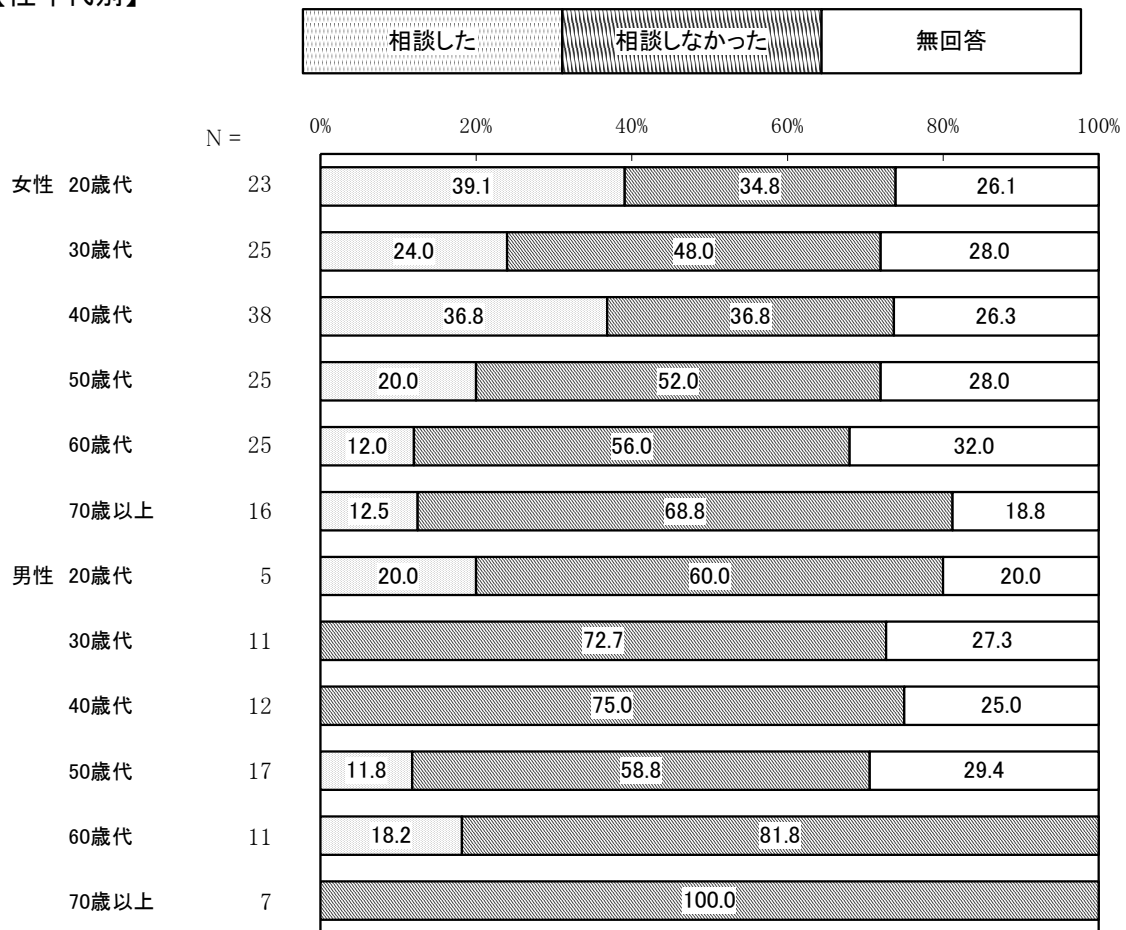
問 22 と問 24 で「何度もあった」「1～2度あった」と答えた方におたずねします。

問 25 あなたはそのことをどこ（だれ）かに相談しましたか。（○は1つ）



相談の有無についてみると、「相談した」は女性 25.7%、男性 7.9%となっています。

【性年代別】

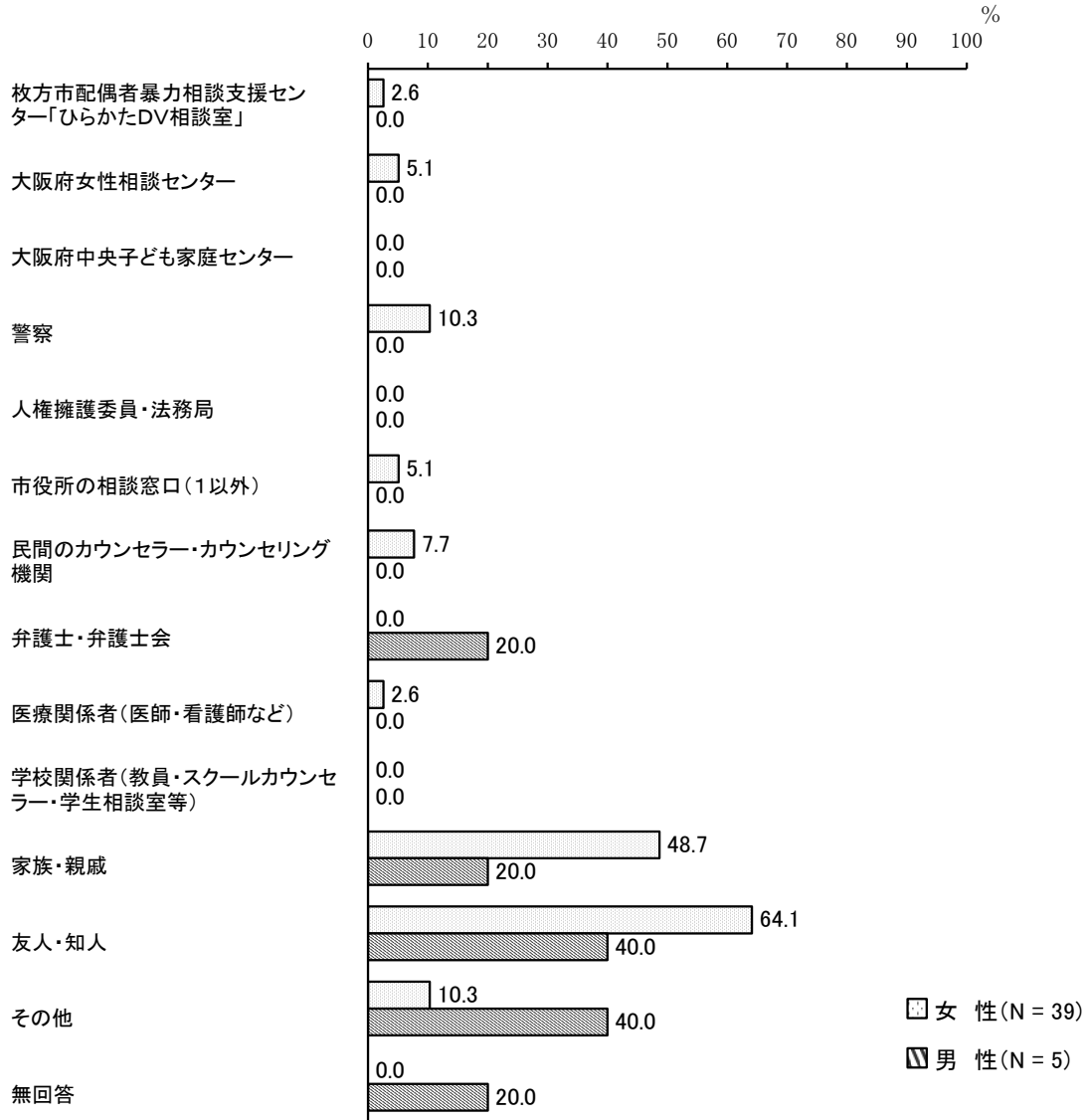


Ⅲ 調査結果（一般）

問 25 で「相談した」と答えた方におたずねします

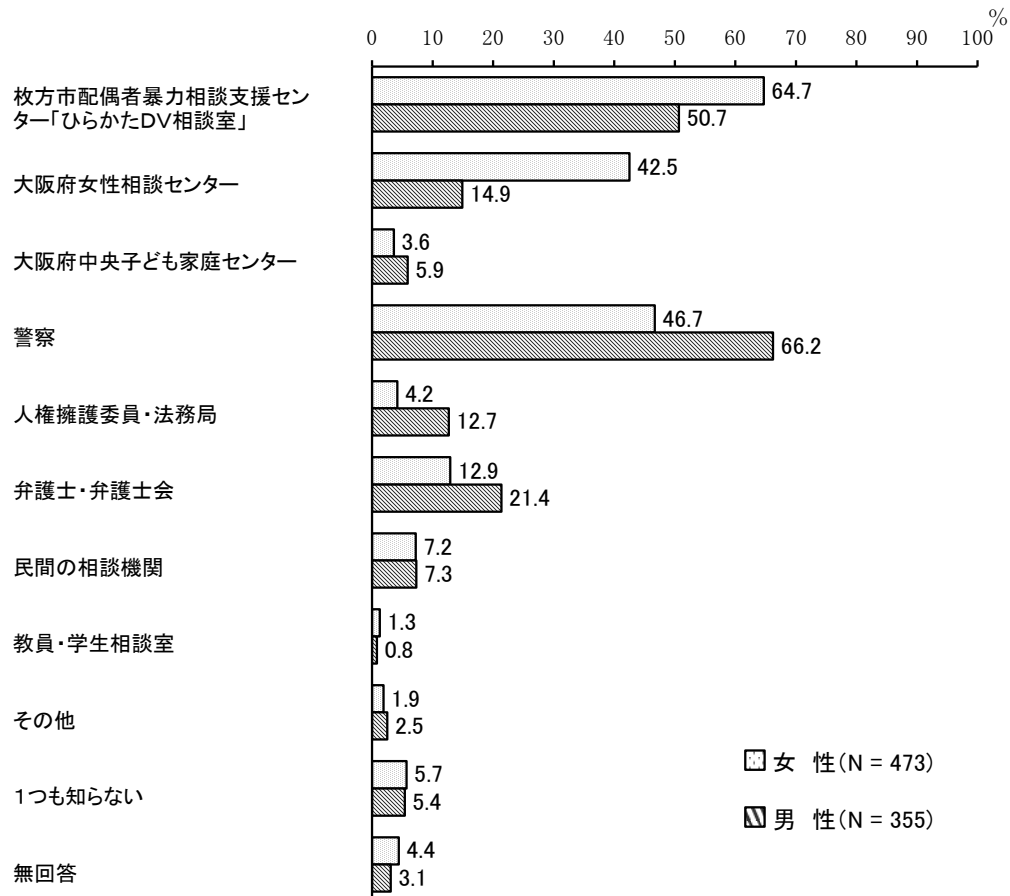
問 25-1 あなたはそのことをどこ（だれ）に相談しましたか。（〇はいくつでも）

※ 本データについては、サンプル数が少ないため参考値とします。



ここからは、全員におたずねします。

問 26 もしも、あなたの友人や知人が、配偶者あるいは恋人から暴力を受けているとしたら、あなたはどの窓口にご相談することをすすめますか。（〇はいくつでも）



友人や知人にすすめる相談先についてみると、女性では「枚方市配偶者暴力相談支援センター『ひらかたDV相談室』」が64.7%といちばん高く、男性では「警察」が66.2%といちばん高くなっています。窓口を「1つも知らない」は女性5.7%、男性5.4%となっています。

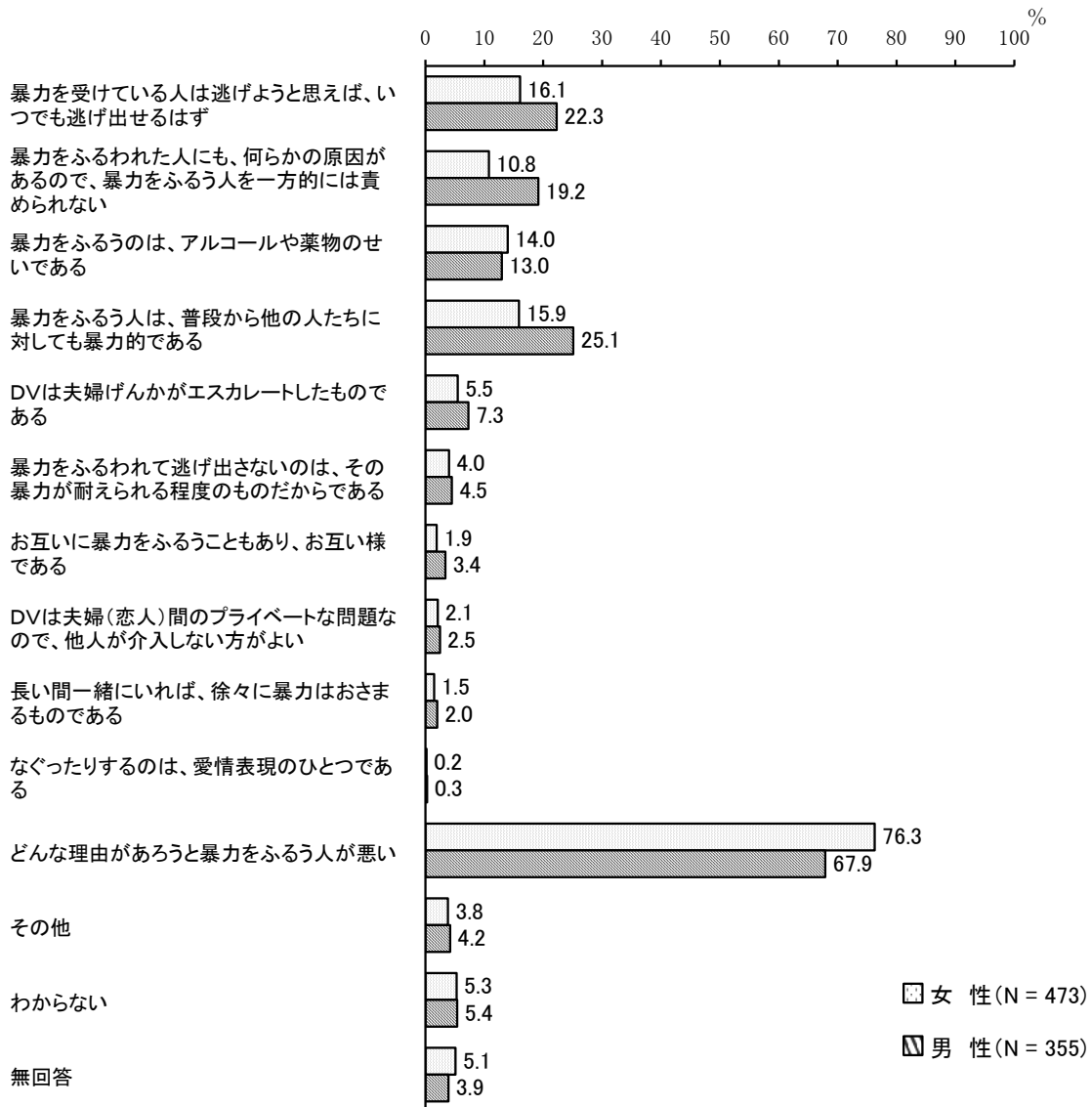
Ⅲ 調査結果（一般）

【性年代別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	枚方市配偶者暴力相談支援センター 「ひらかたDV相談室」	大阪府女性相談センター	大阪府中央子ども家庭センター	警察	人権擁護委員・法務局	弁護士・弁護士会	民間の相談機関	教員・学生相談室	その他	1つも知らない	無回答
女性 20歳代	66	53.0	34.8	1.5	59.1	3.0	16.7	6.1	6.1	3.0	13.6	1.5
30歳代	83	61.4	37.3	3.6	53.0	4.8	18.1	10.8	1.2	2.4	3.6	—
40歳代	99	70.7	52.5	1.0	45.5	1.0	16.2	4.0	1.0	3.0	3.0	1.0
50歳代	97	70.1	54.6	7.2	54.6	5.2	13.4	11.3	—	1.0	6.2	2.1
60歳代	67	77.6	37.3	4.5	37.3	7.5	4.5	4.5	—	—	3.0	1.5
70歳以上	61	49.2	27.9	3.3	24.6	4.9	4.9	4.9	—	1.6	6.6	26.2
男性 20歳代	35	31.4	17.1	8.6	80.0	8.6	34.3	11.4	2.9	—	8.6	—
30歳代	58	41.4	12.1	1.7	60.3	1.7	25.9	5.2	—	3.4	6.9	1.7
40歳代	56	32.1	17.9	5.4	64.3	5.4	19.6	1.8	—	3.6	14.3	1.8
50歳代	90	71.1	17.8	6.7	64.4	11.1	20.0	11.1	—	4.4	—	2.2
60歳代	58	51.7	3.4	1.7	77.6	17.2	19.0	5.2	—	—	3.4	1.7
70歳以上	58	56.9	20.7	12.1	56.9	31.0	15.5	8.6	3.4	1.7	3.4	10.3

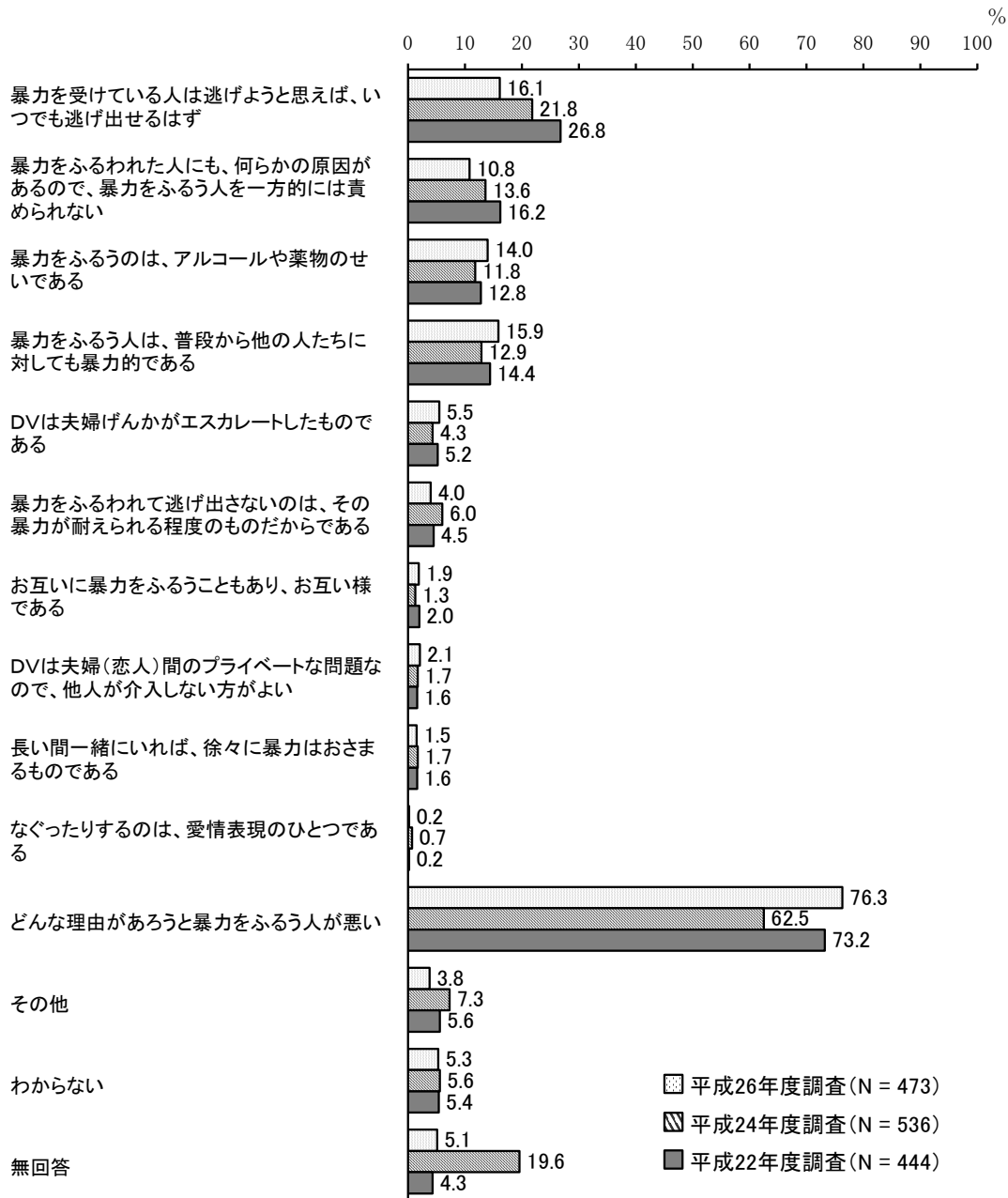
問 27 配偶者や恋人からの暴力（DV）に関して、次のような意見があります。あなたの考えに近いものを選んでください。（○はいくつでも）



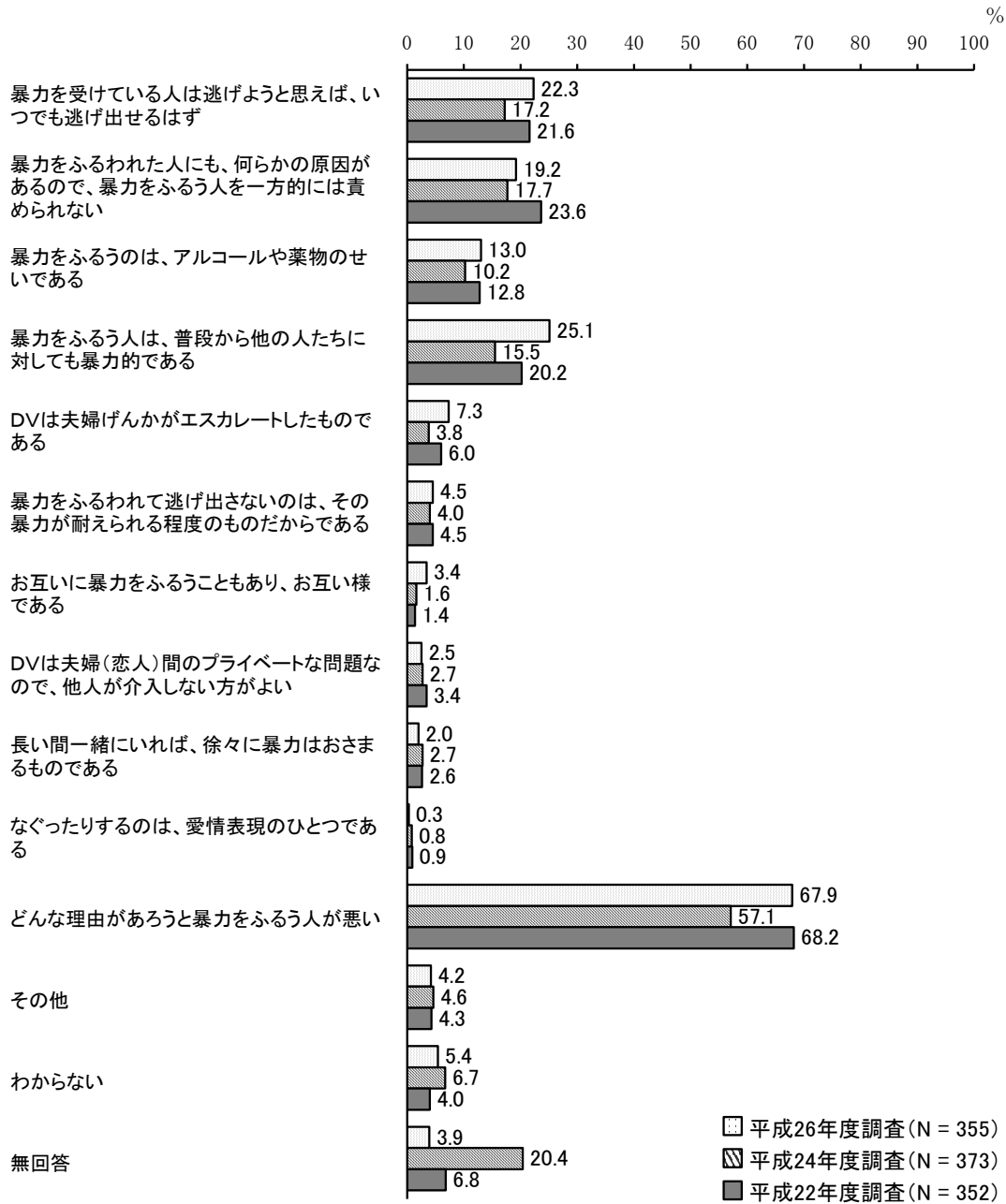
配偶者や恋人からの暴力に関する考えについてみると、「暴力を受けている人は逃げようと思えば、いつでも逃げ出せるはず」は、女性 16.1%、男性 22.3%、「暴力をふるわれた人にも、何らかの原因があるので、暴力をふるう人を一方的には責められない」は、女性 10.8%、男性 19.2%となっています。「どんな理由があろうと暴力をふるう人が悪い」は女性 76.3%、男性 67.9%となっています。

【過去の調査との比較】

〈女性〉



〈男 性〉



Ⅲ 調査結果（一般）

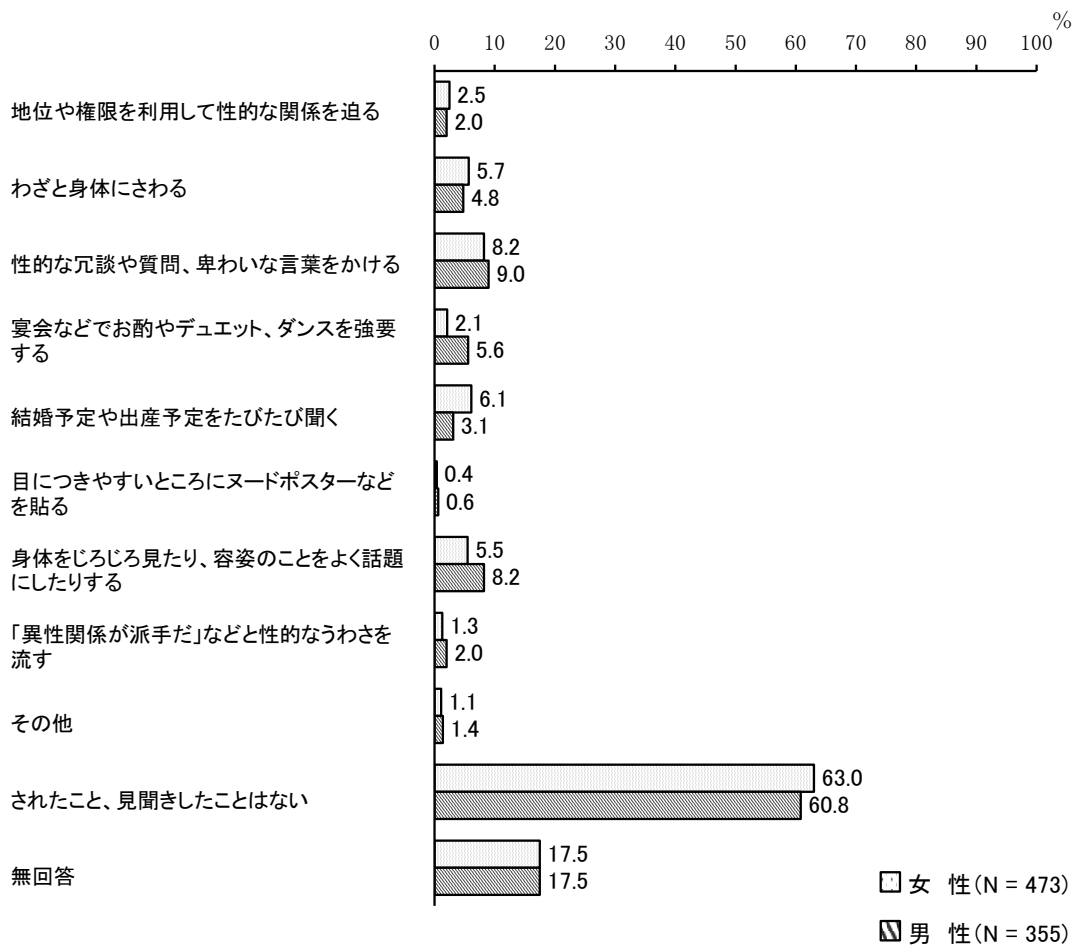
【性年代別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	暴力を受けている人は逃げようと思えば、いつでも逃げ出せるはず	暴力をふるわれた人にも、何らかの原因があるので、暴力をふるう人を一方的には責められない	暴力をふるうのは、アルコールや薬物のせいである	暴力をふるう人は、普段から他の人たちに対しても暴力的である	DVは夫婦げんかがエスカレートしたものである	暴力をふるわれて逃げ出さないのは、その暴力が耐えられる程度のものだからである	お互いに暴力をふるうこともあり、お互い様である
女性 20歳代	66	10.6	7.6	7.6	18.2	6.1	3.0	3.0
30歳代	83	14.5	9.6	10.8	16.9	4.8	4.8	2.4
40歳代	99	14.1	8.1	11.1	12.1	4.0	4.0	1.0
50歳代	97	13.4	10.3	21.6	18.6	2.1	2.1	1.0
60歳代	67	22.4	11.9	19.4	19.4	10.4	3.0	1.5
70歳以上	61	24.6	19.7	11.5	9.8	8.2	8.2	3.3
男性 20歳代	35	5.7	14.3	11.4	20.0	8.6	5.7	5.7
30歳代	58	19.0	12.1	10.3	24.1	10.3	6.9	5.2
40歳代	56	16.1	16.1	8.9	16.1	1.8	5.4	5.4
50歳代	90	26.7	16.7	12.2	24.4	3.3	3.3	4.4
60歳代	58	31.0	29.3	19.0	41.4	8.6	1.7	—
70歳以上	58	25.9	25.9	15.5	22.4	13.8	5.2	—

区分	DVは夫婦（恋人）間のプライベートな問題なので、他人が介入しない方がよい	長い間一緒にいれば、徐々に暴力はおさまるものがある	なぐったりするのは、愛情表現のひとつである	どんな理由があろうと暴力をふるう人が悪い	その他	わからない	無回答
女性 20歳代	1.5	—	—	77.3	7.6	7.6	3.0
30歳代	1.2	1.2	1.2	77.1	3.6	3.6	2.4
40歳代	—	—	—	86.9	3.0	4.0	1.0
50歳代	2.1	1.0	—	76.3	5.2	5.2	4.1
60歳代	7.5	3.0	—	85.1	1.5	4.5	1.5
70歳以上	1.6	4.9	—	47.5	1.6	8.2	23.0
男性 20歳代	—	2.9	—	51.4	2.9	20.0	2.9
30歳代	1.7	—	1.7	72.4	6.9	3.4	—
40歳代	—	—	—	67.9	3.6	8.9	—
50歳代	4.4	1.1	—	70.0	3.3	3.3	5.6
60歳代	1.7	3.4	—	69.0	1.7	1.7	3.4
70歳以上	5.2	5.2	—	69.0	6.9	1.7	10.3

問 28 あなたは、最近3年の間に、職場や学校、地域などにおいて、次のようなことをされた、もしくは見聞きしたことがありますか。（〇はいくつでも）

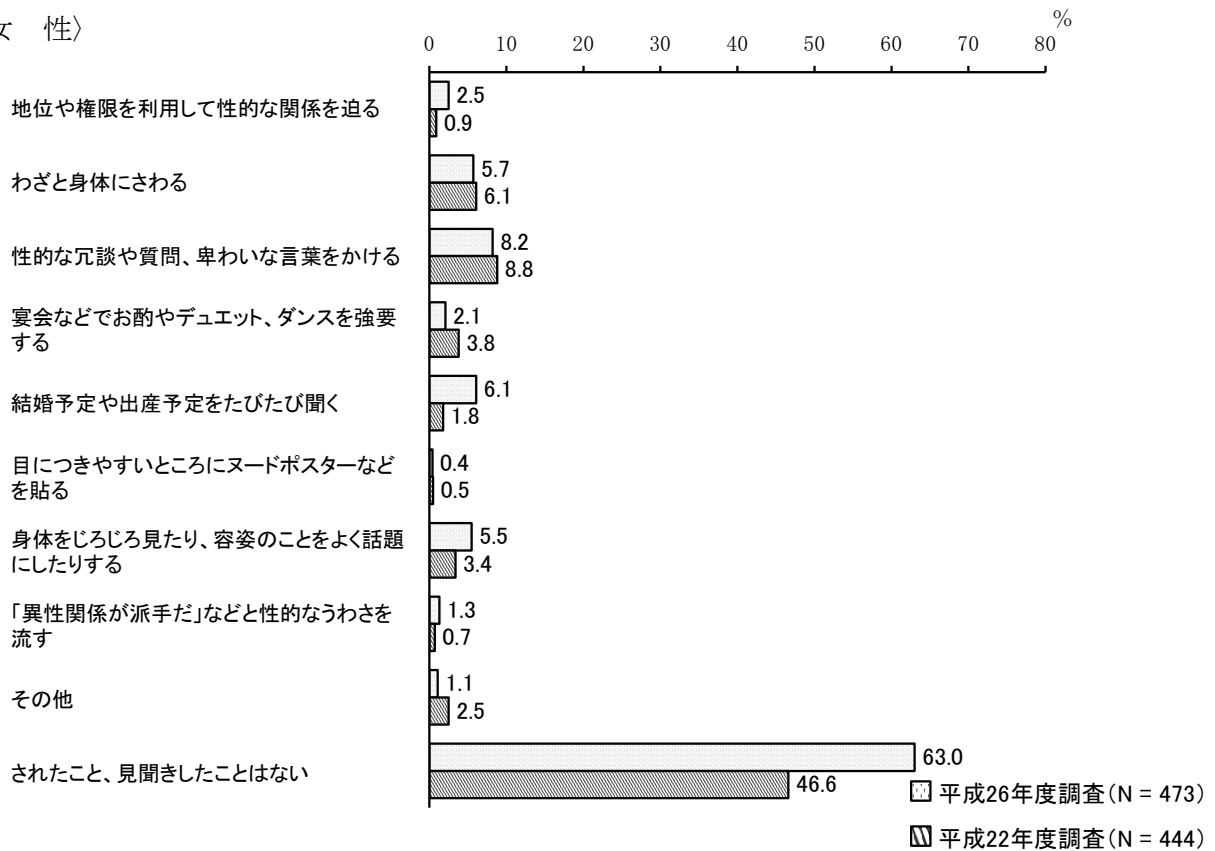


セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある、見聞きしたことがある中では、「性的な冗談や質問、卑わいな言葉をかける」が女性 8.2%、男性 9.0%と男女ともにいちばんが高くなっています。セクシュアル・ハラスメントを「されたこと、見聞きしたことはない」は女性 63.0%、男性 60.8%となっています。

Ⅲ 調査結果（一般）

【過去の調査との比較】

〈女性〉



〈男性〉

